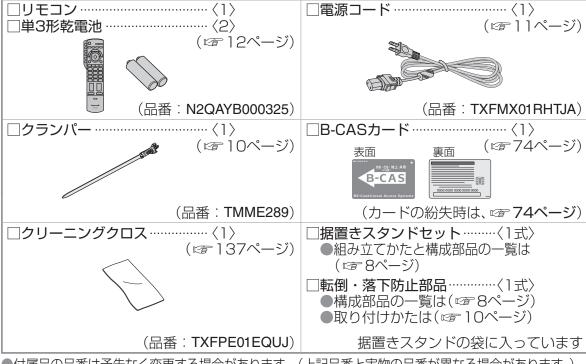
付属品

●イヤホン・ヘッドホン、DVDレコーダーなどの接続コード類、Irシステムケーブル、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈　〉は個数です。

□リモコン……〈1〉 □単3形乾電池……〈2〉 (☞12ページ) (品番：N2QAYB000325)	□電源コード……〈1〉 (☞11ページ) (品番：TXFMX01RHTJA)
□クランパー……〈1〉 (☞10ページ) (品番：TMME289)	□B-CASカード……〈1〉 (☞74ページ) 表面　裏面 (カードの紛失時は、☞74ページ)
□クリーニングクロス……〈1〉 (☞137ページ) (品番：TXFPE01EQUJ)	□据置きスタンドセット……〈1式〉 ●組み立てかたと構成部品の一覧は(☞8ページ) □転倒・落下防止部品……〈1式〉 ●構成部品の一覧は(☞8ページ) ●取り付けかたは(☞10ページ) 据置きスタンドの袋に入っています

●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

ID番号		
70ページに記載の「B-CASカード」「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダー ID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID(B-CASカード番号)	
	デコーダー ID	

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！　テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が続けてチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	TH-
販売店名	☎(　)　ー	お客様ご相談窓口	☎(　)　ー

廃棄時にご注意願います！　家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571−8504　大阪府門真市松生町1番15号

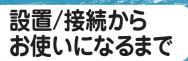
S0709-2079

VIERA ビエラ　Panasonic

取扱説明書(テレビ編)

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

品番 TH-P65V1 (65V型)
TH-P58V1 (58V型)

テレビ編

使うとき

●日常の使いかたは電子説明書をご覧ください。
●初期の設置、接続・設定は本編をご覧ください。
●アクトビラやネットワーク接続した機器の使いかたは、ネットワーク編をご覧ください。

ガイド

電子説明書

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●電子説明書(VIERA操作ガイド)および、取扱説明書(「テレビ編」と「かんたんガイド」、「ネットワーク編」)をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」(138〜143ページ)を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●安全のため必ず転倒・落下防止処置をしてください。(10ページ参照)
●取扱説明書は、65V型(TH-P65V1)と58V型(TH-P58V1)共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQBA0732-2

もくじ 基本の流れ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 138～143ページ）

- この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、TH-P65V1を元に作成しています。

こんなことがしたい

設置/接続

設定

使うとき

※詳しい解説は「電子説明書」をご覧ください。（ネットワーク編を除く）

テレビを見たい

- 地上アナログ
- BS・CS・地上デジタル

番組表※を使いたい

- 見る
- 予約する

衛星アンテナ
地上アナログ放送の番組表を見る場合も衛星アンテナの接続が必要です。
（ケーブルテレビの場合も衛星アンテナの接続が必要です）

DVDレコーダーやビデオデッキなどを使いたい

- 録画する
- 再生する

ビエラリンク（HDMI）かんたん説明（☞ 6、7ページ）

パソコンやオーディオを使いたい

写真や動画を見たい（SDメモリーカード）

テレビでネットを使う くらし機器を使う プリンターで印刷する DLNA（ディーガ）を使う

※本機の番組表はGガイドを使用しています。

設置/接続

設定

使うとき

デジタルカメラなどで撮影して保存したSDメモリーカードの写真が見られます。

（テレビでネット、くらし機器、プリンター、DLNA（ディーガ））
アクトビラの動画コンテンツの視聴には、光ファイバー（FTTH）などの高速回線との接続をおすすめします。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 138～143ページ）

ふだん使うとき

詳しい説明は「電子説明書」をご覧ください。（◆の項目は除く）
※「電子説明書」の使いかたは（☞16～19ページ）

●「設置／接続」「設定」はお済みですか？（☞2、3ページ）
●ビエラリンク（HDMI）かんたん説明（☞6、7ページ）

テレビを見る

番組を探す

録画予約する

お好みに調整する

接続した機器で楽しむ

いろいろな情報を見る

接続と設定について

●引っ越しなどで受信地域が変わるときは（チャンネル設定）（地域設定）
●番組表が映らないときは（番組表設定）
●アンテナを調整するときは（受信設定）

受信のための設定など

外部機器の接続・設定

放送チャンネルなどの一覧表

必要なとき

ビエラリンク(HDMI)かんたん説明

■ビエラリンク(HDMI)とは

リモコン1つでここまでできる

見ている番組を録画

(詳しくは ☞62ページ)

レコーダー(ディーガ)の電源が自動で入り、録画がスタート。
レコーダー(ディーガ)のHDD(ハードディスク)などに録画します。
録りたいシーンを逃がしません。

① ビエラリンク を押す
② 「見ている番組を録画」を選択する
③ 決定「決定」を押す

ディスクをすぐ再生

詳しくは、101ページ、およびレコーダー(ディーガ)の取扱説明書を参照ください。

見たいディスクをレコーダー(ディーガ)のトレーにセット。
本機の電源が自動で入り、再生をはじめます。

●レコーダー(ディーガ)にディスクをセットすると、自動的に本機の電源が入り再生開始
(再生専用ディスクのみ)

接続した機器を本機リモコンで操作する

- レコーダー(ディーガ)
- CATVデジタルSTB(セットトップボックス)
- デジタルビデオカメラ
- デジタルカメラ(ルミックス)

詳しくは、62～67ページ、および各接続機器の取扱説明書を参照ください。

レコーダー(ディーガ)、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ(ルミックス)、CATVデジタルセットトップボックス※1を本機に接続すると、本機のリモコンで基本的な操作ができます。

●画面上の操作表示に従って操作する

※1:ケーブルテレビの受信機です。以下、CATVデジタルSTBと記載します。

ビエラリンク(HDMI)対応の **レコーダー(ディーガ)**

ビエラリンク(HDMI)対応の **デジタルカメラ(ルミックス)**

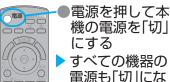
ビエラリンク(HDMI)対応の **デジタルビデオカメラ**

ビエラリンク(HDMI)対応の **CATVデジタルSTB**

ボタン1つで電源一斉「切」

(詳しくは ☞101ページ)

本機、レコーダー(ディーガ)、AVアンプを使用中、本機の電源を「切」にすると同時に、すべての機器の電源も「切」になり消し忘れを防ぎます。

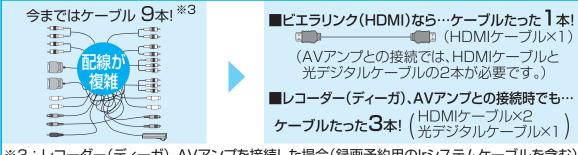
●電源を押して本機の電源を「切」にする
▶ すべての機器の電源も「切」になります。

また、使っていない機器の電源を自動で「切」にしたり(こまめにオフ)、待機電力最小モードに自動で切り換えること(ECOスタンバイ)※2もできます。

※2:どのモードに切り換わるかは、接続機器側の設定によります。ビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応している機種のみ対応。

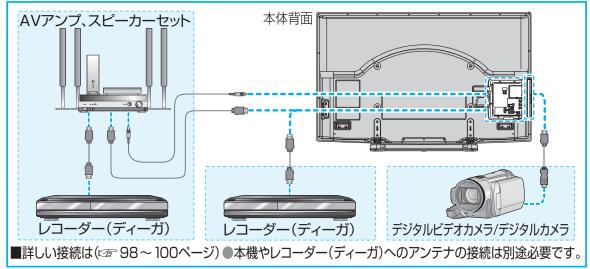
■ビエラリンク(HDMI)の接続

接続カンタン! 配線スッキリ!

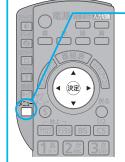
■ビエラリンク(HDMI)なら…ケーブルたった1本!
(HDMIケーブル×1)
(AVアンプとの接続では、HDMIケーブルと光デジタルケーブルの2本が必要です。)

■レコーダー(ディーガ)、AVアンプとの接続時でも…
ケーブルたった3本! (HDMIケーブル×2 光デジタルケーブル×1)

※3:レコーダー(ディーガ)、AVアンプを接続した場合(録画予約用のIrシステムケーブルを含む)

接続例

■詳しい接続は(☞98～100ページ) ●本機やレコーダー(ディーガ)へのアンテナの接続は別途必要です。

■ビエラリンク(HDMI)の設定

ビエラリンク(HDMI)を使うには、本機や接続機器の設定が必要です

本機の設定

リモコンの「メニュー」ボタンを押す

「設定する」→「初期設定」→「接続機器関連設定」→「ビエラリンク(HDMI)設定」の順に選択する

必要に応じて「ビエラリンク(HDMI)設定」画面の項目ごとに設定する

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	しない	
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大
テスト(ディーガ電源オン)		
テスト(ディーガ電源オフ)		
メニュー表示方法	一覧	階層
バージョン	ビエラリンク(HDMI) Ver.4	

「する」に設定してください。

必要に応じて設定してください。

詳しい説明は(☞101～103ページ)
接続機器の設定は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

■ビエラリンクのQ&A (☞130ページ)

ビエラリンク(HDMI)を使うときの参考、疑問などについて記載

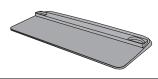
設置について

本機には据置きスタンドが付属しています。据置きスタンドをご使用の際は、下記の組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりと本機へ取り付けてご使用ください。

■据置きスタンド(付属品)

設置の前に、まず構成部品をお確かめください。〈 〉は個数です。

●構成部品

□ スタンド本体……………………〈1〉

(品番：65V型…………TBLX0124
58V型…………TBLX0120)

●構成部品(別袋)

□ 転倒･落下防止部品…………〈一式〉
(取り付けかたは ☞ 10ページ)

金具…………………〈2〉
ベルト…………………〈2〉
木ねじ…………………〈2〉

ねじ…………………〈2〉

(品番：65V型………TXFKL01DNUJ
58V型………TXFKL01ECUA)

壁面への固定用部品

フック…………〈2〉(品番：TMMX268)

フック固定用ねじ…………………〈2〉

(品番：65V型………XYN8+F30FJK
58V型………XYN8+F35FNK)

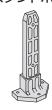
TH-P65V1

□ スタンドポール……………………〈2〉

(品番：TBLA3773)

□ スタンドポール固定用ねじ………〈6〉
(M5×30)(シルバー)
(品番：THEL074)

□ 六角レンチ…………………………〈1〉
(品番：TKKX5116)

□ テレビ本体固定用ねじ……………〈4〉
(M6×25)(黒)
(品番：XYN6+F25FJK)

TH-P58V1

□ スタンドポール……………………〈各1〉

※Ⓛは前面から見て左、Ⓡは右用です。Ⓛ、Ⓡ は底面に刻印されています。

(品番：TBLA3690(Ⓛ)
TBLA3689(Ⓡ))

□ スタンドポール固定用ねじ………〈4〉
(M5×25)(シルバー)
(品番：XYN5+F25FN)

□ テレビ本体固定用ねじ……………〈4〉
(M5×30)(黒)
(品番：THEL073N)

設置オプションについて(別売品)

本機をご使用の際は、壁掛け金具(別売品)を使用して設置することもできます。お求めの販売店にご相談ください。

■壁掛け設置するとき(壁掛け金具)

品 番 (2009年7月現在)

65V型用：TY - WK6P1R
(垂直(0°)～下向き10°まで3段階調整できます。)

58V型用：TY - WK5P1R
(垂直(0°)～下向き20°まで5段階調整できます。)

お願い

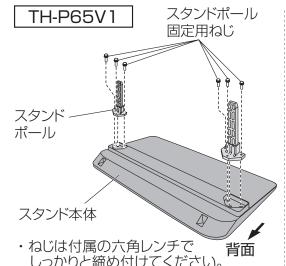
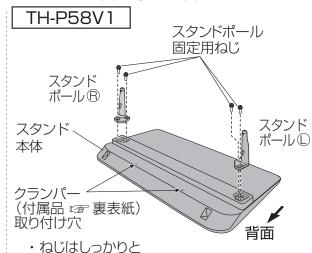
●壁掛けの取り付け工事は、性能･安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
●設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
●取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。

■組み立てかた

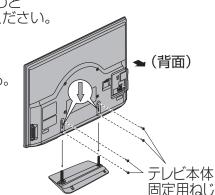
①スタンド本体にスタンドポール を取り付け、スタンドポール固定用ねじで固定する。

TH-P65V1

・ねじは付属の六角レンチでしっかりと締め付けてください。

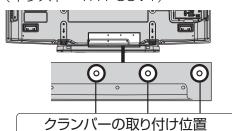
TH-P58V1

・ねじはしっかりと締め付けてください。

②テレビ本体に据置きスタンド(付属品)を取り付ける

・テレビ本体を包装箱から取り出して据置きスタンドに設置する。
(1)右図のように、テレビ本体の穴(⇩の底面にあります。)をスタンドポールに合わせる
(2)テレビ本体を止まる位置まで差し込む
(3)テレビ本体固定用ねじを使って、しっかりと固定する
・ねじはしっかりと締め付けてください。

ご使用の前に

ケーブル配線処理について

ケーブル類は必要に応じて付属品（☞ 裏表紙）のクランパーを取り付け、固定してください。

（イラスト：TH-P65V1）

クランパー取り付け穴は据置きスタンドにもあります。（TH-P58V1のみ）

お願い

●画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。

※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

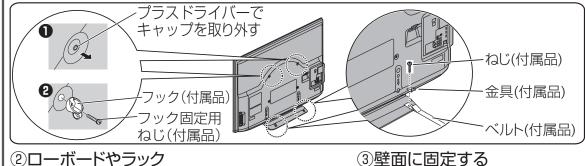
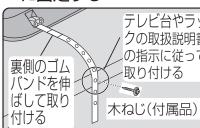
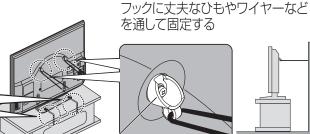
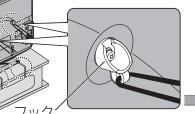
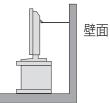
転倒・落下防止部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。

※ローボードやラックへの固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

①本体背面と据置きスタンドに、転倒･落下防止部品（付属品）を取り付ける

②ローボードやラックに固定する

③壁面に固定する

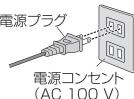
フックに丈夫なひもやワイヤーなどを通して固定する

お願い

●壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品をご使用いただき、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

電源コードの接続について

①電源プラグ（本体側）を本体に差し込む

とめかた

左右のつめがカチッと音がするまでしっかりと、差し込む

外しかた

横のつまみを押しながら抜く

②電源プラグ（電源コンセント側）を電源コンセントに差し込む

お願い

●電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

ご使用の前に（その他の項目）

デジタル放送を見るためには

☞ 74ページ

B-CASカード（付属品）の挿入が必要です。

※カードの矢印表示面を背面側に向けて挿入してください。（☞74ページ）

デジタル放送※のデジタル録画は

☞ 46、136ページ

CPRMに対応したデジタル機器と記録メディアの組み合わせが必要です。

※ただし、コピー制御信号が加えられている場合

テレビを見終わったら リモコンで電源を切る

最新の番組表や放送ダウンロードの受信のために、本体で電源を切らないことをおすすめします。（☞ 93、128ページ）

各部のはたらき リモコン

■リモコンに電池を入れる

①ふたを開ける。

②電池を⊖側から入れ、ふたを閉める。

アクトビラを使う
（☞ ネットワーク編）

データ放送を使う
（☞ 26ページ）

SDメモリーカードを使う
（☞ 58ページ）

本機の使いかたなどを知りたいとき
（☞ 16ページ）

「ビエラリンク」メニューを表示する
（☞ 62〜67ページ）
ディーガの操作一覧、見ている番組を録画、録画を停止する、番組キープ/再生、音声をAVアンプから出すなど

番組キープ機能を使う
（☞ 62ページ）

メニュー画面を表示する

見ている画面に関連した機能を表示する
（☞ 26ページ）

放送のチャンネルを選ぶ
数字や文字入力を行う
押すと、選んだ放送を示す放送切換ボタンが点滅します。

チャンネルを順送りで選ぶ

メニュー画面などからテレビ放送の画面に戻る

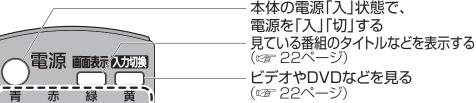
3桁チャンネル番号を入力して選局する
（☞ 22ページ）

画面のサイズを変える
（☞ 48ページ）

当社製レコーダー（ディーガ）を操作する
（☞ 68ページ）

本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する

見ている番組のタイトルなどを表示する
（☞ 22ページ）

ビデオやDVDなどを見る
（☞ 22ページ）

画面上で指示が出たときに使う
（青、赤、緑、黄のカラーボタン）

番組表を表示する
（☞ 28ページ）

らくらくアイコンを表示する
（☞ 右欄）

画面上で選択や決定をする

1つ前の画面に戻る

放送を切り換える（放送切換ボタン）
- 押すとボタンが点滅します。
- 数字や文字入力時に1〜12を押したときも点滅します。
- 放送切り換えは、前回選んだボタンを記憶しています。
- 使わない放送を操作できないようにすることができます。（地上アナログ、BS、CS のみ）（☞ 86 ページ）

音量を調整する
- 押すと画面の下に音量表示します。

音を消す
- もう一度押すと解除します。

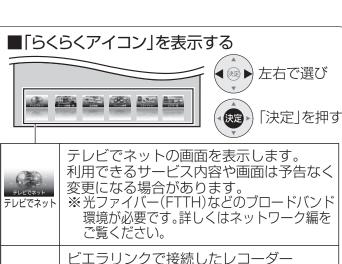
デジタル放送で字幕がある場合に字幕の「オン」「オフ」を切り換える
（☞ 54ページ）

ステレオ/2カ国語など音声を切り換える
（☞ 52ページ）

2画面の操作（☞ 48ページ）
- 2画面にする
- 2画面の左右を入れ換える
- 2画面の右画面を操作する

ふた（開けた状態）

お願い
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

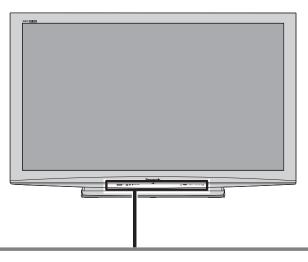
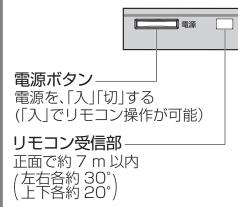
■「らくらくアイコン」を表示する

アイコン	説明
テレビでネット	テレビでネットの画面を表示します。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になる場合があります。※光ファイバー（FTTH）などのブロードバンド環境が必要です。詳しくはネットワーク編をご覧ください。
ディーガ録画一覧	ビエラリンクで接続したレコーダー（ディーガ）の録画一覧を表示します。（ビエラリンク（HDMI）Ver.3 以前のレコーダー（ディーガ）を接続したときは「ディーガ操作一覧」と表示します。）
注目番組	放送局おすすめの注目番組一覧を表示します。（☞ 32 ページ）
ジャンル検索	ジャンル検索の画面を表示します。（☞ 28 ページ）
スライドショー	SD メモリーカード内の静止画を順番に表示します。（☞ 58 ページ）
ビデオ一覧	SD メモリーカード内のビデオ映像の一覧を表示します。（☞ 58 ページ）

- らくらくアイコンの表示を切り換えることができます。（☞ 54 ページ）

各部のはたらき

本体前面

電源ボタン
電源を、「入」「切」する
（「入」でリモコン操作が可能）

リモコン受信部
正面で約 7 m 以内
（左右各約 30°
上下各約 20°）

明るさセンサー
●「画質を調整する」（☞ 50 ページ）の「明るさオート」を「オン」に設定したときに、まわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調整するための受光部
●明るさセンサーの前に物などを置かないでください。
正常に動作しなくなる場合があります。

SD ランプ
●SD メモリーカード挿入口に SD メモリーカードを挿入しているときに点灯
(SD ランプ点灯「する」設定時)
(☞ 54 ページ)

電源ランプ
●リモコンで、電源「入」→緑色
●リモコンで、電源「切」→赤色
ただし以下の場合は橙色点灯。
- 電源オン連動「する」設定中
- 予約録画実行中
- クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内

●本体で、電源「切」→消灯

お知らせ
●電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

本体背面・側面

●背面端子部
（☞94ページ）

●「◄」部の突起に指をかけて引く
本体背面側
画面側

チャンネルを順に選ぶ

音量を調整する

各種放送の切り換えや、ビデオなどを見るとき
（☞ 22ページ）

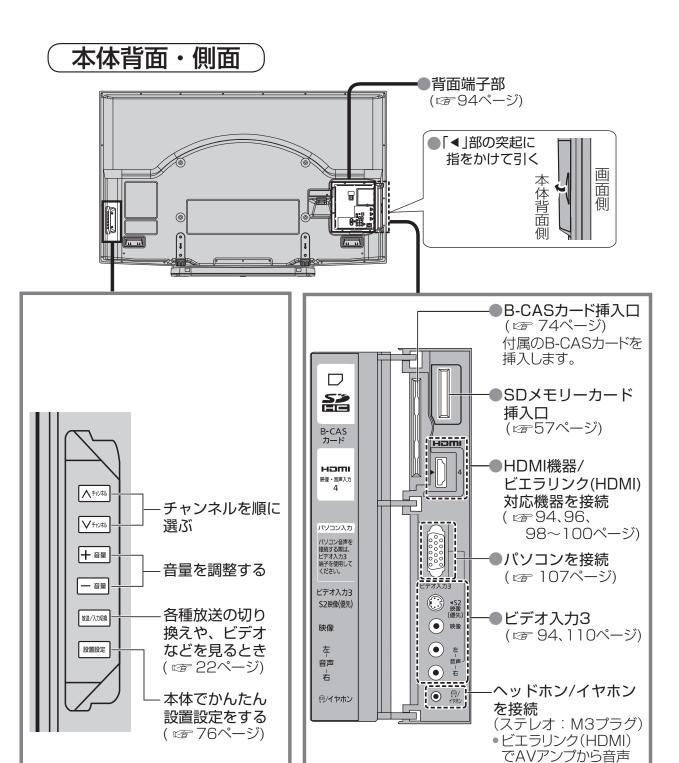
本体でかんたん設置設定をする
（☞ 76ページ）

●B-CASカード挿入口
（☞ 74ページ）
付属のB-CASカードを挿入します。

●SDメモリーカード挿入口
（☞57ページ）

●HDMI機器/ビエラリンク(HDMI)対応機器を接続
（☞94、96、98～100ページ）

●パソコンを接続
（☞ 107ページ）

●ビデオ入力3
（☞ 94、110ページ）

ヘッドホン/イヤホンを接続
（ステレオ：M3プラグ）
- ビエラリンク(HDMI)でAVアンプから音声を出しているときは音は出ません。
- 2画面時は左画面の音声が出ます。
［音声出力を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出ます。（♪マークを表示）］

電子説明書の使いかた

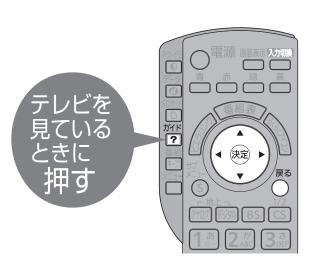
■本機は電子説明書（VIERA操作ガイド）を内蔵しています。

テレビの操作がわからないとき、ガイド を押すだけで、取扱説明書の内容を画面で見ることができます。

●トップページから、見たい情報を探す（☞ 右ページ）

ポイント

ガイド で開く 閉じる

で選ぶ

戻る で1つ戻る

※電子説明書の表示中は上記のボタン以外を、押さないでください。もし、メニュー画面が表示された場合は、元の画面 を押して、電子説明書を終了して最初からやり直してください。

●電子説明書を見て、すぐに実際の操作をする（☞ 18ページ）

●実際の操作中、今の操作説明を見る（☞ 18ページ）

●紙の説明書のさらに詳しい説明を見る（☞ 19ページ）

■電子説明書のトップページと1つ下のページでは、音声ガイドで説明書の使いかたを案内します。

●音声ガイドを止めたいときは（☞ 右ページ）

●音声ガイドを聞き直したいときは 12 を押す

チャンネルボタン

※「音声ガイドを止める」が選択されたとき（☞右ページ）は、聞き直しはできません。
※音声ガイドはトップページのみ聞き直しができます。

■本機にネットワークプリンターを接続しているときは、表示している電子説明書を印刷することができます。

●電子説明書を印刷したいときは（☞ ネットワーク編 48ページ）

トップページから見たい情報を探す

1 テレビ画面のときに

ガイド ボタンを押す

● もう一度押すとテレビ画面に戻る

2 「目的でさがす」「言葉でさがす」「困ったとき」から調べかたを選ぶ

● 音声ガイドを止めたいときは「音声ガイドを止める」を選び「決定」

目的でさがす

手順の通り覚えてからやってみましょう！

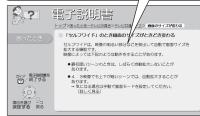
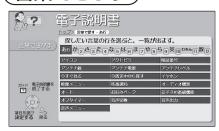
●説明手順があるときは、リモコンの数字ボタンを押して項目を選ぶこともできます。（「■準備」などの手順番号のない項目を選ぶには、リモコンの12を押す。）

言葉でさがす

探したい言葉の行を選ぶと、その行の一覧を表示します。

●リモコンの数字ボタンを押して「行」や「英」「数」を選ぶこともできます。

困ったとき

紙の説明書（本書）（☞ 122ページ～）の「故障かな!?」「ビエラリンクQ&A集」「メッセージ一覧」と同様の内容が見られます。

電子説明書の使いかた（つづき）

電子説明書（VIERA操作ガイド）を見て、実際に操作してみたいときは

● テレビ画面上の「実際にやってみる」ボタンを選んで決定すると、実際の操作画面に切り換わります。

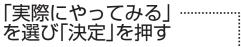
テレビを操作していて、途中でわからなくなったときは

● リモコンの ガイド[?] を押すと、今の画面に関連した説明を表示します。

紙の説明書（本書）を読んでいて、さらに詳しい説明が見たくなったときは

● 電子説明書のトップページで、本書に記載されている3桁の番号を押すと、紙の説明書と関連した、さらに詳しい説明を表示します。

説明を見て実際に操作してみる

「実際にやってみる」を選び「決定」を押す

電子説明書

例：画質調整の説明

実際の操作画面

「画質の調整」画面

操作がわからなくなったとき

ガイド[?] を押す

実際の操作画面

例：番組表を出しているとき

電子説明書

番組表に関連した説明

■ガイドマークについて

● 本書の説明中に右のマーク（ガイド）がある操作をしているときに ガイド[?] を押すと、今の操作に関連した説明を表示します。

エラーメッセージが表示されたとき

● エラーメッセージに [?] マークが表示されているときに ガイド[?] を押すと、詳しい説明を表示します。（☞132ページ）

紙の説明書のさらに詳しい説明を見たいとき

1 テレビ画面のときに、ガイド[?] を押す

テレビ放送の画面

テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、[元の画面] を押して、テレビ画面の状態に戻してから ガイド[?] を押してください

電子説明書のトップ画面を表示

2 本書に記載の22～71ページの3桁の番号を押す

[7] → [10] → [3]　例：703と押す

詳しい解説を見る　ガイド[?]+[7][10][3]

3桁の番号

お知らせ

● 3桁番号は124、127ページにも記載しています。

■やり直すとき

戻る ◯ を押す（1つ前の画面に戻る）

本機で楽しめる放送

B-CASカードを挿入しないとデジタル放送は映りません。

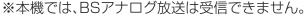
地上デジタル

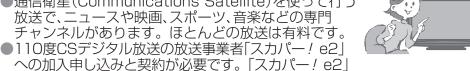
●UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。（2009年7月現在）
※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

お問い合わせ先

●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570−07−0101（ナビダイヤル）（PHS・IP/ひかり電話のかたは**03−4334−1111**）
受付時間 月〜金/9：00 〜21：00、土・日・祝/9：00〜18：00

BSデジタル

●放送衛星（Broadcasting Satellite（ブロードキャスティング・サテライト））を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
WOWOW（ワウワウ）などの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

110度CSデジタル

●通信衛星（Communications Satellite（コミュニケーションズ・サテライト））を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先

●「スカパー！ e2」カスタマーセンター
0570−08−1212（ナビダイヤル）（PHS・IP電話のかたは**045−276−7777**）
受付時間 10:00 〜20:00（年中無休）
●「スカパー！ e2」公式ホームページ　http://www.e2sptv.jp/

地上アナログ

●従来からのVHF・UHF放送のことです。
●地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。
●地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。
●本機では、地上アナログ放送で、電波のすきまで送られてくる文字放送（字幕）はご覧いただけません。

●BSアナログのWOWOW（ワウワウ）はBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「スカパー！ e2」として110度CSデジタル放送で、お楽しみいただけます。
すでにご契約されている場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。（放送の内容は異なりますので、再契約をされる場合はよくご確認ください）

デジタル放送には3種類の放送（サービス）があります

テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

データ放送

テレビ放送が表示されることもあります

お住まいの地域の生活情報やクイズ、天気予報、ニュースなどの放送です。

ラジオ放送

静止画など

♪♪♪ 音楽など

音声を主とした放送です。

●テレビ放送で データ を押すと、データ放送を表示できる場合があります。（☞ 26ページ）
この場合、現在のテレビ放送に関連した情報などが表示されます。
●番組表からの選局やチャンネル選局でご覧いただけるデータ放送では データ の操作は不要です。
●ラジオ放送は、放送を休止しています。（2009年7月現在）

基本的な画面操作について

画面上で選ぶとき

中央の決定ボタンを押すと、次の画面になります

※上記のように取扱説明書上では、押すボタンを拡大しています。

■やり直すとき

戻る
1つ前の画面に戻る

元の画面
テレビ放送の画面に戻る

■数字などを入力するとき

リモコンボタン	入力文字（表示内容）
1 〜 9	：1〜9
10	：0
11	：＊
12	：＃

※この取扱説明書でのイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

例）録画予約の詳細設定画面の場合

画面上で灰色表示されている項目の設定や選択はできません。取扱説明書の説明用画面イラストでは灰色表示の区別はしていません。

アナログ放送時、実際の画面では灰色表示（設定できない項目です）

テレビを見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
テレビ放送を見る ボタン選局 / 順送り選局	地上 アナログ デジタル BS CS（1/2） で放送の種類を選ぶ ▶ 1 ～ 12 で選局 / チャンネル で選局	ガイド ?＋7 4 1	地上デジタルの枝番選局について ガイド ?＋7 4 10 チャンネルなどの設定は（☞85～87ページ） リモコンボタンの出荷設定について（☞134ページ）
3桁のチャンネル番号を入力して選局する（デジタル放送時のみ） 3桁入力	3桁入力 を数回押して入力対象の放送（地上D/BS/CS）を選ぶ ▶ 見たい局の3桁の番号を入力（例：101チャンネルの場合） 1 10 1 5秒以内 5秒以内	ガイド ?＋7 4 3	
ビデオやDVDを見る / パソコンを使う 入力切換 コード類がしっかり差し込まれていないと切り換わりません	入力切換 を押す 「入力切換」画面を表示 ▶ 決定 切り換えたい入力を選び決定（パソコンの場合は、PCの項目を選び決定） ●「入力切換」を数回押して切り換えることもできます。（数秒後、自動的に一覧表示が消えます） ●数字ボタンを押して、直接選ぶこともできます。 ／ ビデオデッキやDVDレコーダー（接続している機器）を操作する ・ディーガを本機リモコンで操作する場合は（☞ 68ページ）	ガイド ?＋7 5 10	ビデオ入力表示書換（☞ 109ページ） 入力自動スキップ（☞ 111ページ） 接続（☞108ページ）
	パソコンを操作する	ガイド ?＋7 5 3	画面モードを切り換えるには 画面モード を押す（押すたびに切り換わる） 接続／設定（☞107ページ）
タイトルなどを表示する 画面表示	画面表示 を押す ／ ■消すとき 画面表示 を数回押す	ガイド ?＋4 5 1	
一つ前の画面に戻る 戻る	戻る を押す メニュー画面から一つ前の画面に戻る		
テレビ放送の画面に戻る 元の画面	元の画面 を押す メニュー画面などから、テレビ放送の画面に戻る		
見ている番組の内容を見る 番組内容	番組を見ているときに メニュー を押す ▶ 決定 「番組の内容を見る」を選び決定 ／ ■確認したら 元の画面 を押す	ガイド ?＋4 5 4	アイコンについて（☞120ページ）

オフタイマー機能を使う／ネットで使い方ガイドを使う

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

オフタイマー機能を使う

手順▷▷▷

タイマーで自動的に電源を切る

オフタイマー

メニューを押す ▶ 決定「オフタイマー」を選び決定 ▶ 決定を押す ▶

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

決定 項目を選び決定

30分後にオフ 60分後にオフ 90分後にオフ	30、60、90分後に本体の電源を「切」にします
切	オフタイマー機能を使わないとき

■テレビ画面に戻るには 元の画面を押す

詳しい解説を見る

ガイド ? + 3 5 8

関連情報

ネットで使い方ガイドを使う

手順▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まずご確認ください

ネットワークの接続と設定（☞ネットワーク編）

「ネットで使い方ガイド」を使う

ネットで使い方ガイド

メニューを押す ▶ 決定「ネットで使い方ガイド」を選び決定
→ネットで使い方ガイドの画面を表示します

■テレビ画面に戻るには 元の画面を押す

●「ネットで使い方ガイド」では、ビエラリンク（HDMI）対応の接続機器や記録されたSDメモリーカードから機器の品番情報などを取得し、それに基づいてインターネットから当社製機器の使いかたなどのお役立ち情報がご覧になれます。
※すべての関連商品が対象ではありません。
●「ネットで使い方ガイド」をご覧になるには、ブロードバンド環境が必要です。詳しくはネットワーク編をご覧ください。（2009年7月現在）

省エネ設定／データ放送を見る　／サブメニュー

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

省エネ設定

手順▷▷▷

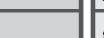
まず次の操作をする

メニューを押す

「省エネ設定」を選び決定

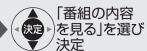
ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。

省エネ設定			
無信号自動オフ	切	入	
無操作自動オフ	切	入	
消費電力	標準	減1	減2
無操作画面自動オフ	切	入	

初期設定-省エネ設定画面
※白抜きは工場出荷時の設定

	手順		詳しい解説を見る	関連情報
地上アナログ放送やビデオが終了して10分後に自動的に電源を切る 無信号自動オフ	「無信号自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	ガイド?+8 3 7	電源が切れる3分前から点滅表示します
3時間以上操作をしないとき自動的に電源を切る 無操作自動オフ	「無操作自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	ガイド?+8 3 8	電源が切れる3分前から点滅表示します
画面の明るさを抑えて消費電力を低減する 消費電力	「消費電力」を選ぶ	設定する	ガイド?+8 3 9	「標準」標準的な明るさ 「減1」消費電力を低減 「減2」さらに低減
パネルの焼き付きを防止する（スクリーンセーバー） 無操作画面自動オフ	「無操作画面自動オフ」を選ぶ	「入」を選ぶ	ガイド?+8 4 10	アクトビラ画面やSDメモリーカードの写真再生時（スライド表示時を除く）5分以上操作がないときに動作します。

■終わったら 元の画面 を押す

データ放送を見る

手順▷▷▷

	手順			詳しい解説を見る	関連情報
データ放送の番組を確認する	メニュー デジタル放送を視聴中に押す	決定 「番組の内容を見る」を選び決定	●下記アイコンが表示された番組はデータ放送があります。（アイコンが表示されない番組もあります） データ テレビ テレビ ラジオ ラジオ ■確認したら 元の画面 を押す	ガイド?+7 8 3	データ放送とは ガイド?+1 9 10
データ放送を見る データ放送	データ デジタル放送を視聴中に押す	決定 見たい項目を選び決定	■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す	ガイド?+7 8 4	

サブメニュー

手順▷▷▷

	手順		詳しい解説を見る	関連情報
ワンタッチで機能を呼び出す サブメニュー	サブメニュー S を押す ●今の画面に関連した機能が表示されます。	決定 項目を選び決定	ガイド?+4 6 10	

番組表から見る／お好みの番組を探す

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

番組表から見る

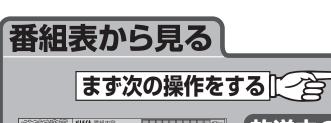
手順▷▷▷

まず次の操作をする

番組内容

を押す

放送を選ぶ

決定 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示）

	手順	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	番組表を押す → ガイド？を押すと、電子説明書でご覧になれます。→ アナログ／デジタル／BS／CS 放送を選ぶ → 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示）	ガイド？＋7 10 3	番組表が映らないときは（☞128ページ） 番組表の見かたについて ガイド？＋5 10 1
放送中の番組を見る（今すぐ見る）	「今すぐ見る」を選び決定 →選んだ番組が映る		
放送予定の番組を見る（見るだけ予約）	「見るだけ予約」を選び決定 ●テレビを見ているときに、予約時刻になると、予約番組に切り換わります。	ガイド？＋9 2 10	

お好みの番組を探す（検索して探す）

手順▷▷▷

	手順	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す → 「番組を探す／予約する」を選び決定	ガイド？＋7 10 10	「注目番組」について（☞32ページ）
今の時間帯で放送されている番組から探す（今放送中から）	「今放送中から」を選び決定 ガイド → 番組を選び決定 →選んだ番組が映る	ガイド？＋10 2 1	
おすすめされる番組を一覧で見る（おすすめ一覧）	「おすすめ一覧」を選び決定 ガイド ●購入後、初めて「おすすめ一覧」を選んだときは、おすすめ通知の設定画面が表示されます。	ガイド？＋10 3 1	番組を見たいとき ガイド？＋5 1 10
映画やスポーツなどジャンルで探す（ジャンル別に）	「ジャンル別に」を選び決定 ガイド → メインジャンルを選び決定 → サブジャンルを選び決定	ガイド？＋10 6 1	
キーワードで探す（キーワードで）	「キーワードで」を選び決定 ガイド → カテゴリーを選び決定 → キーワードを選び決定	ガイド？＋10 7 1	
出演者などの人名で探す（人名で）	「人名で」を選び決定 ガイド → カテゴリーを選び決定 → 読みの最初を選び決定 → 名前を選び決定	ガイド？＋10 8 1	

地上アナログ放送の番組表や検索機能をご利用になるときも、衛星アンテナの接続が必要です。本機は、放送局から送られてきた番組データに基づいて番組を探します。そのため、実際の放送に該当する(キーワードや人名)項目が含まれている番組でも、番組検索の検索結果には表示されないことがあります。

検索結果から

番組を選び決定 → 選んだ番組の内容を表示

録画予約したいときは36ページの手順で録画予約する

●番組表から見る／お好みの番組を探す

お好みの番組を探す

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

お好みの番組を探す（関連情報で探す）

手順▷▷▷

		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	番組表を押す ▶ 放送を選ぶ（地上 アナログ／デジタル、BS、1/2 CS）▶ 決定 見たい番組を選び決定（「番組内容」画面を表示）▶ 決定「関連情報」を選び決定 ▶ 関連情報メニューを表示 ガイド ?を押すと、電子説明書でご覧になれます。	ガイド ? + 10 9 10　お知らせ ガイド ? + 7 2 5	
注目番組の一覧から探す　注目番組一覧から探す	決定「注目番組一覧から探す」を選び決定 ▶ 決定「注目番組一覧」から番組を選び決定 ▶ 選んだ番組の内容を表示	ガイド ? + 10 9 8	
放送中止時の代替番組を探す　放送中止時の番組を探す	決定「放送中止時の番組を探す」を選び決定　野球中継番組が、雨天で中止になった場合などの番組情報が表示されます。▶ 選んだ番組の内容を表示	ガイド ? + 10 9 1	
選んでいる番組に関連した番組を探す　関連番組を探す	決定「関連番組を探す」を選び決定 ▶ 決定「関連番組」メニューから番組を選び決定 ▶ 選んだ番組の内容を表示	ガイド ? + 10 9 2	番組を見たいとき ガイド ? + 5 1 10
出演者などの人名で探す　人名で番組を探す	決定「人名で番組を探す」を選び決定 ▶ 決定 人名を選び決定 ▶ 検索結果から 決定 番組を選び決定	ガイド ? + 10 9 5	
映画やスポーツなどジャンルで探す　ジャンルで番組を探す	決定「ジャンルで番組を探す」を選び決定 ▶ 決定 ジャンルを選び決定 ▶ 検索結果から 決定 番組を選び決定	ガイド ? + 10 9 6	
キーワードで探す　キーワードで番組を探す	決定「キーワードで番組を探す」を選び決定 ▶ 決定 キーワードを選び決定 ▶ 検索結果から 決定 番組を選び決定	ガイド ? + 10 9 7	

「番組内容」画面

関連情報メニュー：
関連情報
注目番組一覧から探す
放送中止時の番組を探す
関連番組を探す
人名で番組を探す
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す

（情報のない項目は表示しません。）

選んだ番組の内容を表示

情報のない項目（タブ）は表示しません。

録画予約したいときは36ページの手順で録画予約する

（番組内容が表示されれば、番組表に載っていない番組でも録画予約できます。）

※「注目番組一覧」から探した番組が9日以上先の番組の場合は、予約方法が時間指定予約のみになる場合があります。

検索結果から

（例：ジャンル検索）

●「関連情報」メニューからは、地上デジタル放送局やBSデジタル放送局から送られてきたデータに基づいて、番組が検索できます。

お好みの番組を探す/広告の詳細を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

注目番組とは・・・
放送局からの情報を元に、Gガイドが提供する番組情報を表示します。注目番組一覧から番組の詳細内容を見たり、予約などができます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

お好みの番組を探す(注目番組で探す)

手順▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

メニューを押す ▶ 「番組を探す/予約する」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

放送局おすすめの注目番組を探す

注目番組一覧

「注目番組一覧」を選び決定 →「注目番組一覧」を表示します。

「注目番組一覧」画面は以下のどちらかを表示します。(表示する2種類の画面はGガイドが運用しています)

(サムネイル形式表示) (リスト形式表示)

ガイド ? + 10 1 6

●「注目番組」の情報は、地上デジタル放送局やBSデジタル放送局から送られてくるデータに基づいて表示されます

広告の詳細を見る

手順▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

番組表を押す ガイド

広告の詳細を見る

広告の詳細を見る

データ 番組表に広告が表示されているときに押す

→広告の詳細を表示します

■広告を切り換えるには
上下ボタンで選ぶ

■広告のページを送りたいとき
決定を押して上下ボタンで送る

■テレビの画面に戻るには
元の画面を押す

広告に番組情報があるときは、36ページの手順で録画予約できます。

おすすめ番組機能

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

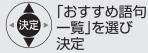
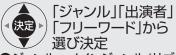
おすすめ番組機能とは…
本機がお客様のお好みを学習して、おすすめの番組を一覧にしたり、番組の開始などを自動でお知らせします。 ガイド？＋7 1 3

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

おすすめ番組機能を使う

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
通知されたおすすめ番組を見る（おすすめ通知）	おすすめ通知を★おすすめ 決定（おすすめ通知）表示中に押す ▶ おすすめ番組の紹介を表示中に押す →おすすめ番組に切り換わる ■おすすめ通知を消すには 戻る を押す	ガイド？＋7 1 4	
「番組内容」画面から番組のお好みを登録するとき（おすすめ学習）	「番組内容」画面を表示中 決定 「★おすすめしてほしいですか?」の「はい」「いいえ」を選び決定 ■終わったら 元の画面を押す	ガイド？＋7 1 5	

おすすめ番組の設定を変える

	手順▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	メニューを押す ▶ 決定「設定する」を選び決定 「システム設定」を選び決定 「おすすめ番組設定」を選び決定	ガイド？を押すと、電子説明書でご覧になれます。		
おすすめ番組機能の「オフ」「オン」を設定する（おすすめ機能）	「おすすめ機能」を選ぶ ▶ 設定する	オン おすすめ機能を使用する オフ おすすめ機能を使用しない	ガイド？＋7 1 6	
番組開始時のおすすめ通知を設定する（番組開始時のおすすめ通知）	「番組開始時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 設定する	オン 視聴中におすすめ通知をする オフ 視聴中におすすめ通知をしない ■終わったら 元の画面を押す	ガイド？＋7 1 8	
選局操作時のおすすめ通知を設定する（選局操作時のおすすめ通知）	「選局操作時のおすすめ通知」を選ぶ ▶ 設定する	オン 選局時におすすめ通知をする オフ 選局時におすすめ通知をしない		
おすすめ通知させたい番組の数を設定する（通知する番組の数）	「通知する番組の数」を選ぶ ▶ 設定する	少ない 最大 5番組前後まで通知 標準 最大10番組前後まで通知 多い 最大20番組前後まで通知	ガイド？＋7 2 10	
おすすめして欲しい語句を登録する（おすすめ語句一覧（新規登録））	「おすすめ語句一覧」を選び決定 ▶ 緑を押す 「ジャンル」「出演者」「フリーワード」から選び決定 ▶ 「おすすめする」「おすすめしない」を選び決定 ●ジャンル：メインジャンル/サブジャンルから選び決定 ●出演者：カテゴリー/読みの最初/名前から選び決定 ●フリーワード：文字を入力して「登録」を選び決定	■終わったら 元の画面を押す	ガイド？＋10 5 10	フリーワードの文字入力についてはネットワーク編14ページに記載
おすすめして欲しい放送を選ぶ（おすすめ対象設定）	「おすすめ対象設定」を選び決定 ▶ 各放送ごとに設定する	オン おすすめ対象に設定するとき オフ おすすめ対象に設定しないとき ■終わったら 元の画面を押す		
学習をリセットしはじめからやり直すとき（学習リセット）	「学習リセット」を選び決定 ▶ 「はい」を選び決定		ガイド？＋7 2 4	

●おすすめ番組機能

番組表から録画予約する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

手順▷▷▷

詳しい解説を見る

関連情報

まず次の操作をする

機器の接続と設定（☞94～113ページ）

を押す

地上 アナログ デジタル BS CS 1/2

録画したい放送を選ぶ

?を押すと、電子説明書でご覧になれます。

録画予約の注意点（☞42～47ページ）

番組表から録画予約する

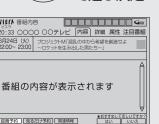
ビエラリンク（HDMI）や Irシステムを使って録画予約ができます。

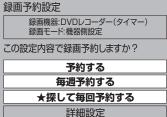
ビエラリンク（HDMI）対応機器の接続と設定（☞98～103ページ）

Irシステムの接続と設定（☞104～106ページ）

番組表から番組を選び決定

番組表

番組内容で「録画予約」を で選び決定

録画予約

内容を確認し、「予約する」「毎週予約する」「★探して毎回予約する」のどれかを選び決定（詳しくは☞左ページ下記）

録画予約設定
録画機器:DVDレコーダー(タイマー)
録画モード:機器側設定
この設定内容で録画予約しますか？
予約する
毎週予約する
★探して毎回予約する
詳細設定

■設定を変更する場合

左の手順で「詳細設定」を選び決定

接続機器に応じて設定する（次ページ）

詳細設定
予約方式	見るだけ　録画
録画機器	DVDレコーダー(タイマー)
録画モード	機器側設定
信号設定	

その他の設定
時間指定予約へ
予約せず戻る
予約する

A（次ページへ続く）

●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞52ページ）

■終わったら 元の画面 を押す

詳細設定画面の「予約方式」について

ガイド ? + 7 9 6

録画についてのご注意事項は（☞46ページ）

すでに予約設定されている番組を変更するときは、「設定変更」を選びます。

予約する

選んでいる番組だけを予約する場合に選びます。
（録画予約可能件数は、探して毎回予約を含めて64件までです）

毎週予約する

連続ドラマなどを予約する場合に選びます。
（同じチャンネル・曜日・時間に放送される番組を自動で予約設定）

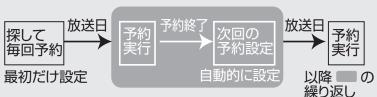
予約時の注意点

・ビエラリンク（HDMI）での予約以外は番組の放送時間が変更された場合、対応できません。

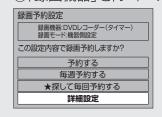
★探して毎回予約する

●放送日や放送時間が一定ではないシリーズものの番組を、一度「探して毎回予約する」に設定すると、次回以降の放送は本機が自動的に毎回、予約設定します。
（番組表データの放送チャンネル・時間帯・番組名などから次回の放送を自動検索）
（「探して毎回予約する」の予約可能件数は24件です）

予約時の注意点について

ガイド ? + 7 9 9

■ビエラリンク（HDMI）で録画予約するときは

録画機器については
①「詳細設定」の画面にする
②「録画機器」を「ディーガ（ビエラリンク）」にする

録画予約設定
録画機器:DVDレコーダー(タイマー)
録画モード:機器側設定
この設定内容で録画予約しますか?
予約する
毎週予約する
★探して毎回予約する
詳細設定

詳細設定
予約方式	見るだけ　録画
録画機器	ディーガ(ビエラリンク)
録画モード	ーー
信号設定	

その他の設定
時間指定予約へ
予約せず戻る
予約する

●番組表から録画予約する

予約の詳細設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

予約の詳細設定

手順▷▷▷

ビエラリンク(HDMI)またはIrシステムを使って録画する

タイマー予約
（ビエラリンク(HDMI)、Irシステム共に可能）

前ページの Ⓐの画面で「録画機器」を選び

「ビデオ(タイマー)」または「DVDレコーダー(タイマー)」または「ディーガ(ビエラリンク)」を選ぶ

「録画モード」を選び設定する
（「ディーガ(ビエラリンク)」のときは選べません。）

「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

連動予約
（Irシステムのみ可能）
※タイマー予約と連動予約を混在させないでください。
予約が実行されない場合があります。

前ページの Ⓐの画面で「録画機器」を選び

「ビデオ(連動)」または「DVDレコーダー(連動)」を選ぶ

「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

録画機器側で録画の準備をする（☞42ページ）

ビエラリンク(HDMI)やIrシステムが使えない機器に録画する

前ページの Ⓐの画面で「録画機器」を選び

「モニターアウト」を選ぶ

「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

録画機器側を操作して録画する

DLNAに対応したレコーダー(ディーガ)に録画する

DLNAで予約

前ページの Ⓐの画面で「録画機器」を選び

「ディーガ」を選ぶ（表示される機器名は、機器側で設定）

「録画モード」を選び設定する

「予約する」を選び決定

■終わったら［元の画面］を押す

詳しい解説を見る

「録画機器」について ガイド［?］+［7］［9］［1］

「録画モード」について ガイド［?］+［7］［9］［2］

お知らせ ガイド［?］+［7］［9］［4］

関連情報

「録画機器」で選べる項目はビエラリンク(HDMI)設定やIrシステム設定の内容で変わります。（☞101～103、106ページ）

録画モードは録画機器側で設定してください。

録画モードで選べる項目は、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

予約の詳細設定(さらに詳しい設定)

手順▷▷▷

複数の映像、音声がある番組で録画する信号を選ぶ

（デジタル放送時のみ）

信号設定

前ページの Ⓐの画面で「信号設定」を選び決定

（見るだけ予約や録画機器がディーガ(ビエラリンク、DLNA)の場合は、設定できません。）

信号設定

項目	設定	
マルチビュー	主番組	
映像	映像1	
音声	日本語	
二重音声		
データ		
字幕	オフ	オン
字幕言語	日本語	英語

各項目ごとに録画する信号(映像、音声)を選ぶ

設定したら［戻る］を押す

「予約する」を選び決定

番組追従/開始時刻修正/終了時刻修正/サイドカット

その他の設定

前ページの Ⓐの画面で「その他の設定」を選び決定

その他の設定

項目	設定	
番組追従	する	しない
開始時刻修正 16:03	±0分	
終了時刻修正 16:49	±0分	
サイドカット	する	しない

各項目ごとに設定する

■終わったら［元の画面］を押す

日時を指定して予約する

時間指定予約

前ページの Ⓐの画面で「時間指定予約へ」を選び決定

時間指定予約への変更確認
毎週予約の設定や時間指定予約で予約すると
・番組追従が行えません
・信号設定やその他の設定が反映されません
よろしいですか?
はい　いいえ

「はい」を選び決定

時間指定予約の設定画面が出ます（☞40ページ）

詳しい解説を見る

設定内容について ガイド［?］+［8］［10］［5］

設定内容について ガイド［?］+［8］［10］［7］

関連情報

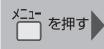
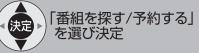
日時を指定して予約する／確認・変更・取り消し／番組追従・探して毎回予約

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、[元の画面]を押してから操作

手順 ▷▷▷

詳しい解説を見る ／ **関連情報**

まず次の操作をする

メニュー を押す ▶
「番組を探す/予約する」を選び決定 ▶ [時間指定予約で] [予約一覧] 各項目を選んで設定する（下欄参照）

日時を指定して予約する　時間指定予約

「時間指定予約で」を選び決定

ガイド[?]を押すと、電子説明書でご覧になれます。

予約方式	見るだけ／録画
放送種別/チャンネル	BS 200
曜日/日	10月23日(日)
開始時刻 10月23日	20:00
終了時刻 －－	－－
録画機器	ビデオ(連動)
録画モード	標準
信号設定	音声:日本語
その他の設定	
予約せず戻る	
予約する	

各項目ごとに設定する ▶
「予約する」を選び決定

■終わったら [元の画面] を押す

●暗証番号入力画面が表示されたときは（☞ 52ページ）

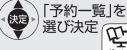
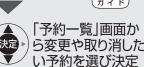
詳しい解説を見る：設定内容について ガイド[?]+[8][10][1]　お知らせ ガイド[?]+[8][10][10]

予約の確認や変更、取り消しをする

（地上アナログ放送でのタイマー予約以外のとき）　予約一覧　予約変更　予約取り消し

※ビエラリンク(HDMI)でのタイマー予約の場合は、履歴の確認と削除ができます。

「予約一覧」を選び決定

「予約一覧」画面から変更や取り消したい予約を選び決定

（確認のみの場合、[元の画面]で終了）

予約一覧

■探して毎回予約の取り消し
①赤ボタンを押して探して毎回予約の一覧を出す
②取り消したい予約の項目を選び [黄] を押す
③「はい」を選び決定

実行前の予約の変更
「設定変更」を選び決定 ▶ 設定変更画面で内容を修正し、「修正する」を選び決定

実行前の予約の取り消し
「予約削除」を選び決定

実行中の予約の変更
実行中の予約は本機からは変更できません

実行中の予約の取り消し（中止）
「取り消し」を選び決定（詳細は46ページ）

実行済の予約履歴削除
「履歴削除」を選び決定

■終わったら [元の画面] を押す

詳しい解説を見る：予約件数について ガイド[?]+[8][10][2]　探して毎回予約について ガイド[?]+[7][9][8]　お知らせ ガイド[?]+[8][10][3]

関連情報：

タイマー予約の変更・取り消し
「タイマー予約」を変更したり、取り消したい場合、録画機器側でも変更や取り消しの操作が必要です。

探して毎回予約の取り消し
「探して毎回予約」を取り消すには、本機側での取り消し操作（左ページ）と、録画機器側での取り消し操作が必要です。

手順 ▷▷▷

詳しい解説を見る ／ **関連情報**

まず次の操作をする

メニュー を押す ▶
「設定する」を選び決定 ▶
「システム設定」を選び決定

放送時間や放送チャンネルが変わったとき 自動で予約を変更する（デジタル放送のみ）　番組追従

探して毎回予約の自動検索を一時的に止める　探して毎回予約

「録画・視聴設定」を選び決定

録画・視聴設定		
番組追従	する	しない
探して毎回予約	オフ	オン

「番組追従」を選び「する」に設定する

「探して毎回予約」を選び「オフ」に設定する

■終わったら [元の画面] を押す

詳しい解説を見る：設定内容について ガイド[?]+[7][9][5]

関連情報：Irシステムのタイマー予約、時間指定予約時は働きません。

●日時を指定して予約する／確認・変更・取り消し／番組追従・探して毎回予約

録画予約の注意点

本機から録画機器に予約設定します。（本機に録画機能はありません。）

予約の方法について

■番組表から予約する

● [番組表]を押して番組表を出し、録画したい番組を選べば、簡単に予約設定できます。（番組表は最大8日分を表示）

ここでは次の5種類の予約方法について説明しています。

●Irシステムを使って予約
[タイマー予約]
[連動予約]（☞右ページ）

●HDMIケーブルを使って予約
[ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約]（☞44ページ）

●ビエラリンク(HDMI)やIrシステムが使えない録画機器への予約
[ビエラリンク(HDMI)やIrが使えない機器への予約]（☞44ページ）

●LANケーブルを使って予約
[DLNAに対応した当社製レコーダー(ディーガ)にタイマー予約]（☞44ページ）

■日時を指定して予約する（時間指定予約）

●1週間以上先の番組予約もできます。
●毎日、毎週などのくり返しの予約ができます。（☞40ページ）

「タイマー予約」「連動予約」対応機器（2009年7月現在）

■Irシステムの対応機器…対応機器は以下のとおりです。

対応機器／予約方式	当社製1995年製以降のビデオデッキまたはDVDレコーダー	左記以前の当社製ビデオデッキ	他社製のビデオデッキ	他社製のDVDレコーダー
タイマー予約	○ ※1	×	×	×
連動予約	○	○	○ ※2	○ ※3

×印(対応外)の機器の場合は、テレビと録画機器の両方で通常の録画予約をしてください。

※1：NV-WV1、NV-WV10、NV-HV61、NV-H4K、DMR-E700BDを除く
※2：対応メーカー/ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
※3：対応メーカー/パイオニア、三菱
（ただし上記メーカーでも、一部使用できない機種があります）

■ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

●本機とHDMIケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。
●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。
●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。
ビエラリンク(HDMI)Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2008年12月現在）

お知らせ

●ハイビジョン画質での録画に対応しているDVDレコーダーなどに録画予約する場合でも、本機のモニター出力からの録画(Irシステムケーブルを用いた録画など)では、ハイビジョン画質ではなく、地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

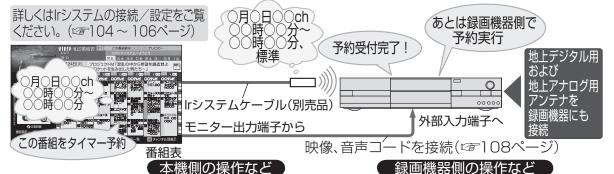
Irシステムでタイマー予約
Irシステムで連動予約

当社製のビデオデッキやDVDレコーダーの録画予約設定を本機から行う

タイマー予約

※他社製の録画機器ではお使いいただけません。

本機側の操作など / **録画機器側の操作など**

予約設定と準備

本機側：
まず右の録画機器側の操作(①、②)を行う
❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す
❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す
❸「詳細設定」を選び「決定」を押す
❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う（詳しくは☞38ページ）

録画機器側：
本機側の操作(❶、❷、❸、❹)のまえに
①リモコンで電源を入れる
②テープやディスクを入れる
(本機側の操作❶、❷、❸、❹のあと自動的に電源が切れる)

予約時刻になると

本機側：
デジタル放送予約時は予約した番組の映像と音声を本機が出力します

録画機器側：
・地上アナログ放送の予約時は録画機器側のチューナーより録画が実行されます
・デジタル放送の予約時は本機からの映像・音声信号により録画が実行されます

●深夜番組など日付をまたいで放送される番組は、正しく録画されない場合があります。また、24時間以上の録画はできません。このような場合は、デジタル放送では連動予約をお使いください。
●予約の変更と取り消しは、録画機器側でも実施してください。

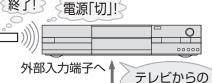
●番組の時間変更に合わせて録画したい ●他社製の機器にも録画予約したい

連動予約

（デジタル放送のみ）
※当社製の録画機器にもお使いいただけます。

詳しくはIrシステムの接続／設定をご覧ください。（☞104～106ページ）

録画開始時点　録画終了時点
時間がきたらテレビが自動で指示
電源「入」!　録画開始!　終了!　電源「切」!

○月○日○○ch ○○時○○分～○○時○○分
この番組を連動予約
番組表
Irシステムケーブル(別売品)
モニター出力端子から
外部入力端子へ
映像、音声コードを接続（☞108ページ）

本機側の操作など / **録画機器側の操作など**

予約設定と準備

本機側：
❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す
❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す
❸「詳細設定」を選び「決定」を押す
❹詳細設定画面で「連動予約」の設定を行う（詳しくは☞38ページ）

録画機器側：
①テープやディスクを入れる
②本機から接続した外部入力に切り換える
③録画モードを設定する
④録画可能状態であることを確認し、リモコンで電源を切る(切らないと、録画開始できません)

予約時刻になると

本機側：
電源「入／切」・録画開始の信号および、予約した番組の映像と音声を出力します（終了時刻には停止信号を出力します）

録画機器側：
電源が入り、録画が実行されます（終了時刻には電源が切れます）

●他社製の録画機器をお使いの場合や、デジタル放送番組の放送時間や放送チャンネルが変更になったときでも自動的に追従して録画させたい場合などにご利用ください。（放送局から情報のあるときのみ）

録画予約の注意点(つづき)

ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約
ビエラリンク(HDMI)やIrが使えない機器への予約
DLNA対応ディーガにタイマー予約

ビエラリンク(HDMI)に対応した
当社製レコーダー(ディーガ)の録画予約設定を本機から行う

ビエラリンク(HDMI)でタイマー予約

※他社製のHDMI機器ではお使いいただけません。

番組表

詳しくはビエラリンクの接続／設定をご覧ください。(☞97～103ページ)

すべてのアンテナ
・地上アナログ
・地上デジタル
・BSデジタル
をレコーダー(ディーガ)にも接続

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「タイマー予約」の設定を行う(詳しくは☞38ページ)	機器によっては、録画用のディスクを入れる必要があります
予約時刻になると		録画が実行されます

●予約した番組はレコーダー(ディーガ)側のチューナーで受信して録画されます。(本機のHDMI端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません。)
●有料番組や視聴制限、録画予約の重複については録画機器側の設定に依存します。詳しくは、録画機器側の説明書をご覧ください。

ビエラリンク(HDMI)やIrシステムが使えないとき

ビエラリンク(HDMI)やIrが使えない機器への予約

(デジタル放送のみ)

番組表

○月○日○○ch
○○時○○分～
○○時○○分

モニター出力端子から

この番組を予約

外部入力端子へ

映像、音声コードを接続(☞ 108ページ)

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で録画機器を「モニターアウト」にする(詳しくは☞38ページ)	①テープやディスクを入れる ②本機から接続した外部入力に切り換える ③録画モード、録画開始、終了時刻を設定する
予約時刻になると	予約した番組の映像と音声を出力します	録画が実行されます

●アナログ放送を録画予約される場合は、VHF／UHFアンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。
●デジタル放送のチューナーを内蔵している録画機器をご使用の場合、デジタル放送はデジタル放送用アンテナを接続した録画機器側で予約設定してください。

DLNAに対応した
当社製レコーダー(ディーガ)の録画予約設定を本機から行う

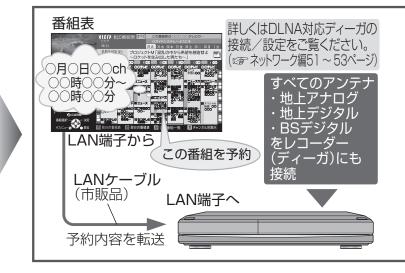
DLNA対応ディーガにタイマー予約

番組表

詳しくはDLNA対応ディーガの接続／設定をご覧ください。(☞ネットワーク編51～53ページ)

すべてのアンテナ
・地上アナログ
・地上デジタル
・BSデジタル
をレコーダー(ディーガ)にも接続

	本機側の操作など	録画機器側の操作など
予約設定と準備	❶番組表で、録画したい番組を選び「決定」を押す ❷画面左下の「録画予約」を選び「決定」を押す ❸「詳細設定」を選び「決定」を押す ❹詳細設定画面で「DLNAで予約」の設定を行う(詳しくは☞38ページ)	機器によっては、録画用のディスクを入れる必要があります
予約時刻になると		録画が実行されます

●予約した番組はレコーダー(ディーガ)側のチューナーで受信して録画されます。(本機のLAN端子から、予約した番組の映像や音声は出力しません。)
●有料番組や視聴制限、録画予約の重複についてはレコーダー(ディーガ)側の設定に依存します。詳しくは、レコーダー(ディーガ)の説明書をご覧ください。

録画予約の注意点(つづき)

録画についてのご注意事項

項目	内容
録画機器の事前設定	●予約の日時、入力(チャンネルなど)以外の機能は、あらかじめ録画機器で設定してください。(例えば、HDD内蔵のDVDレコーダーでのDVDとHDDの切り換えなど)
録画機器の電源	●放送中または、開始直前の番組を録画予約した場合は録画機器は、電源「入」後、録画可能になるまで準備時間が必要です。(当社製品での一例) ●ビデオデッキ：約15秒　●DVDレコーダー：約90秒 ●ハードディスクビデオレコーダー：約30秒
視聴制限時	●年齢制限時は、暗証番号の入力が必要です。(☞ 52ページ)
録画予約後の電源	●電源はリモコンで「切」にしてください。 デジタル放送の予約時に本体の電源を「切」にすると、録画予約は実行されません。(地上アナログ放送のタイマー予約時やビエラリンク(HDMI)での予約時は「切」にしても録画予約が実行されます)
デジタル放送番組の開始／終了時刻変更	●連動予約で放送局から番組開始が遅れる情報があった場合には、本機の予約開始時刻は情報に追従して遅れます。(3時間まで) タイマー予約時は、録画機器は遅れに追従しませんので最初の予約時刻から録画が始まります。
実行中の録画予約の中止	●地上アナログ放送のタイマー予約やビエラリンク(HDMI)での予約は録画機器側で中止してください。 ●デジタル放送の予約実行中は、予約一覧画面で予約実行中の番組を選び、黄ボタンを押して確認画面で「はい」を選ぶと予約中止されます。 ●デジタル放送のタイマー予約は、本機および録画機器側でも中止してください。
録画中のテレビ画面	●録画中は、現在録画中のチャンネルのみご覧いただけます。
デジタル放送録画の制限	●デジタル放送には、**「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号**が加えられ、CPRMに対応したデジタル録画機器と記録メディアの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します) ●当社製レコーダー(ディーガ)の場合はCPRM対応のディスクの組み合わせで録画が可能になります。詳細は録画機器の取扱説明書をご覧ください。 ●アナログ方式のビデオデッキでは、個人的に利用される場合に限って、これまでどおりに録画可能です。(☞ 136ページ)
ハイビジョン放送の録画画質	●ハイビジョン放送の録画に対応しているDVDレコーダーなどを接続しても、本機のモニター出力から録画した場合は、地上アナログ放送と同程度の画質となります。
地上アナログ放送の録画方法	●地上アナログ放送の録画予約は当社製のDVDレコーダーやビデオデッキによる「タイマー予約」のみ可能です。他社製のDVDレコーダーやビデオデッキには本機から録画できません。(録画機器側で設定してください。)

●録画機器の取扱説明書もあわせてよくお読みください。

予約の優先順位

●予約した番組の放送開始時刻が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約開始時刻の早い番組を優先

先に始まる番組
予約開始時刻(録画開始)　終了
後から始まる番組
予約開始時刻　録画開始　終了

※ ▭ 部分は録画されません。

●上記以外の場合は、予約一覧の順に録画します。
●タイマー予約と連動予約を混在させないでください。
予約が実行されない場合があります。

予約時のメッセージ

メッセージ	内容
この番組は契約されていません。予約できません。	●契約が必要なチャンネルです。 放送事業者に問い合わせて、契約を行ってください。
予約がいっぱいです。予約を削除してからやり直してください。	●実行前の予約は64件までです。 「探して毎回予約する」で、まだ次回分が予約されていない項目がある場合、その分の予約数は実行前の予約可能件数(64件)からあらかじめ差し引かれます。 予約一覧で不要な実行前の予約を取り消してください。(☞ 40ページ)
予約が完了しました。予約が重複しています。予約が実行されない場合があります。	●すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約しています。 ●地上アナログ放送の「タイマー予約」やビエラリンク(HDMI)での予約では、このメッセージは出ませんので録画機器側でご確認ください。
予約できませんでした。	●過去の時間帯を予約しようとした場合などに表示されます。

画面サイズを変える/画面位置やサイズの微調整/画面の設定/2画面で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

画面サイズを変える

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
（ハイビジョン映像以外のとき）自動で拡大画面にする　セルフワイド	［画面モード］自動的に違和感の少ない映像に拡大します	ガイド＋3 2 10	お知らせ　ガイド＋8 2 5
手動で画面モードを切り換える　画面モード	［画面モード］画面モードを表示中に押す（押すたびに切り換わる） セルフワイド→ノーマル→ジャスト→ズーム→フル	ガイド＋3 2 3 お知らせ ガイド＋8 2 7	画面サイズの情報があるとき（D端子・S2映像・ID-1・ED2）（☞ 135ページ）
（ハイビジョン映像のとき）自動で拡大画面にする　サイドカットセルフワイド	［画面モード］1回押す（「フル」と表示）▶［画面モード］「フル」と表示中に再度押して切り換える（約7秒メッセージを表示）	ガイド＋3 2 4	お知らせ　ガイド＋8 2 8
手動で画面モードを切り換える　画面モード（サイドカット）	［画面モード］画面モードを表示中に押す（押すたびに切り換わる） フル→サイドカットセルフワイド→サイドカットノーマル→サイドカットジャスト→サイドカットズーム→サイドカットフル	ガイド＋3 2 7	外部入力時は「サイドカットセルフワイド」に切り換わりません。

画面位置やサイズの微調整/画面の設定

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	［メニュー］調整したい画面のときに押す ▶「設定する」を選び決定 ▶「画面の設定」を選び決定　［ガイド］を押すと電子説明書でご覧になれます。		
垂直の位置やサイズを細かく調整する（画面モードがノーマル以外・2画面以外のとき）　垂直位置/サイズ	「垂直位置／サイズ」を選び決定 ▶ 画面を見ながら調整する ■テレビ画面に戻るには［元の画面］を押す	ガイド＋3 3 4	お知らせ　ガイド＋8 3 10
水平表示領域の調整（ハイビジョン映像以外・PC画面以外・2画面以外のとき）　水平表示領域	「水平表示領域」を選び設定する	ガイド＋3 3 7	お知らせ　ガイド＋8 3 1
1080iや1080pのとき画面サイズを調整する（2画面以外のとき）　HD表示領域	「HD表示領域」を選び設定する	ガイド＋3 4 7	

項目	手順▷▷▷	詳しい解説を見る
1/3：セルフワイド、ID-1検出、ED2検出 2/3：3次元Y/C分離、480p色マトリックス、ブランク輝度設定、サイドカット固定 3/3：デジタルシネマリアリティ、24pフィルムダイレクト	各項目を選び設定する（画面の設定は3ページ構成です。▼を繰り返し押すと、次のページになります） ■終わったら［元の画面］を押す	ガイド＋ 8 5 5 セルフワイド 8 4 9 ID-1検出 8 5 10 ED2検出 8 4 8 3次元Y/C分離 8 5 2 480p色マトリックス 8 5 3 ブランク輝度設定 8 5 7 サイドカット固定 8 5 1 デジタルシネマリアリティ 8 5 8 24pフィルムダイレクト

2画面で楽しむ

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
2画面にする　2画面	［2画面］を押す　もう一度押すと1画面に戻る ●デジタル放送と外部入力の組み合わせのみ2画面表示できます。		■本機でご覧になれる2画面の組み合わせは ガイド＋8 3 5
画面モードを選ぶ　画面モード	［画面モード］2画面のときに押すたびに切り換わる	ガイド＋3 4 1	
左右の画面を入れ換える　左右入換	［左右入換］2画面のときに押すたびに切り換わる ●デジタル放送とビデオ入力／D端子入力の組み合わせのみ切り換わります。	ガイド＋3 4 2	■左右の音声を切り換えたいとき（☞ 54ページ）
右画面を操作する　右画面操作	［右画面操作］▶ の表示中に操作する（約10秒間） ●右画面がデジタル放送時の選局操作や右画面がビデオ入力／D端子入力時の入力切り換えなどができます。 ■本機でご覧になれる2画面の組み合わせは ガイド＋8 3 5	ガイド＋3 4 3	■右画面操作を継続したいとき（☞ 54ページ）

画質をお好みで調整する／パソコンの画面を調整する

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

画質をお好みで調整する

手順▷▷▷ ｜ 詳しい解説を見る ｜ 関連情報

まず次の操作をする

メニュー 調整したい画面のときに押す ▶ 「画質を調整する」を選び決定

ガイドを押すと、電子説明書でご覧になれます。

番組に合わせて映像を選ぶ（映像メニュー）

「映像メニュー」を選び設定する

スタンダード→シネマ→ダイナミック→リビング→ユーザー（写真）→スタンダード

詳しい解説を見る：ガイド＋8 1 10

映像メニューをお好みに調整する（明るさや、色あいなど）（画質の調整）

上記の手順で調整したい映像メニューを選ぶ ▶ 各項目ごとに調整する

（画質の調整は2ページ構成です。▼を繰り返し押すと、次のページになります。）

調整できる項目

(1/2)	(2/2)
ピクチャー	色温度
黒レベル	ビビッド
色の濃さ	カラーリマスター
色あい	NR
シャープネス	HDオプティマイザー
	明るさオート

詳しい解説を見る：ガイド＋8 1 1

映像メニューが「ユーザー（写真）」「シネマ」「リビング」のとき きめ細かく画像を調整する（テクニカル）

「テクニカル」を選び「入」にする ▶ 「テクニカル」画面にする ▶ 各項目ごとに調整する

調整できる項目

輝度設定	Rドライブ
輪郭強調	Bドライブ
ガンマ補正	Rカットオフ
黒伸長	Bカットオフ
	明るさ補正

詳しい解説を見る：ガイド＋8 1 2

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

デジタル放送を見ているとき 番組内の映像を切り換える（信号切換）

サブメニュー（S） デジタル放送を視聴中に押す ▶ 「信号切換」を選び決定 ▶ 項目を選び設定する

詳しい解説を見る：ガイド＋3 1 7、お知らせ ガイド＋8 2 1

関連情報：
- ●スタンダード：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。
- ●SDメモリーカード写真表示中は、「ユーザー」は「写真」と表示されます。

パソコンの画面を調整する

手順▷▷▷ ｜ 詳しい解説を見る ｜ 関連情報

まず次の操作をする

パソコンの接続（☞ 107ページ） ▶

入力切換 「PC」を選び決定 ▶

画面モード 調整したい画面にする ▶

メニュー を押す ▶

「設定する」を選び決定 ▶

「画面の設定」を選び決定

詳しい解説を見る：ガイド＋3 7 3、お知らせ ガイド＋8 6 10

接続したパソコンに合わせて調整する（PC画面調整）

「PC画面調整」を選び決定

ガイド ▶

各項目ごとに調整する

■調整したら 戻る を数回押す

音質をお好みで調整する／システム設定(制限項目設定)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

音質をお好みで調整する

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	［メニュー］調整したい放送や外部入力のときに押す ▶ ［決定］「音声を調整する」を選び決定（［ガイド］を押すと、電子説明書でご覧になれます。）		
番組に合わせて音声を選ぶ 音声メニュー	［決定］「音声メニュー」を選び設定する（スタンダード→スタジアム→ミュージック→シネマ→ニュース→スタンダード） ■テレビ画面に戻るには［元の画面］を押す	ガイド［?］+［8］［1］［5］	
音声をお好みに調整する 音声の調整	上記の手順で調整したい音声メニューを選ぶ ▶ ［決定］各項目ごとに調整する（音声の調整は3ページ構成です） 調整できる項目 (1/3) バス、トレブル、バランス、サラウンド (2/3) 音量オート、イコライザー、低音補正 (3/3) 音量補正	ガイド［?］+［8］［1］［7］ お知らせ ガイド［?］+［8］［1］［6］	
音声を切り換える 音声切換	［音声切換］1回押すと、現在の音声を表示 ▶ ［音声切換］現在の音声を表示中に押すたびに切り換わる（切り換えのできる音声があるときのみ）	ガイド［?］+［8］［2］［10］	

システム設定(制限項目設定)

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	［メニュー］を押す ▶ ［決定］「設定する」を選び決定 ▶ ［決定］「システム設定」を選び決定 ▶ ［ガイド］ ▶ ［決定］「制限項目設定」を選び決定 ▶ 画面上の指示に従って暗証番号を入力する(4桁) ●初めて入力するときは、番号を2回入力して登録する。(番号は必ずメモしておく)	ガイド［?］+［3］［8］［7］ お知らせ ガイド［?］+［8］［7］［6］	制限項目設定について ガイド［?］+［8］［7］［5］
視聴できる年齢を制限する 視聴可能年齢	［決定］「視聴可能年齢」を選び設定する	ガイド［?］+［8］［7］［8］	設定した年齢を超える番組を選んだとき ガイド［?］+［3］［9］［2］
制限を超える番組を見るときの暗証番号を変更する 暗証番号変更	［決定］「暗証番号変更」を選び決定 ▶ 新しい暗証番号を入力して決定 ▶ 画面に従って再度暗証番号を入力 ■終わったら［元の画面］を押す	ガイド［?］+［3］［9］［10］	
暗証番号を取り消す 暗証番号削除	［決定］「暗証番号削除」を選び決定 ▶ ［決定］「はい」を選び決定	ガイド［?］+［3］［9］［1］	

※ ［ブラウザ制限］はアクトビラで使用します。詳しくはネットワーク編(☞7ページ)をご覧ください。

システム設定

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面 を押してから操作

システム設定

まず次の操作をする　メニュー を押す ▶ 決定「設定する」を選び決定 ▶ 決定「システム設定」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

項目	手順▷▷▷		終わったら	詳しい解説を見る	関連情報
デジタル放送の字幕や文字スーパーがある場合に表示する 字幕の設定	決定「字幕の設定」を選び決定	各項目を選び設定する	■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ?+8 7 10	字幕の「オフ」「オン」は 字幕 ボタンでも可能です。
デジタル放送で押して順送りできるチャンネルを選ぶ 選局対象	「選局対象」を選び設定する	設定チャンネル→テレビ→すべて		ガイド ?+8 7 1	
2画面のとき 右画面の操作を継続する 右画面操作	「右画面操作」を選び「ロック」にする			ガイド ?+8 7 2	
2画面のとき 聞こえる音声(右または左)を選ぶ 音声出力	「音声出力」を選び設定する	左画面 左画面の音声を出力 右画面 右画面の音声を出力	■終わったら 戻る を数回押す	ガイド ?+8 3 6	
選局時に番組のタイトル表示のオン/オフを設定する タイトル表示	「タイトル表示」を選び設定する		■終わったら 元の画面 を押す	ガイド ?+8 7 4	「オフ」設定時でもチャンネル番号は表示されます。
メニューなどの表示スタイルを変える 表示スタイル	決定「表示の設定」を選び決定	▶「表示スタイル」を選び設定する			
メニュー表示にアニメーションを使う アニメーション	決定「表示の設定」を選び決定	▶「アニメーション」を選び設定する		ガイド ?+8 8 10	「表示スタイル」が「スタンダード」のときは設定できません。
らくらくアイコンの表示を変える らくらくアイコン	決定「表示の設定」を選び決定	▶「らくらくアイコン」を選び設定する			
SDメモリーカードの挿入時、ランプ点灯のする／しないを設定する SDランプ点灯	「SDランプ点灯」を選び設定する			ガイド ?+8 7 7	

※ 文字入力設定 は「おすすめ語句一覧」(☞34ページ)やアクトビラで使用します。
詳しくはネットワーク編(☞14ページ)をご覧ください。

※ 録画・視聴設定 について(☞40ページ)

SDメモリーカードを使う

■ビデオの再生について

本機にSDメモリーカードを挿入することで、SDメモリーカードに記録されたビデオデータを再生できます。

●本機で再生できる動画は、SD-Video規格Ver1.2[MPEG-2(PS形式)※1]に対応していて音声フォーマットがMPEG-1／Layer-2形式またはドルビーデジタル※2形式のファイル、またはAVCHD規格に対応していて音声フォーマットがドルビーデジタル形式のファイルです。

※1 MPEGとはカラー動画像のフォーマットの名称です。PSは(Program Stream)の略称です。
※2 ドルビー、ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズの商標です。

●パソコンで編集したビデオデータは意図通り再生できないことがあります。

■写真の再生について

本機の画面で、デジタルカメラやデジタルビデオカメラで撮影された写真データを見たり、写真現像店に出すプリント枚数を設定することができます。(ただし、プリント枚数が設定できるのはファイル名が半角8文字以下の画像データに限ります。)

■パソコンなどを使って下記の条件で編集した静止画データも見ることができます

●JPEG形式の静止画データを見ることができます。拡張子は「.JPG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。

●本機では最小160×120画素～最大約1470万画素までの写真データの表示を確認しています。(2009年7月現在)
例：4416×3312(14,625,792画素)、4224×2376(10,036,224画素)

●JPEG形式以外の静止画(TIFF形式など)、音声、MOTION JPEG、プログレッシブJPEG、JPEG2000などのデータは再生できません。

●当社製デジタルカメラ「LUMIX」シリーズなどに付属している編集ソフト以外で編集した写真データは正しく再生できない場合があります。

●SDメモリーカードのフォーマットはデジタルカメラなどの撮影機器で行うか、パソコンで行う場合はSDメモリーカード専用フォーマットソフトを使ってください。

●パソコンなどを使って編集・コピーした画像は、日付順に表示されない場合があります。

■作成されたファイルについて

●作成した機器によっては、ビデオや写真ファイルが本機で正しく再生されない場合があります。

●ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかる場合があります。

●ご使用のデジタルカメラなどによっては、編集後の画像を再生できない場合があります。詳しくは、デジタルカメラなどの取扱説明書をご覧ください。

■SDメモリーカード(別売品)について

●24 mm×32 mm×2.1 mmの、切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーです。

●miniSDカードやmicroSDカードを本機にて使用する場合は、専用のアダプターに必ず装着してご使用ください。

●マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。

●本機では、当社製の2 GB※3までのSDメモリーカードおよび32 GB※4までのSDHCメモリーカードを動作確認しています。最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/tv(2009年7月現在)

※3 使用可能領域は2 GBより少なくなります。※4 使用可能領域は32 GBより少なくなります。

●最大転送速度が、10 MB/秒に満たないSDメモリーカードでビデオ撮影した場合、本機で正しく再生できない場合があります。

■プロテクトについて

●スイッチを「LOCK」側にすると、誤消去や上書きを防止できます。写真現像店に出すときのプリント枚数を設定(DPOFプリント設定)するときは書き込み禁止(LOCK)スイッチを「LOCK」と逆側にしてください。

書き込み禁止(LOCK)スイッチ

表面

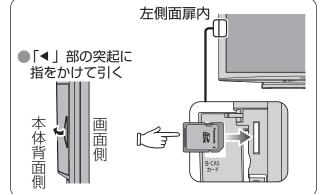
SDメモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い

パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

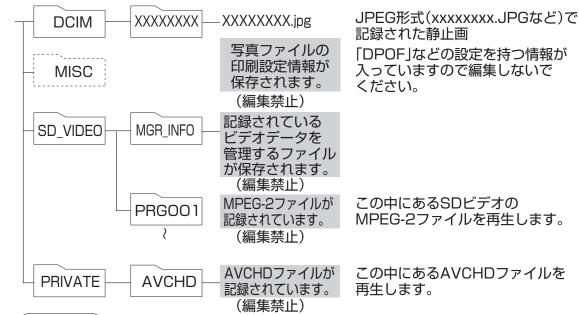
■SDメモリーカードの出し入れ

●本編58～61ページおよび、ネットワーク編12～13、46 ～ 47ページの操作中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。データが破壊されたり、本体が正常に動作しなくなる場合があります。

●miniSDカードやmicroSDカードを使用の場合はアダプターごと出し入れしてください。

●SDメモリーカード以外の物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

入れるとき
本体左側面の扉を開け、SDメモリーカードのラベル面をテレビ前面に向けて、奥までゆっくりと差し込む

取り出すとき
部分(左図)を押す

■フォルダ構造について[フォルダ(ディレクトリー)構造の例]

お知らせ

●本機は全フォルダ内のJPEGファイルを探して表示します。
(ただし、DPOFプリント設定はファイル名が半角8文字以下の画像データのみ設定できます。)

●ファイル名やフォルダ名を変更すると、動画が再生できなくなる場合があります。

：フォルダ　XXXXXXXX.jpg：ファイル名　X：半角文字

ビデオ・写真

SD(エスディー)メモリーカードの再生

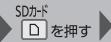
詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

SDメモリーカードの ビデオを再生する(MPEG-2/AVCHD動画再生)

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する(☞57ページ) ▶ SDカード を押す ▶

「ビデオ一覧を見る」を選び決定

ガイド ? を押すと、電子説明書でご覧になれます。

ビデオを再生する SDビデオ再生

再生したい映像を選び決定 ▶ 再生が始まります

■停止するには 「SDビデオ一覧」に戻る

■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す

詳しい解説を見る: ガイド ? + 7 6 6

関連情報: SDメモリーカードの使用上のご注意(☞56ページ)

SDメモリーカードの 写真を再生する

手順 ▷▷▷

まず次の操作をする

SDメモリーカードを挿入する(☞57ページ) ▶ SDカード を押す ▶

「写真を見る」を選び決定

写真一覧

詳しい解説を見る: ガイド ? + 1 2 2 / お知らせ ガイド ? + 7 5 6

関連情報: SDメモリーカードの使用上のご注意(☞56ページ)
アクトビラでSDメモリーカードの静止画を見るときは(☞ネットワーク編13ページ)

操作	手順		補足	終了・戻る	詳しい解説を見る
写真を1枚ずつ見る シングル表示	拡大したい写真を選び決定 ▶	押すたびに画像が切り換わる	■画像を回転するには 押すたびに90°ずつ時計回りに回転	■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 5 8
写真を連続して見る スライドショー開始	青 を押す ▶	再生が始まります ■DPOF自動再生ファイルがあるときは、まず再生方法を選ぶ	■止めるとき ■再開するとき	■終了するとき 戻る を押す	
スライドショーの表示間隔を変える スライドショー表示間隔	緑 を押す ▶	「スライドショー表示間隔」を選び設定する		■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す	ガイド ? + 7 6 2
スライドショーの写真の表示方法を変える 表示変化	緑 を押す ▶	「表示変化」を選び設定する	「フェードイン」‥濃度変化で切り換え 「スライド」‥‥‥左右移動で切り換え 「ディゾルブ」‥‥分割表示で切り換え 「ランダム」‥‥‥他の3方法の中から自動的に表示方法を切り換えます。	■終了するとき 戻る を押す	ガイド ? + 7 6 2
BGMを再生する BGM設定	緑 を押す ▶	「BGM設定」を選び設定する		■終了するとき 戻る を押す	ガイド ? + 7 6 2

●SDメモリーカードの再生

SDメモリーカードの再生(つづき)／写真現像店などに出す プリント枚数の設定

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

SDメモリーカードの写真を再生する

まず次の操作をする

手順 ▷▷▷

SDメモリーカードを挿入する（☞57ページ）

▶ SDカード を押す

▶
「写真を見る」を選び決定

写真一覧

詳しい解説を見る：ガイド? + 1 2 2 ／ お知らせ ガイド? + 7 5 6

関連情報：SDメモリーカードの使用上のご注意（☞56ページ）

写真を見やすく分類する

分類表示

赤 を押す

項目を選び決定

日付別	写真を撮影日付別に分類表示します
月別	写真を撮影月別に分類表示します
フォルダ別	写真をフォルダ別に分類表示します

■「写真一覧」画面に戻るには

赤 を押す

詳しい解説を見る：ガイド? + 1 4 4

関連情報：SDメモリーカード内のファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかる場合があります。

写真現像店に出すプリント枚数を設定する

写真のプリント枚数を設定する

DPOFプリント設定

※設定が可能な写真については（☞56ページ）

手順 ▷▷▷

上記「写真一覧」画面で押し、

プリントしたい写真を選び決定

▶
を押し、

「枚数設定」を選び決定

▶
枚数を設定し、

「設定」を選び決定

■続けて別の写真のプリント枚数を設定するには左の手順を繰り返す

■終わったら

を押す

詳しい解説を見る：ガイド? + 7 6 1

関連情報：SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると設定できません。（☞56ページ）

※本機にLANケーブルを使ってプリンターを接続して設定すると、SDメモリーカード内の写真を本機で選んで印刷することができます。（☞ネットワーク編38～47ページ）

ビエラリンク(HDMI)を使う

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まずご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞97～103ページ)		ビエラリンク(HDMI)とは ガイド ? + 9 2 5
本機のリモコンで **レコーダー(ディーガ)のメニュー画面を操作する** ディーガ(操作一覧)	ビエラリンクを押す ▶ 決定「ディーガの操作一覧」を選び決定 ▶ 自動的にレコーダー(ディーガ)の画面に切り換わります。レコーダー(ディーガ)の電源「切」時は自動的に「入」になります。 決定 レコーダー(ディーガ)の画面に従い操作する ■終わったら 元の画面を押す		レコーダー(ディーガ)の画面で使えるボタンについて ガイド ? + 4 8 2
レコーダー(ディーガ)の操作時に **テレビ画面をレコーダー(ディーガ)の画面に切り換える** 自動入力切換	レコーダー(ディーガ)の再生やメニュー操作などを始める ▶ 自動的にレコーダー(ディーガ)の画面に切り換わります。	ガイド ? + 4 8 4	
本機で予約設定してレコーダー(ディーガ)へ転送する 録画予約	番組表や検索結果などから予約したい番組を選び決定 ▶ 38ページの手順で「タイマー予約」の設定をする ※「ディーガ(ビエラリンク)」を選ぶ ▶ 予約の設定内容がレコーダー(ディーガ)へ転送されます。	ガイド ? + 2 5 1	
本機のリモコンで **今見ている番組の録画を始める** 見ている番組を録画	ビエラリンクを押す ▶ 決定「見ている番組を録画」を選び決定 ▶ レコーダー(ディーガ)の電源が入り録画が始まります。 ■録画を停止させるときは ビエラリンクを押して「録画を停止する」を選び決定 ●番組が終了しても、録画は自動停止しません。	ガイド ? + 4 8 5	
一時的にテレビから離れるときなどに **番組の視聴を一時停止／再生する** 番組キープ／再生	番組キープを押す または ビエラリンクを押す ▶ 決定「番組キープ／再生」を選び決定 ▶ 見ていた番組が一時停止し、「再生操作パネル」を表示します。 ▶ 決定（「決定」を押す 番組の一時停止状態が解除されます） （「番組キープ」ボタンでも一時停止状態を解除できます） ■番組キープを終了するときは 決定を押す（再生操作パネルを表示中に押す）▶ 決定「はい」を選び決定 （再生操作パネルが消えているときは「サブメニュー」ボタンを押す）	ガイド ? + 5 4 10	

■ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

●本機とHDMI ケーブル(別売品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2008年12月現在)

お知らせ

●「番組キープ／再生」メニューは、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応したレコーダー(ディーガ)をHDMI端子に接続しているときのみ操作できます。

●番組キープの内容は、レコーダー(ディーガ)のハードディスクに一時的に記録されますが、再生を停止すると消去されます。

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

	手順▷▷▷	詳しい解説を見る	関連情報
まずご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定（☞97～103ページ）		
本機のリモコンで **音声をAVアンプから出す** AVアンプ	［ビエラリンク］を押す ▶ 「音声をAVアンプから出す」を選び決定 ▶ 本機の音声が消え、AVアンプの電源が入ります。 ■テレビの音声に戻すには左ページの操作で「音声をテレビから出す」を選び決定 ■音量を調整するときは本機リモコンの音量ボタンで調整する		AVアンプのサウンドを切り換えるとき ガイド［?］＋［4］［9］［10］
AVアンプのリモコンで **DVDを再生させる** ワンタッチ再生	AVアンプのリモコンをレコーダー（ディーガ）に向けて「ワンタッチ再生」ボタンを押す ▶ 各機器の電源が入りDVD再生が始まります。（音声はAVアンプから出ます）	ガイド［?］＋［4］［9］［1］	
本機のリモコンで **ケーブルテレビを操作する** ケーブルテレビを見る	［ビエラリンク］を押す ▶ 「ケーブルテレビを見る」を選び決定 ▶ CATVデジタルSTBの電源が入り、画面が切り換わります。 ※CATVデジタルSTBを操作する場合は、CATVデジタルSTB側の設定が必要です。詳しくはCATVデジタルSTBの取扱説明書をご覧ください。 ■テレビ画面に戻るには［ビエラリンク］を押して「テレビに戻る」を選び決定 ■CATVデジタルSTBのメニュー画面を表示するには［ビエラリンク］を押して「ケーブルテレビの操作一覧」を選び決定	ガイド［?］＋［5］［3］［10］	CATVデジタルSTBの画面で使えるボタンについて ガイド［?］＋［5］［3］［3］

お願い

●DVDなどを再生中、手動でAVアンプの電源を「入」にした場合もAVアンプからの音声に自動的に切り換わりますが、本機のリモコンでの音量調整はできません。この場合、AVアンプ側で音量調整してください。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)でDVDなどを見たりAVアンプから音声を出しているときに、手動でレコーダー(ディーガ)やアンプの電源を「切」にしても、本機の電源は「入」のままです。
●ビエラリンクメニューには、くらし機器設定やサーバー設定で設定された項目も表示されます。→ネットワーク編（☞25、34～37、50、52、53ページ）をご覧ください。
●「ケーブルテレビを見る」「ケーブルテレビの操作一覧」メニューは、ビエラリンク(HDMI) Ver.3以上に対応したCATVデジタルSTBをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

	手順▷▷▷				詳しい解説を見る	関連情報
まず ご確認ください	ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定 (☞ 97 ~ 103ページ)					
本機のリモコンで **パソコンを操作する** パソコンを操作する	HDMI2端子に接続したパソコンの電源を入れる ▶ を押す ▶ 「パソコンを操作する」を選び決定	▶ パソコンの操作画面に切り換わります。	■本機のリモコンでパソコンの画面を操作できます。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照ください。 ■テレビ画面に戻るには 元の画面 を押す		ガイド ? + 4 9 5	
本機のリモコンで **デジタルビデオカメラを操作する** ビデオカメラを操作する	HDMI4端子に接続したデジタルビデオカメラの電源を入れる	▶ デジタルビデオカメラの画面に切り換わります。	■本機のリモコンでデジタルビデオカメラの画面を操作できます。詳しくはデジタルビデオカメラの取扱説明書を参照ください。		ガイド ? + 4 9 2	
本機のリモコンで **デジタルカメラ(ルミックス)を操作する** ルミックスを操作する	HDMI4端子に接続したデジタルカメラ(ルミックス)の電源を入れる	▶ デジタルカメラ(ルミックス)の画面に切り換わります。	■本機のリモコンでデジタルカメラ(ルミックス)の画面を操作できます。詳しくはデジタルカメラ(ルミックス)の取扱説明書を参照ください。		ガイド ? + 5 5 5	
本機のリモコンで **ブルーレイディスクプレーヤーなどを操作する** プレーヤーを操作する	HDMI2端子に接続したブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの電源を入れる	▶ ブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの画面に切り換わります。	■本機のリモコンでブルーレイディスクプレーヤーまたはポータブルプレーヤーの画面を操作できます。詳しくは接続した機器の取扱説明書を参照ください。		ガイド ? + 5 5 6	

お知らせ

●ビエラリンクメニューには、くらし機器設定やサーバー設定で設定された項目も表示されます。
→ネットワーク編(☞25、34〜37、50、52、53ページ)をご覧ください。

●「パソコンを操作する」メニューは、ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応したパソコンをHDMI端子に接続しているときのみ表示します。対応したパソコンの最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/tv/(2009年7月現在)

接続した機器で楽しむ

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作

■本機リモコンでレコーダー(ディーガ)が操作できない場合

本機リモコンのディーガボタンには３種類のリモコン設定があります。
動かない場合は、次の手順でリモコン設定を変えて動作を確認してください。

① ディーガ電源 を押したまま、1 ► 2（または 1 ► 3）の順に押す

② ディーガ電源 をはなす

③本機リモコンをレコーダー(ディーガ)へ向けて動作を確かめる

	リモコン設定
設定するボタン	1 と 1（初期設定）
	1 と 2
	1 と 3

お知らせ

- ●当社製レコーダー(ディーガ)／プレーヤーのみ操作できます。
- ●録画操作や特殊な機能には対応していません。
- ●電池を抜いたまま放置すると、設定は 1・1 に戻ります。

いろいろな情報を見る

詳しい説明は電子説明書でご覧になれます。

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、［元の画面］を押してから操作

	手順▷▷▷		詳しい解説を見る	関連情報
まず次の操作をする	［メニュー］を押す ▶ 「設定する」を選び決定 ▶ 「情報を見る」を選び決定	［ガイド］［?］を押すと、電子説明書でご覧になれます。		
デジタル放送や本機からのお知らせや情報を見る 放送メール	「放送メール」を選び決定 ［ガイド］ ▶ 確認したい放送メールを選び決定 ●放送メール下部にダウンロード予約ボタンが表示されることがあります。（☞ 93ページ）	■終わったら ［元の画面］を押す	ガイド［?］+7 7 5	未読の放送メールがあるときは、メニュー画面に「放送メール」の項目が表示されます。
双方向通信の結果一覧を見る 双方向通信一覧	「双方向通信一覧」を選び決定 ［ガイド］		ガイド［?］+1 6 4	
B-CASカードの番号などを見る B-CASカード	「B-CASカード」を選び決定 ［ガイド］		ガイド［?］+1 6 6	
本機のソフトウエアに関する情報などを見る ID表示	「ID表示」を選び決定 ［ガイド］		ガイド［?］+1 6 7	
110度CSデジタル放送から送られる情報を見る ボード	「ボード」を選び決定 ［ガイド］ ▶ 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び決定 ▶ 確認したい情報を選び決定		ガイド［?］+1 6 8	

アンテナ線の接続

お知らせ

- ●本機には、2つのアンテナ端子がありますので、間違えないように接続してください。
- ●電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（☞90ページ）
- ●映像や音声が乱れる場合は、お求めの販売店にご相談ください。
- ●レコーダー（ディーガ）などの録画機器を接続される場合は、録画機器を経由してアンテナ接続してください。（詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。）
- ●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル、分配器、分波器、アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店にご相談ください。

■地上デジタル放送について

- ●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
- ●専用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要になる場合があります。
- ●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- ●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
- ●放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。

■ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

- ●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
- ●さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
- ●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ●地上デジタル放送がケーブルテレビで「CATVパススルー方式」により配信されている場合は「受信帯域選択」を確認して設定してください。（☞80、87ページ）

■衛星（BS・110度CS）放送について

- ●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は90ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- ●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- ●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。
レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

B-CAS(ビーキャス)カードの挿入

●カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●**挿入しないとデジタル放送が映りません。**
●「使用許諾約款」を、よくお読みください。

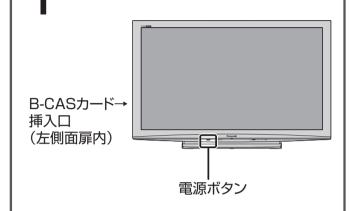
BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

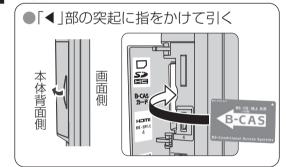
■B-CASカードについて
●台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

●有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点
●折り曲げたり、変形させない。
●重いものを置いたり踏みつけたりしない。
●水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
●IC(集積回路)部には手をふれない。
●分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ(故障交換や紛失時など)は
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る

2 左側面の扉を開け、B-CASカードを挿入する

●「◀」部の突起に指をかけて引く

カードの矢印表示面を背面(画面と反対側)に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む
●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

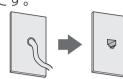
■B-CASカードのテストをするときは
(☞92ページ)

■B-CASカードを抜くとき
➡ (1)本体の電源ボタンを「切」にする。
(2)B-CASカードを抜く。
●B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞132ページ)
●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞92ページ)

電話回線の接続

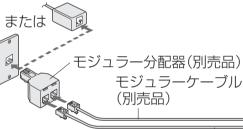
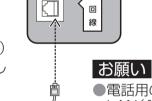
双方向サービスのあるデータ放送や視聴者参加番組を楽しむときに必要です。

■まず、電話回線コンセントを確認してください
●モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。

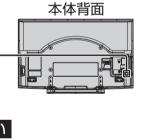
例：埋込み型プレートのとき

■工事をされる場合は
●電話回線に関する工事は資格を受けた人(工事担任者)でなければ行えません。ご購入の販売店もしくはNTT営業所へご相談ください。

■次の電話回線には接続できません
●ISDN回線(ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます)
●デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
●「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
●ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。(主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続)

■光IP電話をお使いの場合
●光IP電話では、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくは、ご契約のIP電話業者に問い合わせください。

■接続するときは

お願い
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN(10/100)端子に挿入しないでください。
電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。

●アクトビラをお使いになる場合は、「ネットワーク編」をご覧ください。

■接続上のお願い
●モジュラー分配器について
• 本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
• 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
●モジュラーケーブルについて
• 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
• 市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
●ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。(☞91ページ)

かんたん設置設定

「かんたん設置設定」は最後の手順まで終了させてください。終了させないと、次回電源を入れたときにも「かんたん設置設定」の画面が表示されることがあります。

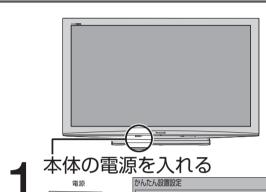
まず ご確認ください。

- ●アンテナの接続はお済みですか？（☞72ページ）
- ●B-CASカードは挿入されていますか？（☞74ページ）
- ●電話回線の接続はお済みですか？（☞75ページ）
- ●リモコンの電池は入っていますか？（☞12ページ）

選択／決定　黄ボタン

郵便番号や市外局番の入力

ご購入後、初めて電源を入れたときは
画面の指示に従って、設置設定を行ってください
●引っ越しなどでやり直すときは（☞83ページ）

1 本体の電源を入れる

かんたん設置設定
お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために各種設定を行います。

2 「決定」を押す

■本体操作部で設定するときは
（右側面）設置設定 を押して、画面上の指示に従い操作してください。（リモコンは使えません。）

3 アンテナを接続済みのときは「決定」を押す

■アンテナが接続されていないときは
➡本体の電源を「切」にしてアンテナを接続する。（☞72ページ）

4 項目を選び「決定」を押す

かんたん設置設定
画質の調整を設定します。
テレビの画質をご家庭用に設定するか、店頭用に設定するかを選択してください。
ご家庭用　店頭用

ご家庭用 映像メニューを「スタンダード」に設定
店頭用 映像メニューを「ダイナミック」に設定
※あとで映像メニューを変更することもできます。（☞50ページ）

（右ページへ続く☞）

地域の情報を受信するために　地域を登録する　地域設定

5 お住まいの地域の郵便番号を入力し、「決定」を押す

1 〜 10

かんたん設置設定
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
100－0011

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。
数字「0」は、10 を押します。

6 お住まいの都道府県を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
お住まいの都道府県を選択してください。
データ放送時の地域限定情報を表示させるために必要です。
県域設定　東京都（島部除く）

●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

7 お住まいの地域の市外局番を入力し、「決定」を押す

（一覧表☞114ページ）

1 〜 10

かんたん設置設定
お住まいの市外局番を入力してください。
地域に合った地上アナログチャンネル設定、地上アナログ放送と地上デジタル放送の番組データの受信を行うために必要です。
03－－－－

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

●ご購入後に初めて電源を入れられた場合は、表示内容をご確認のうえ「決定」を押してください。
●メニューからかんたん設置設定を実行された場合は、表示内容をご確認のうえ「はい」を選び「決定」を押してください。
●「1111」と入力すると工場出荷時（下記）のチャンネル設定になり手順**8**へ。

（次ページへ続く☞）

■工場出荷時の地上アナログ放送のチャンネル設定

リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名	リモコンボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	放送局名
1	1	1	----	予備5	52	スキップ0	----
2	2	2	----	予備6	62	スキップ0	----
3	3	3	----	予備7	C16	スキップ0	----
4	4	4	----	予備8	C22	スキップ0	----
5	5	5	----	予備9	C24	スキップ0	----
6	6	6	----	予備10	C25	スキップ0	----
7	7	7	----	予備11	C35	スキップ0	----
8	8	8	----	予備12	C36	スキップ0	----
9	9	9	----	予備13	C37	スキップ0	----
10	10	10	----	予備14	C38	スキップ0	----
11	11	11	----	予備15	C39	スキップ0	----
12	12	12	----	予備16	55	スキップ0	----
予備1	13	スキップ0	----	予備17	56	スキップ0	----
予備2	38	スキップ0	----	≀	≀	≀	
予備3	48	スキップ0	----	予備23	62	スキップ0	----
予備4	50	スキップ0	----				

かんたん設置設定(つづき)

地上アナログ放送のチャンネルを確認する　受信チャンネルの確認・修正

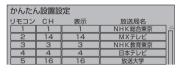
8 地上アナログ放送の受信設定を確認する

■入力した市外局番の設定(114ページ)で良い場合
➡「次へ」を選び、「決定」を押す

(☞ 80ページ手順**10**へ)

共同受信でチャンネルがずれているときなど
■修正したい場合 ➡「修正する」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ
5	16	16	放送大学

9 修正・変更する方法を選ぶ

受信できる放送局を自動で探して「予備」に追加したい場合

※「リモコン」の1～12に「スキップ0」が設定されている場合は、「スキップ0」に先に上書き追加します。(「スキップ0」については☞ 右ページ)

青ボタンを押す

青

オートサーチの画面になり数分程度乱れた映像になります。

順番に受信内容を確認する

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■この設定で良い場合 戻る ○ を押す
(☞ 80ページの手順**10**へ)
■リモコンの行を入れ換えたいときや個々に修正したいときは下欄参照

行(リモコン)を入れ換えたいとき

緑 を押す　(85ページ「マニュアル」の項目を参照)

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正したい場合

① 修正したい行(リモコン)を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

例 リモコン1の修正
●リモコンの番号は修正できません。

② 修正したい「CH」「表示」「放送局名」のいずれかを選ぶ

例 表示を選んだ場合

(右ページへ続く ☞)

受信チャンネルの確認・修正(つづき)

「CH」「表示」「放送局名」個々に修正する(つづき)

CHの修正

③ リモコンのチャンネルボタンに割りあてられたCH(チャンネル番号)を修正する

で、チャンネルを選ぶ

→1～62→C13～C63 の順に変化。

➡ 終わったら 戻る ○ を押す
●続けて他の「CH」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

表示の修正

③ 選局時、画面に表示されるチャンネル番号を修正する

で、番号を選ぶ

→スキップ0〈飛び越し〉→1～99→C13～C63
←表示なし←BS1～BS15←VTR1～VTR9←VTR←
の順に変化。

●うまく受信できなかったチャンネルは「スキップ0」が設定され、順送り選局時は飛び越し(スキップ)ます。

➡ 終わったら 戻る ○ を押す
●続けて他の「表示」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

放送局名の修正

③ 放送局名を修正する

で、修正したい放送局を選ぶ

●正しい放送局名が設定されていない場合は番組表で表示されません。
●Gガイド地域一覧表でお住まいの地域にない放送局名は設定しても番組表に表示されません。(☞ 119ページ)

➡ 終わったら 戻る ○ を押す
●続けて他の「放送局名」も修正するときは、手順①～③をくり返してください。

■放送局コード(118ページ)を入力して修正するとき

(1)左記手順②で「放送局名」の欄を選んだ後、「決定」を押す(入力モードになります)

(2)放送局コードを入力する

10 5 2 4　0524

例：「0524」テレビ東京

(3)入力したら、「決定」を押す
手順②の画面に戻り、放送局名を表示します。

修正が終わったら

④ 手順①の画面で、「戻る」を押して終了する

戻る

かんたん設置設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

(次ページへ続く ☞)

かんたん設置設定(つづき)

B-CASカードテスト

10 「決定」を押す(B-CASカードテストが開始される)

かんたん設置設定
B-CASカードテストを行います。
これは、デジタル放送を視聴するために
必要です。B-CASカードが挿入されているか
確認してください。
カードの挿入方向については、
テレビ本体のB-CASカード挿入部の表示
もしくは、取扱説明書を確認してください。

11 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
テストが正しく終了しました。
デジタル放送やデータ放送を利用することができます。
次へお進みください。
B-CASカードテスト : OK

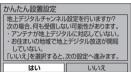
■「NG」が出たときは

➡ B-CASカードを正しく挿入し(☞74ページ)「はい」を選び、再度テストを行ってください。

- ●再度テストしない場合は「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し手順**12**へ。
- ●「NG」では、デジタル放送をご覧いただけません。

地上デジタル放送を受信する 受信チャンネル設定

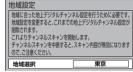
12 「はい」を選び、「決定」を押す

かんたん設置設定
地上デジタルチャンネル設定を行いますか?
次の場合、何も受信しない可能性があります。
・アンテナが地上デジタルに対応していない。
・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない。
「いいえ」を選択すると、次の設定へ進みます。
はい　いいえ

●設定しないときは
➡「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押し82ページの手順**16**へ

13 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域設定
地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。
地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が削除されます。
これよりチャンネルスキャンを開始します。
チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますので、ご注意ください。
地域選択　東京

14 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

受信帯域選択
通常は「UHF」を選択してください。
ケーブルテレビ(CATV)等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
(詳しくはCATV会社にご確認ください)
UHF　全帯域

お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを調べて設定しますので、しばらくお待ちください。

- ●通常は「UHF」を選択してください。
- ●ケーブルテレビをお使いの場合で、ケーブルテレビ局からの信号が「CATVパススルー」方式の場合は「全帯域」を選んでください。
(VHF、UHF、C13〜C63の帯域をスキャンします)

VHF帯などは、現在地上アナログ放送で使用されておりますが、2011年7月に地上アナログ放送は終了し、テレビ放送以外の用途に使用されることが国の方針で決定されています。このため、UHF帯以外で地上デジタル放送の受信を継続される場合に受信障害が発生する可能性があります。

■地上デジタル放送について

●物理チャンネルについて
地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており(13〜62ch)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

●3桁チャンネル番号
デジタル技術により、1つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。例えば、ある放送は物理チャンネルの25chを使って「101」〜「103」の3つの放送を提供します。この「101」「102」「103」を3桁チャンネル番号と呼びます。この内、下位1桁が「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。(この場合「101」)

●リモコンのチャンネルボタン
テレビ放送の場合、3桁チャンネル番号の上位2桁(上記の場合は「10」)は、リモコンのチャンネルボタンの番号と同じとする割り当てになります。(本機はできる限り自動でこの割り当てを行います)
即ち、この場合であれば [10] を押すと、3桁チャンネル番号の「101」(その放送局の代表チャンネル)が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。(☞116ページ)

●3桁チャンネル番号に枝番がつく場合
多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てる放送が複数受信できた場合に枝番がつきます。例:「011-0」、「011-1」、「011-2」

●地上デジタル放送の送信状況が変わったとき
「地上デジタル放送の送信状況が変わりました。」という放送メール(☞70ページ)が届くことがあります。このときは、地上デジタル放送のチャンネル設定(☞87ページ)の「初期スキャン」を実施してください。

●代表チャンネル以外の選局
下の手順**15**で「修正する」を選ぶと代表チャンネル以外の放送を設定できます。
また、チャンネル設定してない場合でも、[チャンネル ∧∨] や3桁入力で、選局できます。

受信チャンネル設定(つづき)

15 設定内容を確認しない場合は、修正確認画面で「次へ」を選び、「決定」を押す

■設定内容を確認する場合は
①「修正する」を選び、「決定」を押す
②▲▼で内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	―――――	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ

●受信エリア外の場合などは受信できません。(☞73ページ)

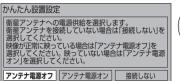
■修正をしたいときは
87ページの「マニュアル」の項目を参照

■入れ換えをしたいときは
①左図の画面で緑ボタンを押す
②▲▼で入れ換えたい行(リモコン)を選び、「決定」を押す
③▲▼で入れ換え先の行(リモコン)を選び、「決定」を押す
④「戻る」を押す

(次ページへ続く☞)

衛星アンテナへの電源を選択する

衛星アンテナ設定

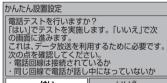
16 衛星アンテナへの電源供給を選び、「決定」を押す

17 「正しく設定されました」の表示を確認し、「決定」を押す

かんたん設置設定
正しく設定されました。
次へお進みください。

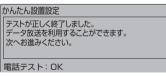
■正しく設定されない場合は
●「衛星アンテナのレベルが不足しています。」または「衛星アンテナのレベルが取得できません。」と表示されます。アンテナの接続や調整を確認し、「再設定」を選び、「決定」を押して再確認してください。(再設定しない場合は「次へ」を選び、「決定」を押してください。)

電話回線の接続を確認する

電話テスト

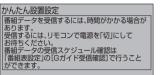
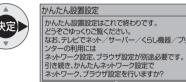
18 「はい」を選び、「決定」を押す(電話テストが開始される)

●電話テストの画面が表示され最大約3分間かかります。

●電話回線を接続していない場合は、「いいえ」を選び、「決定」を押してそのまま手順**20**に進んでください。

19 「OK」の表示を確認し、「決定」を押す

■「NG」が出たときは
➡ そのまま「決定」を押して手順**20**に進み、手順**21**終了後に電話設定を行う。(☞91ページ)

●視聴者参加番組や双方向のデータ放送を利用しないときは、電話回線接続は不要です。このときは、「NG」が出ますが問題ありません。

「かんたん設置設定」を終了する

20 番組表の注意事項を確認し、「決定」を押す

21 「いいえ」を選び「決定」を押して、終了する

●実行結果によっては、追加のメッセージが表示される場合があります。表示された場合は、表示内容を確認のうえ、その内容に従ってください。

●「はい」を選び「決定」を押すと、引き続きかんたんネットワーク設定を行うことができます。画面上の指示に従って操作してください。
●ネットワーク設定、ブラウザ設定、プリンター設定、くらし機器設定、サーバー設定(☞ネットワーク編)、および通信によるGガイド受信(☞88ページ)は、後からそれぞれ設定することができます。
また、かんたんネットワーク設定だけを後からやり直すこともできます。
(☞ネットワーク編 18ページ)
●「衛星デジタル放送の受信ができないため、地上アナログ番組表データが受信できません。」と表示された場合は、まず衛星アンテナの電源(☞90ページ)を「オフ」にしてアンテナ線の接続(☞72ページ)をご確認ください。※
※最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。(☞88ページ)

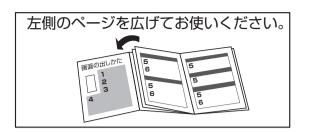
引っ越しなどで「かんたん設置設定」をやり直したいとき

■メニューから「かんたん設置設定」をする
➡ ①「メニュー」を押す。
②「設定する」を選び、「決定」を押す。
③「初期設定」を選び、「決定」を押す。
④「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す。
⑤76ページの手順**4**に続く。

本体右側面の設置設定ボタンを3秒以上押しても、かんたん設置設定ができます。このときは、画面上の指示に従って操作してください。
(リモコンは使えません。)

■メニューから一部の項目を設定する
➡ やり直したい項目を選ぶ。(☞84～92ページ)

■電源「入」時で「かんたん設置設定」を最初からやり直すには(お買い上げ時の状態にしたいとき)
➡ (1)上記の『メニューから「かんたん設置設定」をする』の手順①～⑤を行う。
(2)77ページ手順**7**の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
(3)確認の画面で「はい」を選び、「決定」を押す。
(4)電源を「切」にし、再度「入」にする。(76ページの「かんたん設置設定」手順**1**の画面を表示)
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

このページの裏面には
次ページ以降の項目で設定画面を出すための共通手順を記載しています。

このように左側へ、広げてお使いください。

85～113ページの共通手順

「設置設定」・「接続機器関連設定」画面の出しかた

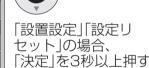
次のような場合は、下記の手順で設定をしてください。
●引っ越しでテレビ放送の受信地域が変わったとき
●ブロードバンド環境の接続状況などが変わったとき
●接続している機器を変更したとき

選択/決定　カラーボタン　入力切換
メニュー　戻る　元の画面
郵便番号などを入力

1 「メニュー」を押して、「設定する」を選び、「決定」を押す

2 「初期設定」を選び、「決定」を押す

3 「設置設定」、「接続機器関連設定」、「自動更新設定」または「設定リセット」を選び、「決定」を押す

「設置設定」「設定リセット」の場合、「決定」を3秒以上押す

4 設定したい項目を選び、「決定」を押す（または◀▶で設定する）

■「設置設定」画面

設置設定 2／2
ネットワーク設定
ブラウザ設定
プリンター設定
くらし機器設定
サーバー設定
(☞ネットワーク編)

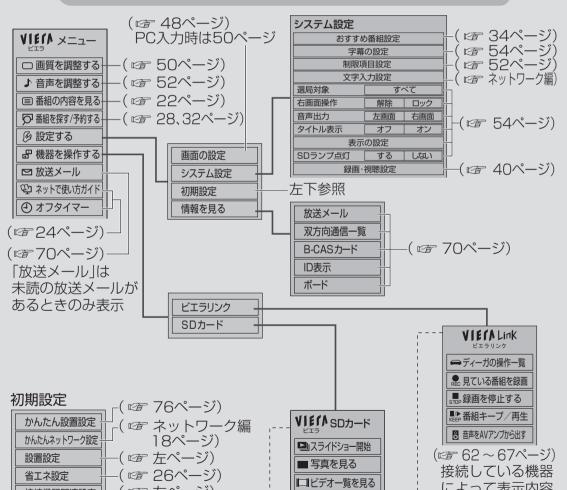
■「接続機器関連設定」画面

接続機器関連設定 1/2
ビエラリンク(HDMI)設定 (☞101ページ)
Irシステム設定 (☞106ページ)
HDMI音声入力設定 (☞ 96ページ)
ビデオ入力表示書換 (☞109ページ)
デジタル音声出力 自動 (☞113ページ)
デジタル音声予約録画連動 する しない (☞112ページ)

接続機器関連設定 2/2
モニター出力停止設定 (☞109ページ)
入力自動スキップ オフ オン (☞111ページ)
PCスキップ オフ オン (☞107ページ)
HDMI1スキップ オフ オン
HDMI2スキップ オフ オン
HDMI3スキップ オフ オン
HDMI4スキップ オフ オン (☞ 96ページ)

以降の操作（手順**5**～）は、各ページをご覧ください。

85ページの手順5へ、つづく

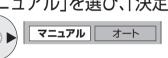
左記以外のメニュー画面の早見一覧

地上アナログ放送のチャンネル修正

●引越しなどで放送局を設定したいときは、
左ページの手順**3**で「かんたん設置設定」を選び、76ページの手順**4**から設定してください。
●チャンネルを修正したいときは、
下記の「マニュアル」の手順で、修正してください。（地上デジタル放送の普及で地上アナログ放送の受信状況が変わったときなどは、「オート」の手順で再設定してください。）

チャンネル設定を修正したいとき マニュアル　映りが悪いとき 微調整

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

7 修正したい行（リモコン）を選び、「決定」を押す

8 78・79ページの手順②③を行う

9 修正が終わったら 戻る を押して終了する

■リモコン番号ごとに設定した項目（「CH」や「表示」など）を行ごと全て入れ換えたいときは
①手順**7**の画面で緑ボタンを押す。
②▲▼で入れ換えたい行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
③▲▼で入れ換え先の行（リモコン）を選び、「決定」を押す。
④「戻る」を2回押して、終了する。

■映りが悪いときは（微調整）
①手順**7**の画面で、微調整したいチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
②◀▶で見やすくなるように調整する。（約10秒間、ボタン操作しないと手順**7**の画面に戻ります。）
③「戻る」を押すと、手順**7**の画面に戻ります。

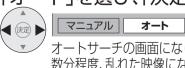
（終わったら 元の画面 を押す）

地上アナログ放送の受信状況が変わったとき 受信できる局を自動で探す オート

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

6 「オート」を選び、「決定」を押す

オートサーチの画面になり数分程度、乱れた映像になります。

7 内容を確認する

地上アナログチャンネル設定

8 確認したら 戻る を押して終了する

●「オート」を選ぶとこれまでの設定をリセットし、受信可能な放送局を設定しなおします。
※別途、放送局名の設定が必要です。（☞79ページ）

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送の チャンネル修正／受信対象設定

●BS、CS1、CS2は工場出荷時に設定されますが、お好みに合わせて変更することもできます。
●よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンに登録すると便利です。
●チャンネル設定のリモコン1～12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1～12で選局できます。

リモコンのボタンに割り当てられた衛星デジタルのチャンネルを変える　チャンネル設定(デジタル放送)　(BS・CS1・CS2)

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で、「BS」または「CS1」または「CS2」を選び、「決定」を押す

6 「変えたい」行(リモコン番号)を選び、「決定」を押す

7 「CH」のチャンネル番号を変えて、「戻る」を押す

●選局対象(☞54ページ)を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

(終わったら 元の画面 を押す)

使わない放送を操作できないようにする　受信対象設定　(地上アナログ BS・CS)

※テレビ本体とリモコンの両方で設定が必要です。

84ページの手順1～4で「受信対象設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信対象設定

5 テレビ本体の設定

受信しない放送を選び、「使わない」に設定する

受信対象設定		
地上アナログ	使う	使わない
BS	使う	使わない
CS	使う	使わない

●「使わない」に設定した放送は、放送切換ボタンで、その放送を選べません。

(テレビ本体の設定が終わったら 元の画面 を押す)

6 リモコンの設定

リモコンの「電源」と放送切換ボタン、順送り選局ボタンの下側を同時に約3秒間押す

例：地上アナログ放送を操作できなくする場合

電源 ＋ アナログ ＋ チャンネル∨ を同時に約3秒間押す

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を操作できなくする場合は、アナログ の代わりに BS や CS を押してください。

●リモコンの設定が完了すると、リモコンの放送切換ボタンが3回点滅します。
●この操作を行うと、設定した放送へのリモコンを使った放送切換や、選局の操作ができなくなります。
●設定を解除するときは、チャンネル∨ の代わりに チャンネル∧ を押してください。

地上デジタル放送のチャンネル設定

●地上デジタル放送用UHFアンテナの接続はお済みですか？(☞72ページ)

引っ越しなどで受信地域が変わって再設定したいときや、新しく地上デジタル放送をご覧になりたいとき　改めて自動で受信設定する　初期スキャン

放送局とチャンネル番号の組み合わせは(☞116ページ)

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン

●通常は「UHF」を選んでください。(受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します)※今までの設定はすべてリセットされます。
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

7 お住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　東京

8 「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

9 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	---	------	
4	041	日本テレビ	テレビ

戻る

■修正したいときは(☞「マニュアル」の手順7へ)

(終わったら 元の画面 を押す)

地上デジタル放送のチャンネル修正

●地上デジタル放送の受信状況が変わったときなどにチャンネル修正をしてください。

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき　受信できる局を自動で追加　再スキャン

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「再スキャン」を選び、「決定」を押す

●10分程度かかり、乱れた映像になることがあります。

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

7 設定内容を確認し、「戻る」を押す

地上デジタルチャンネル設定			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	---	------	

戻る

■修正したいときは(☞「マニュアル」の手順7へ)

(終わったら 元の画面 を押す)

自動で設定したチャンネル設定を　修正したいとき　マニュアル

84ページの手順1～4で「チャンネル設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ チャンネル設定

5 「チャンネル設定」画面で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「マニュアル」を選び、「決定」を押す

7 修正したいチャンネルを選び、「決定」を押す

8 修正したいチャンネル番号に変えて、「戻る」を2回押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ換えたいときは(☞81ページ手順**15**の「■入れ換えをしたいときは」①～④へ)

(終わったら 元の画面 を押す)

番組表設定

●番組表を使うために必要な設定です。
●Gガイド地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。

番組表設定　お住まいの地域に合った番組表を表示させる　Gガイド地域設定

84ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5「Gガイド地域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

●設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。表示されなくなった場合は、かんたん設置設定を最初からやり直してください。（☞76ページ）

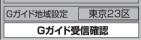
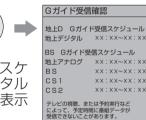
お願い

●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表に表示されません。Gガイド地域一覧表（☞119ページ）で必ずお確かめください。

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定　番組表データの受信スケジュールを確認する　Gガイド受信確認

84ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5「Gガイド受信確認」を選び、「決定」を押す

●地上デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示された後、衛星デジタル放送のGガイド受信スケジュールが表示されます。
結果の表示に最大で6分かかります。

●受信スケジュールが表示されないときは（「番組データの受信ができません」と表示）アンテナの接続および上記の設定をご確認ください。

（終わったら 元の画面 を押す）

番組表設定　番組表データをインターネットから取得するか設定する　通信によるGガイド受信

84ページの手順1～4で「番組表設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 番組表設定

5「通信によるGガイド受信」を選び、設定する

Gガイド受信確認
通信によるGガイド受信　オフ　オン

オフ	番組表データを、インターネットから取得しない
オン	番組表データを、インターネットから取得する

●インターネットを利用して番組データを取得するための設定です。設定すると、本機の電源を「入」にしたとき、自動的に最新の番組データを取得します。（インターネット[アクトビラ]の画面に切り換える必要はありません。）
●インターネットへの接続と設定が必要です。（☞ネットワーク編）

（終わったら 元の画面 を押す）

地域設定／受信設定（地上デジタル）

●地域設定は、「かんたん設置設定」を実行すると自動的に設定されます。変更が必要な場合のみ設定してください。
●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

地域設定　データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために　地域を変更する　地域設定

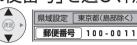
84ページの手順1～4で「地域設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 地域設定

5「県域設定」を選び、お住まいの地域を選ぶ

県域設定　東京都（島部除く）
郵便番号　100-0011

お知らせ
●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

6「郵便番号」を選び、「決定」を押す　郵便番号を入力し、「決定」を押す

●間違えたときは ➡ 黄 を押す。

7 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■「県域設定」と「郵便番号」を削除するには
①▼で「地域設定削除」を選び、「決定」を押す。
②◀で「はい」を選び、「決定」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタルアンテナ（UHF）が個別のとき　アンテナのレベルを最大にする　アンテナレベル（地上デジタル）

●共同アンテナのときは不要。

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

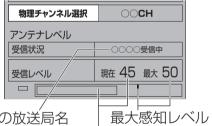
5「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

受信設定
地上アナログ
地上デジタル

6「決定」を押す

受信中の放送局名
最大感知レベル
現在のアンテナ入力レベル（受信の目安は44以上）

物理チャンネルについて
●地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

アンテナレベルについて
●アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
●アンテナレベルは天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって、変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

7「物理チャンネル」を入力し、「決定」を押す

物理チャンネル入力
①～⑩、⑪ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
20CH

例 受信帯域選択が「UHF」の場合

入力した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

●間違えたときは ➡ 黄（黄ボタン）を押す。
●CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。例えば、「全帯域」（80、87ページ）を選んで、CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、
緑 2 10 と入力します。
（「C」は、リモコンの 緑（緑ボタン）で入力／削除）

8 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定(地上デジタル・地上アナログ)

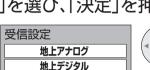
●放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときに、設定してください。

映像が不安定になるとき アッテネーター(地上デジタル・地上アナログ)

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「地上アナログ」または「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

6 「アッテネーター」を選び、「オン」を選ぶ

例：地上デジタル放送のとき

●強すぎる電波を弱めます。

(終わったら 元の画面 を押す)

受信設定(衛星)

●アンテナを調整するときに受信設定をしてください。

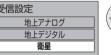
衛星アンテナが個別のとき アンテナのレベルを最大にする アンテナ電源 アンテナレベル(衛星)

●共同アンテナのときは不要。

84ページの手順1～4で「受信設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 受信設定

5 「衛星」を選び、「決定」を押す

6 「アンテナ電源」を選び、「オン」を選ぶ

受信設定
アンテナ電源	オフ	オン
トランスポンダ選択	BS○○○	
衛星周波数	11.9960GHz	
アンテナレベル		
受信状況	○○○○受信中	
受信レベル	現在 52 最大 60	

●「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバーターへの電源を供給しているときは「オフ」にしてください。)

7 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

お知らせ

●アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

アンテナレベルについて

●アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。

●アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

●現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。

「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

●BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

(終わったら 元の画面 を押す)

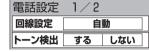
電話設定

●双方向通信を利用した番組を楽しむために必要な設定です。
●電話回線の接続はお済みですか?(☞75ページ)

電話設定 電話回線を設定する 回線設定 トーン検出

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「回線設定」または「トーン検出」を選び、設定する

回線設定
●電話テストで自動的に選ぶとき→「自動」
●自動でうまく設定できないとき→
- ●ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合は「プッシュ」
- ●出ない場合は「ダイヤル20(20pps)」か「ダイヤル10(10pps)」を選ぶ。

トーン検出
●通常ご使用のとき→「する」
●受話器を上げても『ツー』音が聞こえないとき→「しない」

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定 外線使用時に 0発信などが必要な電話のとき 内線設定

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「内線設定」を選び、「決定」を押す　0発信の電話のときは「0」を入力し、決定を押す

(例)
6 確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

●間違えたときは➡(黄ボタン)を押す。
●0発信の後、外線につながるまで時間のかかる電話のとき➡(青ボタン)を押す。
(画面に「,」を表示。1つで3秒の待ち時間)

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定 電話設定が正しく設定されているか 確認する 電話テスト

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「電話テスト」を選び、「決定」を押す

OK	正常終了。
NG	画面の指示に従ってください。
テスト中	テスト中。(最大約3分間かかります)

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定 相手に電話番号を通知するか決める 発信者番号通知

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5 「発信者番号通知」を選び、設定する

通知する	相手に常に通知する。
通知しない	相手に常に通知しない。
指定なし	電話会社との契約に従う。

※この設定が有効になる放送(サービス)は、2009年7月現在ありません。

(終わったら 元の画面 を押す)

電話設定(つづき)

電話設定　本機から電話をかけるときのみ 電話会社を変えたいとき　電話会社設定※ マイラインプラス※

84ページの手順1～4で「電話設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定 ➡ 電話設定

5「電話会社設定」を選び、「決定」を押す

6電話会社の番号を入力し、「決定」を押す

●間違えたときは➡ 黄 (黄ボタン)を押す。
●つながるまで時間のかかるとき
➡ 青 (青ボタン)を押す。
(画面に「,」を表示。1つで3秒の待ち時間)

7確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

8マイラインプラスを契約のとき、「マイラインプラス」を選び、「解除する」を選ぶ

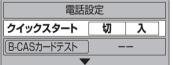
※この設定が有効になる放送(サービス)は、2009年7月現在ありません。

(終わったら 元の画面 を押す)

クイックスタート／B-CASカードテスト

電源を入れてからの出画時間を早める　クイックスタート

84ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4「クイックスタート」を選び、「入」にする

入	リモコンで電源「切」のとき、出画時間が早くなります。 ●1日以上本機を使用しなかったときは、通常の出画時間となります。
切	通常の出画時間となります。

(終わったら 元の画面 を押す)

B-CASカードの動作を確認する　B-CASカードテスト

※B-CASカードを挿入(☞74ページ)して3秒以上経ってから行ってください。

84ページの手順1～3で「設置設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設置設定

4「B-CASカードテスト」を選び、「決定」を押す

●「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。
(☞74ページ)

(終わったら 元の画面 を押す)

自動更新設定／設定リセット

自動更新設定
●デジタル放送で送られる新しい情報のダウンロード方法を選びます。

設定リセット
●本機を初期状態にするための設定です。

自動更新設定　デジタル放送で送られる新しい情報の 放送ダウンロードの方法を選ぶ　ダウンロード予約

84ページの手順1～3で「自動更新設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 自動更新設定

4「自動」または「手動」を選ぶ

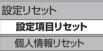
放送ダウンロードについて
●デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

自動	通常は「自動」をおすすめします。 情報が届いた場合は、リモコンで電源「切」時に自動的にダウンロードを実行します。
手動	情報が届いた場合、メールでお知らせします。 ➡ メールを確認し、「ダウンロード予約」を「する」か「しない」を選ぶ。 (☞「放送メール」70ページ)

(終わったら 元の画面 を押す)

設定リセット　アンテナ電源(衛星デジタル)、電話設定の設定値を 工場出荷状態に戻す　設定項目リセット

84ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

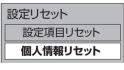
4「設定項目リセット」を選び、「決定」を押す

5「はい」を選び、「決定」を押す

●「アンテナ電源(衛星デジタル)」「電話設定」の各項目が、工場出荷状態に戻ります。

(終わったら 元の画面 を押す)

設定リセット　本機を廃棄されるときなどに 情報をすべて削除する　個人情報リセット

84ページの手順1～3で「設定リセット」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 設定リセット

4「個人情報リセット」を選び、「決定」を押す

3秒以上押す

5「はい」を選び、「決定」を押す

●本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(アクトビラ有料サービスの購入情報やメール、データ放送のポイント、暗証番号など)が、すべて削除されます。
●本操作後は、本体の電源を「切」にしてください。

(終わったら 元の画面 を押す)

お願い
●廃棄などで本機を手放される以外には、実行しないでください。
●双方向データ放送やアクトビラをご利用の場合、本機からの操作により、放送局やインターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

いろいろな機器との接続

本体背面　左側面扉内

電源コンセント AC100 V

すべての接続完了後、電源プラグを差し込む

パソコン
●接続時は(☞107ページ)

ビデオカメラ　デジタルカメラ
●どれか1台のみつなげます。
●接続時は(☞110ページ)

外部機器

ブロードバンドルーター
●接続時は(☞ネットワーク編)

通信端末用アース端子※

デジタル音声入力付きオーディオ機器
●接続時は(☞112ページ)

HDMI対応機器/ビエラリンク(HDMI)対応機器
●接続時は(☞96～100ページ)

DVDプレーヤーなど
●接続時は(☞110ページ)

電話回線
視聴者参加番組を楽しみたいとき
●接続時は(☞75ページ)

モジュラー分配器(別売品)

ご家庭の電話機またはファクスへ

D端子付き機器の場合
●接続時は(☞108ページ)

Irシステム対応機器の場合(別売品)
●接続時は(☞105ページ)

D端子がない場合
●接続時は(☞108ページ)

映像/音声出力　外部入力

録画機器 (ビデオデッキ、DVDレコーダーなど)
本機からの録画機器用の「モニター出力」は、1組のみ。

アンテナ

●接続時は(☞72ページ)

地上デジタル/地上アナログ放送用UHFアンテナ

地上アナログ放送用VHFアンテナ

BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

※通信の安定性向上のため、市販のアース線を使用して本機のアース端子を接続することをおすすめします。(本アース端子は、電気通信事業法に基づくものです。)

お願い 接続機器の接続・ご使用方法については、接続される機器側の取扱説明書もご確認ください。

録画・再生機器の接続の前に

録画機器の接続と設定

●VHSのビデオデッキ、DVDレコーダーなどの接続と設定は、下記の通り行ってください。

ビエラリンク(HDMI)対応の機器ですか？
- はい → ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続と設定(☞98～103ページ)
- いいえ → Irシステム対応の機器ですか？(わからないときは☞42ページ)
  - はい → Irシステムの接続と設定(☞104～106ページ)
  - いいえ / (Irシステム設定後) → D端子付きの機器ですか？
    - はい → D端子付きの録画機器の接続(☞108ページ)
    - いいえ → D端子のない録画機器の接続(☞108ページ)

再生専用機器の接続と設定

●DVDプレーヤーやビデオカメラ、デジタルカメラなどの接続と設定は、下記の通り行ってください。

側面に接続する機器を決める(頻繁に取り外しをする機器)
→ 再生専用機器の接続(☞110ページ)

ビデオ入力表示書換やモニター出力停止設定(☞109ページ)　入力自動スキップ(☞111ページ)

接続のご注意

●本機への入力接続について
アナログビデオ入力は3種類あります。一般的に画質の優れている順番は下記の通りです。お使いの状況に合わせてお選びください。

ビデオ入力端子 → S2映像入力端子 → D端子(D4映像入力端子) → 高画質

●本機からのモニター出力について
- 地上アナログ放送は、本機のS2映像出力端子からは、出力されません。地上アナログ放送を録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。
- コピーガードがかかっている番組の映像を本機の映像出力端子から出力し、録画機器を経由して他の録画機器およびテレビを接続した場合、正常に録画・視聴できないことがあります。

●ハイビジョン放送の録画について
地上アナログ放送と同程度の画質で録画されます。

接続コード(別売品)

●映像／音声コード(長さ2 m)
品番：RP-CVP3G20

●ステレオ音声コード(長さ2 m)
品番：RP-CAP3G20

●映像コード(長さ2 m)
品番：RP-CVP0G20

●D端子映像コード(長さ1.5 m)
品番：RP-CVDG15A

●D端子ーピン映像コード(長さ1.5m)
品番：RP-CVCDG15

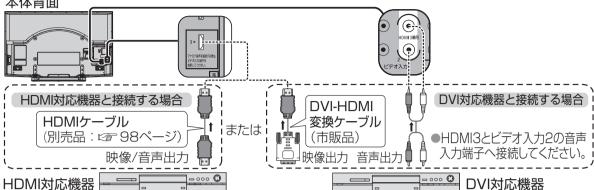
●S映像コード(長さ2 m)
品番：RP-CVS0G20

●HDMIケーブル(☞98、100ページ)

HDMI対応機器の接続と設定

エイチディーエムアイ

●➡は、信号の流れを示します。

接　続

HDMI端子について

●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
アナログ音声をお使いになる場合、HDMI３とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」を行うことが必要です。

- 対応している映像信号
  480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
- 対応している音声信号
  種類：リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

お知らせ

●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

●HDMI1、2、4端子では、アナログ音声を使用できません。

お願い

●HDMIケーブルは、HDMIロゴのついているケーブルをご使用ください。

●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、アナログ音声端子に音声コードを接続してください。

HDMI対応機器と接続したとき　HDMI音声入力設定

84ページの手順1～4で「HDMI音声入力設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ HDMI音声入力設定

5　「HDMI3音声入力設定」を選び、設定する

HDMI3 音声入力設定　HDMI

HDMI …HDMI対応機器に接続するとき
（工場出荷時）

アナログ …DVI対応機器に接続するとき

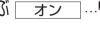
●HDMI1、2、4はHDMI音声入力設定ができません。

（終わったら 元の画面 を押す）

入力切換ボタンを押したとき HDMI入力を飛ばす　HDMIスキップ

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4　設定したいHDMI入力を選び、「オン」を選ぶ

PCスキップ	オフ	オン
HDMI1 スキップ	オフ	オン
HDMI2 スキップ	オフ	オン
HDMI3 スキップ	オフ	オン
HDMI4 スキップ	オフ	オン

オン …入力切換を押しても、HDMI入力には切り換わりません。

オフ …入力切換を数回押してHDMI入力を選択できます。
（工場出荷時）

（終わったら 元の画面 を押す）

ビエラリンク（HDMI）について

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

●本機とHDMIケーブル（別売品）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作できる機能です。
※すべての操作ができるものではありません。

●ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。

●ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その取扱説明書をご確認ください。

●本機はビエラリンク（HDMI）Ver.4に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.4とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2008年12月現在）

接続／設定方法は☞98～103ページ

ビエラリンク（HDMI）の簡単操作とは…

●本機のリモコン１つでレコーダー（ディーガ）の操作ができます。

- 簡単再生（画面をレコーダー（ディーガ）に切り換え、再生します）
- レコーダー（ディーガ）のメニューの操作
- 今見ている番組を簡単録画
- 本機の番組表から録画予約

●本機の電源を「切」にするとレコーダー（ディーガ）やAVアンプの電源も連動して「切」にできます。

●本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換え、音量調整ができます。

●AVアンプのリモコンで簡単シアター再生ができます。
（ワンタッチでレコーダー（ディーガ）の映像、AVアンプの音声に切り換え、再生します）

詳しい操作方法は☞62～67ページ

ご使用の際のご注意点

●電源オフ連動を「する」に設定しても録画中など、接続機器の状態によっては、すべての機器の電源が「切」にならない場合があります。

●電源オン連動を「する」に設定時は、リモコンで本機の電源を「切」にするとテレビ本体の電源ランプは橙色になります。これは、電源オン連動の機能が待機状態であることを示すためで、消費電力は電源ランプが赤色のときとほとんど変わりません。（データ取得中は除く）

●ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しなかった場合は、下記をご覧ください。

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。そのようなときは、HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す。

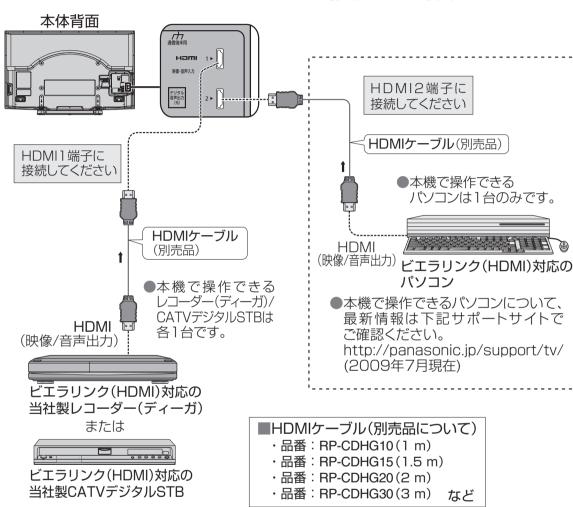
② 入力切換 を押して入力を切り換え（☞22ページ）、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。

③62～67ページの手順で機器が操作できることを確認する。

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続

レコーダー(ディーガ)、CATVデジタルSTB、パソコン、AVアンプ

■本機とレコーダー(ディーガ)または CATVデジタルSTB、パソコンを接続する場合

■HDMIケーブル(別売品について)
・品番：RP-CDHG10(1 m)
・品番：RP-CDHG15(1.5 m)
・品番：RP-CDHG20(2 m)
・品番：RP-CDHG30(3 m)　など

接続後の本機の設定(☞101～103ページ)

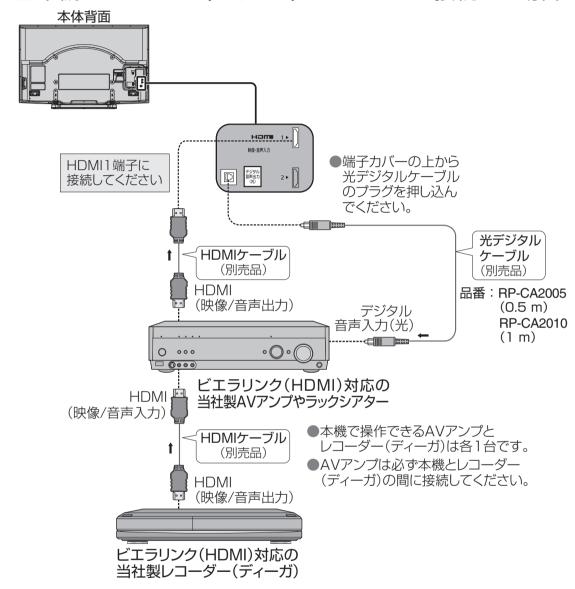
●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
●レコーダー(ディーガ)や、CATVデジタルSTBを操作したときに連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、入力切換を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
●当社製HDMIケーブルを推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したレコーダー(ディーガ)側、CATVデジタルSTB側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器 [レコーダー(ディーガ)など] を何台か接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器がビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。

●➡は、信号の流れを示します。

■本機とレコーダー(ディーガ)とAVアンプを接続する場合

●本機で操作できるAVアンプとレコーダー(ディーガ)は各1台です。
●AVアンプは必ず本機とレコーダー(ディーガ)の間に接続してください。

接続後の本機の設定(☞101～103ページ)

●上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」と「電源オン連動」を「する」に設定してください。

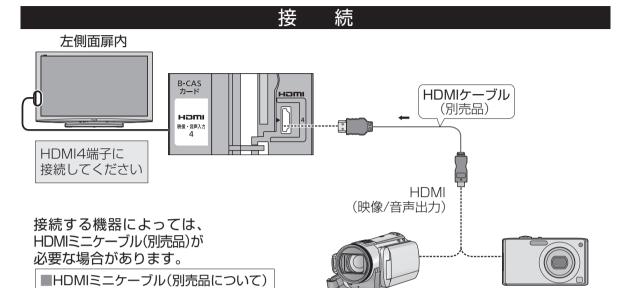
お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したAVアンプ側とレコーダー(ディーガ)側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●ビエラリンク(HDMI)で本機とAVアンプを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル光音声出力端子より、5.1chで出力します。(レコーダー(ディーガ)はビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応している機種のみ対応)

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続／ビエラリンク(HDMI)の設定

デジタルビデオカメラ/デジタルカメラ(ルミックス)

接続

接続する機器によっては、HDMIミニケーブル(別売品)が必要な場合があります。

■HDMIミニケーブル(別売品について)
・品番：RP-CDHM15(1.5 m)
・品番：RP-CDHM30(3 m)

接続後の本機の設定

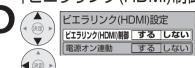
- 上記の接続後、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク(HDMI)制御」を「する」に設定してください。
- デジタルビデオカメラ/デジタルカメラを操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたいときは「電源オン連動」を「する」にしてください。

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)対応機器を最初に接続したときは、[入力切換]を押して接続したHDMI入力に切り換えてください。
- 当社製デジタルビデオカメラや当社製デジタルカメラを接続するHDMIケーブルについては、デジタルビデオカメラやデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビエラリンク(HDMI)を使うには、接続したデジタルビデオカメラやデジタルカメラ側の設定も必要です。
詳しくは、デジタルビデオカメラやデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

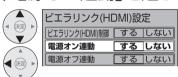
ビエラリンク(HDMI)制御を有効にする　ビエラリンク(HDMI)制御

84ページの手順1~4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

する …ビエラリンク(HDMI)を使うとき
(工場出荷時)
しない …使わないとき
(終わったら[元の画面]を押す)

本機の電源が「切」のとき ビエラリンク(HDMI)の制御信号で電源を「入」にする　電源オン連動

84ページの手順1~4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

する …本機の電源が「切」のときでもレコーダー(ディーガ)やAVアンプの操作に連動して本機の電源を「入」させるとき
しない …連動させないとき
(工場出荷時)
(終わったら[元の画面]を押す)

本機の電源を「切」にしたとき レコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も「切」にする　電源オフ連動

84ページの手順1~4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オフ連動」を選び、「する」を選ぶ

する …本機の電源オフに連動してレコーダー(ディーガ)やAVアンプの電源も「切」させる
(工場出荷時)
しない …連動させないとき
(終わったら[元の画面]を押す)

接続機器の設定を、待機電力が少ない設定に切り換える　ECOスタンバイ

84ページの手順1~4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ECOスタンバイ」を選び、「する」を選ぶ

する …本機の電源を「切」にしたとき、接続機器の設定を、本機に連動して起動できる設定のうち、消費電力が最小になる設定に切り換える
※切り換わる設定は、接続機器によって異なります。
しない …機能を使わないとき
(工場出荷時)

お知らせ

- 「ECOスタンバイ」は、ビエラリンク(HDMI)Ver.4対応の機器に有効です。

(終わったら[元の画面]を押す)

ビエラリンク(HDMI)の設定

ビエラリンク(HDMI)で 使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にする　こまめにオフ

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「こまめにオフ」を選び、「する」を選ぶ

しない(工場出荷時)…ビエラリンク(HDMI)で使わない機器の電源を「入」のままにする

する(表示あり)　する(表示なし)…入力をHDMI以外に切り換えたときや、音声出力をAVアンプからテレビに切り換えたときなど、ビエラリンク(HDMI)で使わなくなった機器の電源を個別に自動で「切」にする。
「する(表示あり)」に設定すると、「こまめにオフ」が働いたとき、画面に表示が出ます。

お知らせ
● 「こまめにオフ」は○印の機器に有効です。

対応機器＼ビエラリンク	ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上	ビエラリンクVer.2	左記以前のビエラリンクバージョン
レコーダー(ディーガ)	○	○	○
AVアンプ	○	○	×
CATVデジタルSTB	○	×	×

(2009年7月現在)

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源を「入」にしたとき AVアンプに音声を出力する　電源オン時の音声出力

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「電源オン時の音声出力」を選び、「AVアンプ」を選ぶ

テレビ(工場出荷時)…本機の電源を「入」にしたとき、音声をテレビから出力する

AVアンプ…本機の電源を「入」にしたとき、音声をAVアンプに出力する

(終わったら 元の画面 を押す)

本機の電源を「入」にしたとき CATVデジタルSTBの電源も「入」にする　ケーブルテレビ電源オン連動

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ケーブルテレビ電源オン連動」を選び、「する」を選ぶ

電源オン時の音声出力　テレビ　AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動　する　しない
ディーガの操作　通常　拡大

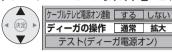
する…本機の電源を「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源も「入」にする
● ケーブルテレビを主にお使いの場合におすすめします。

しない(工場出荷時)…連動させないとき

(終わったら 元の画面 を押す)

本機のリモコンでレコーダー(ディーガ)を操作するとき 操作に使うことができるボタンを追加する　ディーガの操作

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「ディーガの操作」を選び、「拡大」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)でディーガ視聴中に使えるボタンを追加します。

通常(工場出荷時)

拡大「通常」に加えて、下記のボタンも使えます。

お知らせ
● リモコンを本機のリモコン受信部に向けて操作してください。
● 「拡大」設定で使えるボタンは、接続するディーガのビエラリンクバージョンによって異なります。

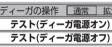
ディーガの操作＼ビエラリンク	ビエラリンク(HDMI)Ver.4	ビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3	左記以前のビエラリンクバージョン
「拡大」で追加されるボタン	上図「拡大」のボタンすべて	「番組表」「チャンネル∧∨」ボタンのみ	なし(拡大できません)

[ビエラリンク(HDMI)Ver.4の場合、接続するディーガの機能により操作できないボタンがあります。]

(終わったら 元の画面 を押す)

接続したレコーダー(ディーガ)の 動作を確認する　テスト(ディーガ電源オン)　テスト(ディーガ電源オフ)

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「テスト(ディーガ電源オン)」または「テスト(ディーガ電源オフ)」を選び、「決定」を押す

レコーダー(ディーガ)の電源が「入」または「切」すれば、正常です。※動作しない場合は、接続をご確認ください。

(終わったら 元の画面 を押す)

ビエラリンクメニューの表示形式を変える　メニュー表示方法

84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 「メニュー表示方法」を選び、「階層」を選ぶ

テスト(ディーガ電源オフ)
メニュー表示方法　一覧　階層
バージョン　ビエラリンク(HDMI)Ver.4

一覧(工場出荷時)…通常の表示をさせるとき

階層…メニューを階層表示させるとき

(終わったら 元の画面 を押す)

本機のビエラリンク(HDMI)バージョンを確認する　ビエラリンク(HDMI)バージョン表示

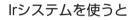
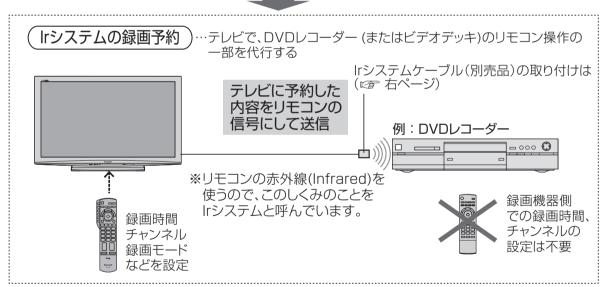
84ページの手順1～4で「ビエラリンク(HDMI)設定」画面を出す 設定する➡初期設定➡接続機器関連設定➡ビエラリンク(HDMI)設定

5 ビエラリンク(HDMI)のバージョンを確認する

● 本機のビエラリンク(HDMI)のバージョン情報を表示します。

(終わったら 元の画面 を押す)

便利な録画予約をするために(Irシステム)

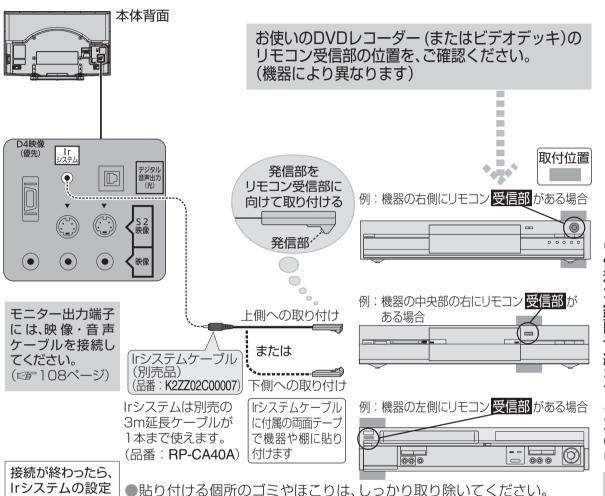
便利なIrシステムのしくみについて

※録画時間やチャンネルなどの基本以外の設定はDVDレコーダー(またはビデオデッキ)側で設定が必要です。(HDD付きDVDレコーダーでの、DVDとHDDの切り換えなど)

「番組タイトル情報」について

●当社製のDVDレコーダーで録画予約を行うと録画予約情報の他に番組タイトルの情報が送られます。(番組表で番組タイトルが取得できていない場合は送られません)
〈対応機種〉
当社製DVDレコーダー(含むHDD／ビデオ複合機)の機種すべて。
ただし、2002年以前に発売されたレコーダーおよび以下の機種については、Irシステムでの番組タイトル受け付けはできません。(2009年7月現在)
・DMR-E90H(2003年モデル)
●番組タイトルが、正しく表示されないときは(☞ 128ページ)

Irシステムケーブルの接続について

接続が終わったら、Irシステムの設定をしてください
(☞ 106ページ)

●貼り付ける個所のゴミやほこりは、しっかり取り除いてください。
●別売のIrシステムケーブルに付属の両面テープは接着力が強いため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷めることがありますので、ご注意ください。

Irシステムケーブル、Irシステムの延長ケーブルは販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
CLUB Panasonic Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

●便利な録画予約をするために

<ruby>

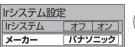
Irシステムの設定

アイアール

Irシステムで接続した機器を 使えるように設定する Irシステム設定

84ページの手順1～4で「Irシステム設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定 ➡ Irシステム設定

5 「Irシステム」を選び、「オン」にする

6 「メーカー」を選び、接続した機器のメーカーを選ぶ

設定できるメーカー（録画機器）
ビデオデッキ：パナソニック、ビクター、東芝、三菱、三洋
シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC
DVDレコーダー：パナソニック、パイオニア、三菱

一部、使用できない商品もあります。

7 「リモコン種別」を選び、種別を選ぶ

●メーカーによってはリモコン種別が複数あります。手順**9**のテストを実行しても機器が動作しない場合は、他のリモコン種別に切り換えてみてください。
●当社製DVDレコーダーの場合は、「DVDレコーダー1」の設定から、お試しください。

8 「外部入力」を選び、設定する

当社製の録画機器で「タイマー予約」をするときのみ設定してください

他メーカーの機器では設定できません
→接続したビデオデッキやDVDレコーダー側の外部入力の番号（1、2、3）に合わせる。

9 「テスト」を選び、「決定」を押す

リモコン種別 ビデオ1
外部入力 外部入力1
テスト ーー

●「送信中」と表示され、電源「入」「切」のリモコン信号がくり返し送信されます。
（録画機器の電源が「入」「切」するか、確認する）

■正しく動作したときは
→●「決定」を押して設定終了（くり返し送信が終了）

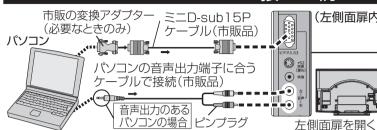
■録画機器の電源が「入」「切」しないときは
→●Irシステムケーブルの接続、取り付けを確認する。（☞105ページ）
→●リモコン種別を変える。（手順**7**）

（終わったら 元の画面 を押す）

●タイマー予約を行うときは録画機器の時刻とチャンネル設定は、本機に合わせてください。
●「Irシステム設定」を変更する場合は、事前に予約を全て取り消してください。（☞40ページ）
●DVDレコーダーとビデオデッキの複合機の場合、「DVDレコーダー1」に設定すると、ビデオ機能に対してはIrシステムを使っての予約はできません。
※2003年以降発売の当社製DVD／ビデオ／（HDD）複合機すべて
（2009年7月現在）

パソコンの接続と設定

※パソコンは接続例です。
●➡は、信号の流れを示します。

接　続

音声はビデオ入力3の音声端子に接続

※ビデオ入力3に他の機器を接続すると、入力をパソコンに切り換え時、ビデオ入力3に接続している機器の音声が出ますのでご注意ください。

■本機が対応しているパソコン信号（単位：水平周波数 kHz、垂直周波数 Hz）

信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック	信号名	表示解像度	水平周波数	垂直周波数	ビデオクロック
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	25.18	WVGA60	852 × 480	31.44	59.89	33.54
VGA70	640 × 400	31.47	70.07	25.18	XGA60	1024× 768	48.36	60.00	65.00
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	31.50	XGA70	1024× 768	56.48	70.07	75.00
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	30.24	XGA75	1024× 768	60.02	75.03	78.75
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	40.00	XGA85	1024× 768	68.68	85.00	94.50
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	49.50	MAC21	1152× 870	68.68	75.06	100.00
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	56.25	SXGA60	1280×1024	63.98	60.02	108.00
MAC16	832 × 624	49.73	74.55	57.28	WXGA60	1366× 768	48.39	60.04	86.71

● 一覧表の信号以外の入力信号は画面が映っても適正な状態で映すことができない場合があります。
● WXGA（WVGA）については「PC画面調整」で「入力解像度」の設定が必要です。（☞50ページ）

■本機の画面モードによる表示画素数

画面モードが「ノーマル」のとき	画面モードが「フル」のとき
1440×1080	1920×1080（16：9画面）

●パソコンからの入力信号は、左記の画素数に拡大表示されます。

■パソコン入力端子（ミニD-sub15P）の信号名

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
①	R	⑥	GND（アース）	⑪	NC（無接続）
②	G	⑦	GND（アース）	⑫	NC（無接続）
③	B	⑧	GND（アース）	⑬	HD
④	NC（無接続）	⑨	NC（無接続）	⑭	VD
⑤	GND（アース）	⑩	GND（アース）	⑮	NC（無接続）

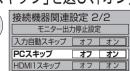
パソコン入力端子のピン配列

お知らせ

●パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
●D-sub15P端子のパソコンと接続する場合は、必要に応じて変換アダプター（市販品）をお使いください。
※パソコンのミニD-sub15P端子がDOS/Vに対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
●MACを接続する場合は、変換アダプター（市販品）の取扱説明書をご覧のうえ接続してください。
●ミニD-sub15Pケーブルは確実に取り付けてください。
●接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。

入力切換ボタンを押したとき PC入力を飛ばす PCスキップ

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「PCスキップ」を選び、「オン」を選ぶ

オン … 入力切換 を押したときPC（パソコン）には切り換わりません。
オフ（工場出荷時） … 入力切換 を押したときPC（パソコン）へ切り換わります。

（終わったら 元の画面 を押す）

パソコンの接続と設定 Irシステムの設定

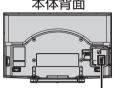
DVDレコーダーなどの接続

●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。（☞95ページ）
●音声コードは必ず接続してください。

D端子付きの録画機器の接続例

本体背面

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。（ビデオ入力表示書換 ☞右ページ）

D端子映像出力　音声出力　映像/音声入力

●ハウリングや映像発振が気になる場合は、モニター出力停止設定をしてください。（☞右ページ）

例：DVDプレーヤー

D端子のない録画機器の接続例

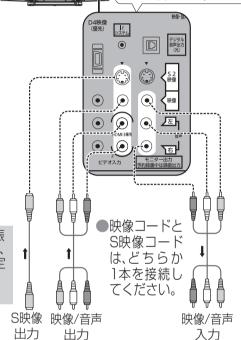
本体背面

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。（ビデオ入力表示書換 ☞右ページ）

●映像コードとS映像コードは、どちらか1本を接続してください。

S映像出力　映像/音声出力　映像/音声入力

例：VHSビデオデッキ

■モニター出力端子（1組）
- ●ビデオデッキなどの「映像」と「音声」の入力端子に接続します。
- ●以下の信号を視聴時に出力します。
  - •本機で受信できる放送（ハイビジョン放送はアナログ放送と同程度の画質になります）
  - •ビデオ入力に接続した機器の映像、音声
  - •D端子に接続した機器の音声（映像信号は出ません）
  - •HDMI入力に接続した機器の音声（映像信号は出ません）
  - •SDビデオの映像、音声
- ●デジタル放送の録画予約の実行中は、そのチャンネルの映像、音声を出力します。

お願い

●**S2映像出力端子からは、地上アナログ放送およびビデオ入力の「映像」端子に入力した信号は出力されません。これらを録画される場合は、本機のS2映像出力端子を録画機器に接続しないでください。**
（デジタル放送時はID-1信号を重畳したS出力となります）

お知らせ

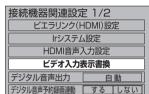
- ●SDメモリーカードの写真を見ているときは、映像信号は出力されません。
- ●地上アナログ放送の予約は録画機器側のチューナーで録画されます。
- ●ハイビジョン放送も地上アナログ放送と同程度の画質で出力されます。
- ●接続機器にD端子がなく、コンポーネント（色差）端子のみの場合は、別売のD端子-ピン映像コード（☞95ページ）で接続できます。

ビデオ入力表示書換／モニター出力停止設定

入力端子に接続した 機器に合わせて表示を変える　ビデオ入力表示書換

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

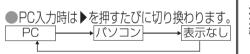
4 「接続機器関連設定」画面で「ビデオ入力表示書換」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 1/2	
ビエラリンク(HDMI)設定	
Irシステム設定	
HDMI音声入力設定	
ビデオ入力表示書換	
デジタル音声出力	自動
デジタル音声予約録画連動	する ｜ しない

5 録画（再生）機器を接続したビデオ入力端子を選び、機器に合わせて表示を選ぶ

ビデオ入力表示書換	
ビデオ1／D端子	ビデオ1／D端子
ビデオ2	ビデオ2
ビデオ3	ビデオ3
HDMI1	HDMI1
HDMI2	HDMI2
HDMI3	HDMI3
HDMI4	HDMI4
PC	PC

●▶を押すたびに切り換わります。

●PC入力時は▶を押すたびに切り換わります。

PC → パソコン → 表示なし

（終わったら 元の画面 を押す）

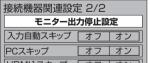
接続した録画機器（☞左ページ）の映像・音声の モニター出力を停止する　モニター出力停止設定

●ハウリング（ブー音）や映像発振の防止のため

●モニター出力端子については（☞左ページ）

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す　設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「モニター出力停止設定」を選び、「決定」を押す

接続機器関連設定 2/2	
モニター出力停止設定	
入力自動スキップ	オフ ｜ オン
PCスキップ	オフ ｜ オン

5 録画機器を接続したビデオ入力端子を選び、「する」を選ぶ

モニター出力停止設定		
ビデオ1／D端子	する	しない
ビデオ2	する	しない
ビデオ3	する	しない
HDMI1	する	しない
HDMI2	する	しない
HDMI3	する	しない
HDMI4	する	しない

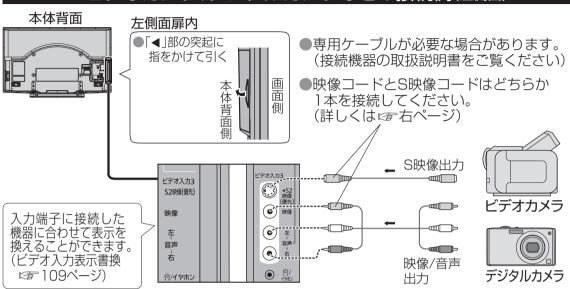
（終わったら 元の画面 を押す）

再生専用機器の接続

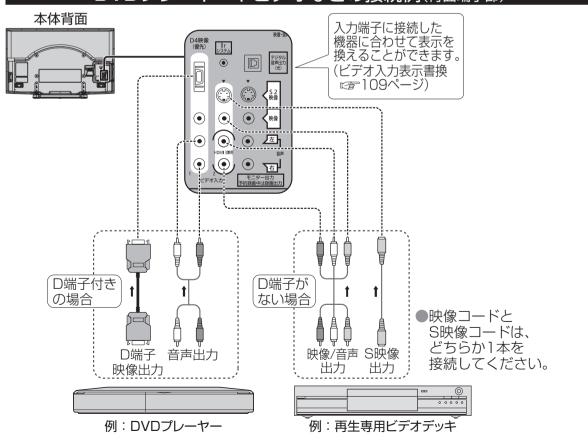
●➡は、信号の流れを示します。
●接続コードは別売です。（☞95ページ）
●音声コードは必ず接続してください。

ビデオカメラ、デジタルカメラなどの接続例（左側面）

●専用ケーブルが必要な場合があります。（接続機器の取扱説明書をご覧ください）
●映像コードとS映像コードはどちらか1本を接続してください。（詳しくは☞右ページ）

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。（ビデオ入力表示書換 ☞109ページ）

DVDプレーヤーやビデオなどの接続例（背面端子部）

入力端子に接続した機器に合わせて表示を換えることができます。（ビデオ入力表示書換 ☞109ページ）

●映像コードとS映像コードは、どちらか1本を接続してください。

入力自動スキップ

「入力切換」を押したとき **接続のない外部入力を飛ばす** 入力自動スキップ
●PC入力、HDMI入力は除きます。

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「接続機器関連設定」画面で「入力自動スキップ」を選び、「オン」を選ぶ

接続機器関連設定 2/2		
モニター出力停止設定		
入力自動スキップ	オフ	オン
PCスキップ	オフ	オン
HDMI1スキップ	オフ	オン
HDMI2スキップ	オフ	オン
HDMI3スキップ	オフ	オン
HDMI4スキップ	オフ	オン

●接続コード類がしっかり差し込まれていないと入力切換が正しく動作しません。

オン … 入力切換 を押したとき、接続のない入力には切り換わりません。

オフ（工場出荷時） … 接続にかかわらず、入力切換 を押すごとに、すべての入力を選択できます。

お知らせ
●接続機器に合った入力切換の表示は、109ページの「ビデオ入力表示書換」で変更ができます。

（終わったら 元の画面 を押す）

■ビデオ入力端子（背面：ビデオ入力1～2、左側面：ビデオ入力3）
●ビデオデッキなどの映像と音声の出力端子に接続します。

S2映像入力端子
●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
●再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
- S端子　：色のにじみが少ない
- S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
- S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加

●「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
●「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

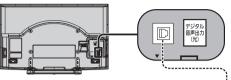
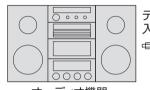
D4映像入力端子
●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
●ビデオデッキなどの「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コード（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
●対応している信号：480i、480p、1080i、720p
●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

お知らせ
●ビデオ入力2、3には、「D4映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力1には、「S2映像」入力端子はありません。
●ビデオ入力端子を同時に接続したときの優先順位は、①D4映像入力 ②S2映像入力 ③映像入力 の順となります。

光デジタルケーブル対応 オーディオ機器の接続と設定

●➡ は、信号の流れを示します。

接　続

本体背面

●端子カバーの上から光デジタルケーブルのプラグを押しこんでください。
●光デジタルケーブルは折り曲げないでください。

オーディオ機器

デジタル音声入力(光)端子

光デジタルケーブル(別売品)
品番：RP-CA2010(1.0 m)

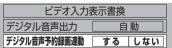
■接続できるオーディオ機器
●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーターを内蔵したオーディオ機器。

■デジタル音声出力(光)端子について
●デジタル音声出力(光)端子からは、本体スピーカーと同じ音声信号を出力します。(録画予約実行中を除く)
●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は出力されません。
●本機のデジタル音声出力(光)端子は、デジタル放送の信号をそのまま出力していますので、サンプリングレートコンバーターのないオーディオ機器は使用できません。
●オーディオ機器の説明書も、よくお読みください。

録画予約でデジタル音声出力(光)端子から録音中に チャンネルを切り換えても確実に録音する　デジタル音声予約録画連動

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声予約録画連動」を選び、「する」を選ぶ

ビデオ入力表示書換
デジタル音声出力　自動
デジタル音声予約録画連動　する　しない

する　録画予約実行中は、録画番組の音声を出力。
●右ページの「デジタル音声出力」を「PCM」にしてください。
(「自動」にしていると、3ch以上のステレオ放送では「AAC」出力になります)

しない　選局中の番組の音声を出力。
(工場出荷時)

お知らせ
●デジタル放送の番組によっては、録音できない場合があります。

(終わったら 元の画面 を押す)

ドルビーデジタル、AAC対応の オーディオ機器を接続したとき　デジタル音声出力

84ページの手順1～3で「接続機器関連設定」画面を出す 設定する ➡ 初期設定 ➡ 接続機器関連設定

4 「デジタル音声出力」を選び、設定する

ビデオ入力表示書換
デジタル音声出力　自動
デジタル音声予約録画連動　する　しない

設定項目について

PCM
オーディオ機器がAACフォーマットや、ドルビーデジタルフォーマットに対応していないとき。
常に「PCM」出力します。

ビットストリーム
入力や放送がAACフォーマット時は常に「AAC」出力します。
ドルビーデジタルフォーマット時は常に「ドルビーデジタル」出力します。
AACフォーマット・ドルビーデジタルフォーマット以外のときは「PCM」出力します。

自動　(工場出荷時)
入力や放送が3ch以上の音声フォーマットのときは自動的に「AAC」出力します。
ただしSDビデオ・アクトビラ動画の音声形式がドルビーデジタルフォーマットで、サラウンド・ステレオで記録した場合は、自動的に「ドルビーデジタル」出力します。

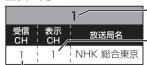
※ドルビーデジタル、PCM、AACについては(☞135ページ)

お知らせ
●「ビットストリーム」に設定すると字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、モニター出力の音声端子をご使用ください。
●地上アナログ放送や、ビデオ入力端子、D端子に接続した機器を視聴中は、設定とは関係なく、常時「PCM」出力します。
●AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切り換え機能のあるものをおすすめします。

(終わったら 元の画面 を押す)

地上アナログ放送チャンネル一覧表（市外局番入力）

●チャンネル設定で入力された市外局番は、自動的に以下66地域の中で近い市外局番に変換され、その地域の各放送局が設定されます。例えば大阪府茨木市（072）を入力すると、一覧表の大阪市（06）の内容が自動的に設定されます。※一部の地域は自動変換されない場合があります。
●お住まいの地域の受信チャンネルが表に記載の都市名（市外局番）に一致しない場合は、ふだんご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。

■表の見かた

■リモコンボタン
リモコンのチャンネルボタンの番号
■表示チャンネル
テレビ画面に表示されるチャンネルの番号
■受信チャンネル
放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルの番号

（2009年7月現在）

都道府県	都市	市外局番	リモコンボタンと受信チャンネル・表示チャンネル・放送局名																																			
			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
			受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名	受信CH	表示CH	放送局名
北海道	札幌	011	1	1	HBCテレビ				3	3	NHK総合札幌	17	17	TV北海道	5	5	STVテレビ							27	27	UHBテレビ				35	35	HTBテレビ				12	12	NHK教育札幌
	旭川	0166				2	2	NHK教育札幌				33	33	TV北海道							7	7	STVテレビ	37	37	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	北見	0157				2	2	NHK教育札幌													7	7	STVテレビ	59	59	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	61	61	HTBテレビ	53	53	HBCテレビ			
	帯広	0155	34	34	HTBテレビ							4	4	NHK総合札幌				6	6	HBCテレビ				32	32	UHBテレビ				10	10	STVテレビ				12	12	NHK教育札幌
	釧路	0154				2	2	NHK教育札幌				29	29	TV北海道							7	7	STVテレビ	41	41	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	室蘭	0143				2	2	NHK教育札幌				29	29	TV北海道							7	7	STVテレビ	37	37	UHBテレビ	9	9	NHK総合札幌	39	39	HTBテレビ	11	11	HBCテレビ			
	函館	0138	21	21	TV北海道	27	27	UHBテレビ	35	35	HTBテレビ	4	4	NHK総合札幌				6	6	HBCテレビ										10	10	NHK教育札幌				12	12	STVテレビ
青森	青森	017	1	1	青森放送				3	3	NHK総合青森				5	5	NHK教育青森							27	27	UHBテレビ				34	34	青森朝日放送	35	35	HTBテレビ	38	38	青森テレビ
	八戸	0178										31	31	青森朝日放送							7	7	NHK教育青森				9	9	NHK総合青森				11	11	青森放送	33	33	青森テレビ
岩手	盛岡	019	1	1	東北放送	33	33	めんこいテレビ	35	35	テレビ岩手	4	4	NHK総合盛岡	31	31	IATテレビ	6	6	IBCテレビ	34	34	ミヤギテレビ	8	8	NHK教育盛岡				32	32	東日本放送				12	12	仙台放送
宮城	仙台	022	1	1	東北放送				3	3	NHK総合仙台				5	5	NHK教育仙台				32	32	東日本放送				34	34	ミヤギテレビ							12	12	仙台放送
秋田	秋田	018				2	2	NHK教育秋田							31	31	秋田朝日放送										9	9	NHK総合秋田				11	11	秋田放送	37	37	秋田テレビ
	大館	0186	1	1	青森放送							4	4	NHK総合秋田	59	59	秋田朝日放送	6	6	秋田放送				8	8	NHK教育秋田										57	57	秋田テレビ
山形	山形	023										4	4	NHK教育山形	30	30	さくらんぼ	36	36	テレビユー山形				8	8	NHK総合山形				10	10	山形放送				38	38	山形テレビ
	鶴岡	0235	1	1	山形放送				3	3	NHK総合山形				24	24	さくらんぼ	6	6	NHK教育山形				22	22	テレビユー山形										39	39	山形テレビ
福島	福島	024	1	1	東北放送	2	2	NHK教育福島				31	31	テレビユー福島				33	33	福島中央テレビ	32	32	東日本放送	34	34	ミヤギテレビ	9	9	NHK総合福島	35	35	福島放送	11	11	福島テレビ	12	12	仙台放送
	会津若松	0242	1	1	NHK総合福島				3	3	NHK教育福島	47	47	テレビユー福島				6	6	福島テレビ	32	32	東日本放送	37	37	福島中央テレビ	34	34	ミヤギテレビ	41	41	福島放送				12	12	仙台放送
	いわき	0246				32	32	テレビユー福島				4	4	NHK総合福島				34	34	福島中央テレビ				8	8	福島テレビ				10	10	NHK教育福島				36	36	福島放送
茨城	水戸	029	44	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	46	3	NHK教育東京	42	4	日本テレビ	16	16	放送大学	40	6	TBSテレビ				38	8	フジテレビ	39	46	チバテレビ	36	10	テレビ朝日				32	12	テレビ東京
栃木	宇都宮	028	51	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	49	3	NHK教育東京	53	4	日本テレビ	31	31	とちぎテレビ	55	6	TBSテレビ				57	8	フジテレビ				41	10	テレビ朝日				44	12	テレビ東京
群馬	前橋	027	52	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	50	3	NHK教育東京	54	4	日本テレビ	48	48	群馬テレビ	56	6	TBSテレビ	40	16	放送大学	58	8	フジテレビ	38	38	テ レ 玉	60	10	テレビ朝日				62	12	テレビ東京
埼玉	さいたま	048	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ	38	38	テ レ 玉	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	48	48	群馬テレビ	12	12	テレビ東京
千葉	千葉	043	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ	42	42	t v k	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テ レ 玉	12	12	テレビ東京
東京	東京	03	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ	42	42	t v k	8	8	フジテレビ	46	46	チバテレビ	10	10	テレビ朝日	38	38	テ レ 玉	12	12	テレビ東京
神奈川	横浜	045	1	1	NHK総合東京	14	14	MXテレビ	3	3	NHK教育東京	4	4	日本テレビ	16	16	放送大学	6	6	TBSテレビ	42	42	t v k	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
新潟	新潟	025							21	21	新潟テレビ21	29	29	テレビ新潟	5	5	新潟放送							8	8	NHK総合新潟				35	35	新潟総合テレビ				12	12	NHK教育新潟
富山	富山	0764	1	1	北日本放送	6	6	MROテレビ	3	3	NHK総合富山	37	37	石川テレビ				32	32	チューリップ										10	10	NHK教育富山				34	34	富山テレビ
石川	金沢	076	1	1	北日本放送				34	34	富山テレビ	4	4	NHK総合金沢				6	6	MROテレビ	25	25	北陸朝日放送	8	8	NHK教育金沢				33	33	テレビ金沢				37	37	石川テレビ
福井	福井	0776							3	3	NHK教育福井							6	6	MROテレビ							9	9	NHK総合福井				11	11	福井放送	39	39	福井テレビ
山梨	甲府	055	1	1	NHK総合甲府				3	3	NHK教育甲府	4	4	日本テレビ	5	5	山梨放送	37	37	テレビ山梨	6	6	TBSテレビ	8	8	フジテレビ				10	10	テレビ朝日				12	12	テレビ東京
長野	長野	026				2	2	NHK総合長野				20	20	a b n				30	30	テレビ信州							9	9	NHK教育長野	38	38	長野放送	11	11	信越放送			
	飯田	0265	44	44	a b n				3	3	NHK教育長野	4	4	NHK総合長野				6	6	信越放送				42	42	テレビ信州				40	40	長野放送						
岐阜	岐阜	058	1	1	東海テレビ				39	3	NHK総合名古屋				5	5	CBCテレビ	25	25	テレビ愛知	37	37	岐阜テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK教育名古屋				11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
静岡	静岡	054				2	2	NHK教育静岡				31	31	静岡第一テレビ				33	33	あさひテレビ							9	9	NHK総合静岡				11	11	静岡放送	35	35	テレビ静岡
	浜松	053	1	1	東海テレビ	30	30	静岡第一テレビ				4	4	NHK総合静岡	5	5	CBCテレビ	6	6	静岡放送	25	25	テレビ愛知	8	8	NHK教育静岡				28	28	あさひテレビ				34	34	テレビ静岡
愛知	名古屋	052	1	1	東海テレビ				3	3	NHK総合名古屋				5	5	CBCテレビ	37	37	岐阜テレビ	35	35	中京テレビ	33	33	三重テレビ	9	9	NHK教育名古屋				11	11	メ～テレ	25	25	テレビ愛知
三重	津	059	1	1	東海テレビ	25	25	テレビ愛知	31	3	NHK総合名古屋	4	4	毎日放送	5	5	CBCテレビ	6	6	ABCテレビ	33	33	三重テレビ	8	8	関西テレビ	9	9	NHK教育名古屋	10	10	読売テレビ	11	11	メ～テレ	35	35	中京テレビ
滋賀	大津	077				28	28	NHK総合大阪				36	4	毎日放送				38	6	ABCテレビ	34	34	京都テレビ	40	8	関西テレビ	30	30	びわ湖放送	42	10	読売テレビ				46	46	NHK教育大阪
京都	京都	075				32	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABCテレビ	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK教育大阪
大阪	大阪	06				2	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送				6	6	ABCテレビ	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ				12	12	NHK教育大阪
兵庫	神戸	078				28	2	NHK総合大阪	36	36	サンテレビ	31	4	毎日放送	19	19	テレビ大阪	41	6	ABCテレビ				43	8	関西テレビ				47	10	読売テレビ				45	12	NHK教育大阪
奈良	奈良	0742				2	2	NHK総合大阪	19	19	テレビ大阪	4	4	毎日放送	51	51	NHK総合大阪	6	6	ABCテレビ	34	34	京都テレビ	8	8	関西テレビ	36	36	サンテレビ	10	10	読売テレビ	55	55	奈良テレビ	12	12	NHK教育大阪
和歌山	和歌山	073				32	2	NHK総合大阪				42	4	毎日放送	30	30	テレビ和歌山	44	6	ABCテレビ				46	8	関西テレビ				48	10	読売テレビ				25	12	NHK教育大阪
鳥取	鳥取	0857	1	1	日本海テレビ				3	3	NHK総合鳥取	4	4	NHK教育鳥取																22	22	山陰放送				24	24	山陰中央テレビ
島根	松江	0852	30	30	日本海テレビ													6	6	NHK総合松江				34	34	山陰中央テレビ				10	10	山陰放送				12	12	NHK教育松江
	浜田	0855				2	2	NHK総合松江	54	54	日本海テレビ				5	5	山陰放送							58	58	山陰中央テレビ	9	9	NHK教育松江									
岡山	岡山	086	35	35	OHKテレビ	23	23	テレビせとうち	3	3	NHK教育岡山				5	5	NHK総合岡山				25	25	瀬戸内海放送				9	9	西日本放送				11	11	山陽放送			
広島	広島	082	31	31	テレビ新広島				3	3	NHK総合広島	4	4	中国放送							7	7	NHK教育広島				35	35	広島ホーム							12	12	広島テレビ
	福山	084	54	54	テレビ新広島				3	3	NHK教育広島				5	5	NHK総合広島				7	7	中国放送				57	57	広島ホーム				11	11	広島テレビ			
山口	山口	083	1	1	NHK教育山口	2	2	KBCテレビ	23	23	TVQ九州放送	28	28	山口朝日放送	5	5	大分放送				38	38	テレビ山口	8	8	RKB毎日放送	9	9	NHK総合山口	10	10	テレビ西日本	11	11	山口放送	35	35	FBSテレビ
徳島	徳島	088	1	1	四国放送	19	19	テレビ大阪	3	3	NHK総合徳島	4	4	毎日放送	55	55	テレビ和歌山	6	6	ABCテレビ	36	36	サンテレビ	8	8	関西テレビ				10	10	読売テレビ				38	12	NHK教育徳島
香川	高松	087	19	19	テレビせとうち				39	39	NHK教育高松	4	4	毎日放送	37	37	NHK総合高松	6	6	ABCテレビ	33	33	瀬戸内海放送	8	8	関西テレビ	9	9	西日本放送	10	10	読売テレビ	29	29	山陽放送	31	31	OHKテレビ
愛媛	松山	089	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK教育松山	12	12	広島テレビ	35	35	広島ホーム	31	31	テレビ新広島	6	6	NHK総合松山	25	25	愛媛朝日テレビ	29	29	あいテレビ	9	9	西日本放送	10	10	南海放送	11	11	山陽放送	37	37	テレビ愛媛
	新居浜	0897	23	23	テレビせとうち	2	2	NHK総合松山	12	12	広島テレビ	4	4	NHK教育松山	31	31	テレビ新広島	6	6	南海放送	33	33	瀬戸内海放送	27	27	あいテレビ	9	9	西日本放送	14	14	愛媛朝日テレビ	11	11	山陽放送	36	36	テレビ愛媛
高知	高知	0888										4	4	NHK総合高知				6	6	NHK教育高知				8	8	高知放送				38	38	テレビ高知	40	40	高知さんさん			
福岡	福岡	092	1	1	KBCテレビ	36	36	サガテレビ	3	3	NHK総合福岡	4	4	RKB毎日放送	19	19	TVQ九州放送	6	6	NHK教育福岡							9	9	テレビ西日本				11	11	RKKテレビ	37	37	FBSテレビ
	北九州	093				2	2	KBCテレビ	35	35	FBSテレビ	36	36	サガテレビ	23	23	TVQ九州放送	6	6	NHK総合福岡				8	8	RKB毎日放送				10	10	テレビ西日本	11	11	RKKテレビ	12	12	NHK教育福岡
佐賀	佐賀	0952	57	57	KBCテレビ	40	40	NHK教育佐賀	52	52	FBSテレビ	36	36	サガテレビ	14	14	TVQ九州放送	34	34	テレビ熊本	5	5	長崎放送	48	48	RKB毎日放送	38	38	NHK総合佐賀	60	60	テレビ西日本	11	11	RKKテレビ	37	37	テレビ長崎
長崎	長崎	095	1	1	NHK教育長崎	57	57	KBCテレビ	3	3	NHK総合長崎	4	4	RKB毎日放送	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本	25	25	長崎国際テレビ	9	9	テレビ西日本	27	27	長崎文化放送	11	11	RKKテレビ	37	37	テレビ長崎	22	22	KKTテレビ
熊本	熊本	096	1	1	KBCテレビ	2	2	NHK教育熊本	16	16	熊本朝日放送	22	22	KKTテレビ	5	5	長崎放送	34	34	テレビ熊本	37	37	テレビ長崎	36	36	サガテレビ	9	9	NHK総合熊本	19	19	TVQ九州放送	11	11	RKKテレビ	4	4	RKB毎日放送
大分	大分	097	1	1	KBCテレビ				3	3	NHK総合大分	4	4	RKB毎日放送	5	5	大分放送	10	10	南海放送	36	36	テレビ大分	37	37	FBSテレビ	24	24	大分朝日放送	19	19	TVQ九州放送	9	9	テレビ西日本	12	12	NHK教育大分
宮崎	宮崎	0985	1	1	南日本放送				35	35	テレビ宮崎										32	32	鹿児島放送	8	8	NHK総合宮崎	38	38	鹿児島テレビ	10	10	宮崎放送				12	12	NHK教育宮崎
	延岡	0982				2	2	NHK教育宮崎				4	4	NHK総合宮崎				6	6	宮崎放送				39	39	テレビ宮崎												
鹿児島	鹿児島	099	1	1	南日本放送	34	34	テレビ熊本	3	3	NHK総合鹿児島	35	35	テレビ宮崎	5	5	NHK教育鹿児島	10	10	宮崎放送	32	32	鹿児島放送	22	22	KKTテレビ	38	38	鹿児島テレビ	16	16	熊本朝日放送	30	30	鹿児島読売			
	阿久根	0996	17	17	鹿児島読売	34	34	テレビ熊本				23	23	鹿児島放送				35	35	鹿児島テレビ	22	22	KKTテレビ	8	8	NHK総合鹿児島	16	16	熊本朝日放送	10	10	南日本放送	11	11	RKKテレビ	12	12	NHK教育鹿児島
沖縄	那覇	098	28	28	琉球朝日放送	2	2	NHK総合沖縄																8	8	沖縄テレビ				10	10	琉球放送				12	12	NHK教育沖縄

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名入力）

●かんたん設定設定（☞80ページ）や初期スキャン（☞87ページ）で選択された地域の、放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。他地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。
●割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)	北海道(室蘭)
放送局名	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見	3 NHK総合・室蘭
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見	2 NHK教育・室蘭
	1 HBC札幌	1 HBC函館	1 HBC旭川	1 HBC帯広	1 HBC釧路	1 HBC北見	1 HBC室蘭
	5 STV札幌	5 STV函館	5 STV旭川	5 STV帯広	5 STV釧路	5 STV北見	5 STV室蘭
	6 HTB札幌	6 HTB函館	6 HTB旭川	6 HTB帯広	6 HTB釧路	6 HTB北見	6 HTB室蘭
	8 UHB札幌	8 UHB函館	8 UHB旭川	8 UHB帯広	8 UHB釧路	8 UHB北見	8 UHB室蘭
	7 TVH札幌	7 TVH函館	7 TVH旭川	7 TVH帯広	7 TVH釧路	7 TVH北見	7 TVH室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
放送局名	3 NHK総合・仙台	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・福島	3 NHK総合・青森	1 NHK総合・東京
	2 NHK教育・仙台	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・盛岡	2 NHK教育・福島	2 NHK教育・青森	2 NHK教育・東京
	1 TBCテレビ	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	6 IBCテレビ	8 福島テレビ	1 RAB青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT秋田テレビ	5 YTS山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央ﾃﾚﾋﾞ	6 ATV青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB秋田朝日放送	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ山形	8 めんこいﾃﾚﾋﾞ	5 KFB福島放送	5 青森朝日放送	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
	5 KHB東日本放送		8 さくらんぼﾃﾚﾋﾞ	5 岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	6 ﾃﾚﾋﾞﾕｰ福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・長野
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn
	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	8 ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合・新潟	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・大阪	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・奈良
	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYﾃﾚﾋﾞ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・高松	3 NHK総合・松江	3 NHK総合・鳥取	1 NHK総合・山口
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・広島	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・高松	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	8 山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	3 TYSﾃﾚﾋﾞ山口
	8 関西テレビ	5 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

■表の見かた

（2009年7月現在）

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
放送局名	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津	3 NHK総合・岐阜	1 NHK総合・金沢	1 NHK総合・静岡	1 NHK総合・福井	3 NHK総合・富山
	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・金沢	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBCテレビ	1 KNB北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT富山テレビ
	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 メ～テレ	6 MRO	4 静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		6 ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾃﾚﾋﾞ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 岐阜テレビ				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK総合・松山	3 NHK総合・徳島	1 NHK総合・高知	3 NHK総合・福岡	1 NHK総合・熊本	1 NHK総合・長崎	3 NHK総合・鹿児島
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・熊本	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK教育・福岡	3 RKK熊本放送	3 NBC長崎放送	1 MBC南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHK教育・北九州	8 TKUﾃﾚﾋﾞ熊本	8 KTNﾃﾚﾋﾞ長崎	8 KTS鹿児島ﾃﾚﾋﾞ
	6 あいテレビ		8 さんさんﾃﾚﾋﾞ	1 KBC九州朝日放送	4 KKTくまもと県民	5 NCC長崎文化放送	5 KKB鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB毎日放送	5 KAB熊本朝日放送	4 NIB長崎国際ﾃﾚﾋﾞ	4 KYT鹿児島讀賣TV
				5 FBS福岡放送			
				7 TVQ九州放送			
				8 TNCﾃﾚﾋﾞ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀	1 NHK総合・那覇			
	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀	2 NHK教育・那覇			
	6 MRT宮崎放送	3 OBS大分放送	3 STSｻｶﾞﾃﾚﾋﾞ	3 RBCテレビ			
	3 UMKﾃﾚﾋﾞ宮崎	4 TOSﾃﾚﾋﾞ大分		5 QAB琉球朝日放送			
		5 OAB大分朝日放送		8 沖縄ﾃﾚﾋﾞ(OTV)			

■物理チャンネル一覧表（物理チャンネルについて☞81ページ）

東京			愛知			大阪		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	1	NHK総合・東京	20	3	NHK総合・名古屋	24	1	NHK総合・大阪
26	2	NHK教育・東京	13	2	NHK教育・名古屋	13	2	NHK教育・大阪
25	4	日本テレビ	21	1	東海テレビ	16	4	MBS毎日放送
22	6	TBS	18	5	CBC	15	6	ABCテレビ
21	8	ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ	22	6	メ～テレ	17	8	関西テレビ
24	5	テレビ朝日	19	4	中京テレビ	14	10	読売テレビ
23	7	テレビ東京	23	10	テレビ愛知	18	7	テレビ大阪
20	9	TOKYO MX						
28	12	放送大学						

富山			茨城			岐阜		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
27	3	NHK総合・富山	20	1	NHK総合・水戸	29	3	NHK総合・岐阜
24	2	NHK教育・富山	13	2	NHK教育・東京	30	8	岐阜テレビ
28	1	KNB北日本放送						

兵庫			神奈川		
物理CH	表示CH	放送局名	物理CH	表示CH	放送局名
22	1	NHK総合・神戸	18	3	tvk
26	3	サンテレビ			

●お住まいの場所によっては、中継局を経由するために、本表の物理チャンネルと異なる場合があります。
●掲載外の地域については、販売店にご相談ください。

地上アナログ放送放送局コード一覧表

●地上アナログ放送の設定(☞78、85ページ)で「放送局名」を変更するときに、
下表の放送局コード(4桁の数字)を直接入力することもできます。

(2009年7月現在)

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	4386
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	4383
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	4385
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	4641
	テレビユー福島	0543
	福島テレビ	0523
関東 東京	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
関東 埼玉	テレ玉	0806
関東 千葉	チバテレビ	0302
関東 神奈川	tvk	4394
関東 群馬	群馬テレビ	0304
関東 栃木	とちぎテレビ	4631
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	5155
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0533
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	abn	4628
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906
	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	静岡放送	1291
	テレビ静岡	1315
	あさひテレビ	5153
	静岡第一テレビ	4895
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
中部(愛知)	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029
	メ~テレ	5643
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
中部 岐阜	岐阜テレビ	1061
中部 三重	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	4640
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	4377
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西 大阪	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
関西 京都	京都テレビ	1058
関西 兵庫	サンテレビ	0548
関西 奈良	奈良テレビ	0311
関西 和歌山	テレビ和歌山	5150
関西 滋賀	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	4375
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772
	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	5151
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	5633
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	5410
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	4380
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	4889
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	4624
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	5145
	長崎文化放送	4635
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第1	0074
	衛星第2	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

Gガイド地域一覧表

●「Gガイド地域設定」(☞88ページ)で、お住まいの地域を選んだときに地上
アナログ放送の番組表に表示される放送局は、下表の通りに決められています。
●選んだ地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表に
表示されません。

(2009年7月現在)

札幌 小樽 旭川 名寄 稚内 室蘭 苫小牧 函館 釧路	帯広 網走 北見	青森 八戸 むつ	盛岡 釜石 二戸	仙台 石巻 気仙沼	秋田 大館 大曲	山形 鶴岡 米沢	福島 いわき 会津若松	水戸 日立	宇都宮 矢板
HBC テレビ NHK 総合札幌 STV テレビ UHB テレビ HTB テレビ TV 北海道 NHK 教育札幌	UHB テレビ NHK 総合札幌 HBC テレビ HTB テレビ STV テレビ NHK 教育札幌	青森放送 NHK 総合青森 青森朝日放送 NHK 教育青森 青森テレビ	NHK 総合盛岡 IBC テレビ NHK 教育盛岡 テレビ岩手 IAT テレビ めんこいテレビ	東北放送 NHK 総合仙台 NHK 教育仙台 東日本放送 ミヤギテレビ 仙台放送	NHK 教育秋田 秋田朝日放送 NHK 総合秋田 秋田放送 秋田テレビ	NHK 教育山形 テレビユー山形 NHK 総合山形 山形放送 さくらんぼ 山形テレビ	NHK 教育福島 テレビユー福島 福島中央テレビ NHK 総合福島 福島放送 福島テレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 MX テレビ チバテレビ	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレビ東京 とちぎテレビ MX テレビ

前橋 桐生	さいたま	熊谷 秩父	千葉	銚子	横浜 平塚 秦野 小田原	23区 八王子 多摩	新潟 上越	甲府	長野 松本 飯田 岡谷・諏訪
NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 群馬テレビ テレビ東京 MX テレビ テレ玉	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 テレ玉 テレビ東京	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京 tvk	NHK 総合東京 NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ フジテレビ テレビ朝日 tvk テレビ東京 MX テレビ	NHK 総合東京 MX テレビ NHK 教育東京 日本テレビ TBS テレビ テレ玉 フジテレビ tvk テレビ朝日 チバテレビ テレビ東京	新潟テレビ21 テレビ新潟 新潟放送 NHK 総合新潟 新潟総合テレビ NHK 教育新潟	NHK 総合甲府 NHK 教育甲府 山梨放送 テレビ山梨	NHK 総合長野 abn テレビ信州 長野放送 NHK 教育長野 信越放送

富山 高岡	金沢 七尾	福井 敦賀	岐阜 高山 中津川 名古屋 豊橋 豊田	静岡 浜松 富士 三島・沼津 島田 藤枝	津 伊勢 名張	京都 舞鶴 福知山 大阪	奈良 五條	神戸 神戸灘 川西 三木 姫路 明石	大津 彦根
北日本放送 NHK 総合富山 富山テレビ NHK 教育富山 チューリップ	石川テレビ NHK 総合金沢 MRO テレビ NHK 教育金沢 テレビ金沢 北陸朝日放送	NHK 教育福井 NHK 総合福井 福井放送 福井テレビ	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 岐阜テレビ メ~テレ テレビ愛知 三重テレビ	NHK 教育静岡 静岡第一テレビ あさひテレビ テレビ静岡 NHK 総合静岡 静岡放送	東海テレビ NHK 総合名古屋 CBC テレビ 中京テレビ NHK 教育名古屋 三重テレビ メ~テレ テレビ愛知	NHK 総合大阪 京都テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 サンテレビ	NHK 総合大阪 奈良テレビ 毎日放送 テレビ大阪 ABC テレビ 関西テレビ サンテレビ 読売テレビ NHK 教育大阪 京都テレビ	NHK 総合大阪 サンテレビ 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ テレビ大阪 NHK 教育大阪	NHK 総合大阪 毎日放送 ABC テレビ 京都テレビ 関西テレビ 読売テレビ びわ湖放送 NHK 教育大阪

和歌山 海南・田辺	鳥取	松江 浜田	岡山 津山 笠岡	広島 福山 尾道 呉	山口 下関 宇部 岩国	徳島	高松 丸亀	高知	松山 新居浜 今治 宇和島
NHK 総合大阪 テレビ和歌山 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ 読売テレビ NHK 教育大阪	日本海テレビ NHK 総合鳥取 NHK 教育鳥取 山陰中央テレビ 山陰放送	日本海テレビ NHK 総合松江 NHK 教育松江 山陰中央テレビ 山陰放送	テレビせとうち NHK 教育岡山 NHK 総合岡山 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	テレビ新広島 NHK 総合広島 中国放送 NHK 教育広島 広島ホーム 広島テレビ	NHK 教育山口 山口朝日放送 テレビ山口 NHK 総合山口 山口放送	四国放送 NHK 総合徳島 毎日放送 ABC テレビ 関西テレビ NHK 教育徳島	テレビせとうち NHK 教育高松 NHK 総合高松 瀬戸内海放送 OHK テレビ 西日本放送 山陽放送	NHK 総合高知 NHK 教育高知 高知放送 テレビ高知 高知さんさん	NHK 教育松山 あいテレビ NHK 総合松山 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ 南海放送

福岡 久留米 大牟田 北九州 行橋	佐賀1	佐賀2	熊本	大分 中津	長崎 佐世保 諫早	鹿児島 阿久根 鹿屋	宮崎 延岡	沖縄
KBC テレビ NHK 総合福岡 RKB 毎日放送 NHK 教育福岡 テレビ西日本 TVQ九州放送 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ RKB 毎日放送 TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ	NHK 教育佐賀 KBC テレビ TVQ九州放送 サガテレビ NHK 総合佐賀 FBS テレビ RKK テレビ	NHK 教育熊本 熊本朝日放送 KKT テレビ テレビ熊本 NHK 総合熊本 RKK テレビ	NHK 総合大分 大分放送 テレビ大分 大分朝日放送 NHK 教育大分	NHK 教育長崎 NHK 総合長崎 長崎放送 長崎国際テレビ 長崎文化放送 テレビ長崎	南日本放送 NHK 総合鹿児島 NHK 教育鹿児島 鹿児島放送 鹿児島テレビ 鹿児島読売	テレビ宮崎 NHK 総合宮崎 宮崎放送 NHK 教育宮崎	NHK 総合沖縄 琉球朝日放送 沖縄テレビ 琉球放送 NHK 教育沖縄

アイコンの一覧

●本機はアイコン(機能や情報表示のシンボルマーク)によって、番組や表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	デジタルテレビ放送(映像＋音声)の番組。
データ	データ番組の放送。
+d テレビ	デジタル放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
デジタル XCOPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組。(録画できません)
アナログ XCOPY	アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログ録画できません)
アナログ X出力	モニター出力端子から映像や音声信号を出力しない番組。(録画できません)
デジタル 1COPY	DVDレコーダーなどのデジタル録画機器で1回だけコピー可能な番組。(録画後ダビングできません)
ラジオ	ラジオ放送の番組。
d テレビ	デジタル放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。
16:9 1080i	番組の映像信号情報。 上：画面の横縦比(16：9、4：3) 下：信号方式(1080i、720p、480p、480i)
主+副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組。
サラウンド	5.1chなどのサラウンド放送の番組。
有料	有料のデータを含む番組。
マルチビュー	マルチビュー放送の番組。
字幕	番組の中に字幕(日本語／英語)の情報が含まれている番組。
20才～	視聴年齢制限がある番組。(表示される年齢は4 ～ 20才まであります)

お知らせ

●「デジタル1COPY」などのアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。
●デジタル放送では、上記のアイコンの他に、デジタル放送用のアイコンが表示されることがあります。

デジタル放送用のアイコン

●デジタル放送では、番組表の番組欄や番組内容画面で、番組内容画面のアイコン(上記)に加えて、下記などのアイコン(デジタル放送用のアイコン)が表示されることがあります。

●デジタル放送用のアイコンの説明を見たいときは、デジタル放送の番組表を表示中に サブメニュー を押して「アイコン一覧」を選択し、「決定」ボタンを押してください。
(情報がない場合は表示されません。)
※すべてのアイコンの説明が表示されるわけではありません。

予約一覧画面

アイコン	説明
録画 HDMI / 録画 Ir / 録画 サーバー	録画予約した番組(下：録画機器、方式)
録画	上記以外の機器で録画予約した番組。
見るだけ	見るだけ予約した番組。
変更 おしらせ	放送開始時間を変更して予約が実行される番組。
探して毎回★	探して毎回予約で予約した番組。
次回未定	探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。
月~土 / 月~金 / 毎日 / 毎週	毎週、毎日、曜日指定での予約。
重複	予約時間が重なっていた場合の、優先順位が低い予約。
済	予約時間が終了した予約。
検索中	番組追従を実行中。(時間確認中)
済 取消	お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。
済 おしらせ	予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。
済 送信	ビエラリンク(HDMI)などによるタイマー予約を、録画機器に送信済みの番組。
警告	この予約は実行できません。(受信チャンネルが変更になったときなど)
リレー	番組追従でリレーが実行されたリレー先の予約。(☞ 40ページ)
注目番組	放送局おすすめの番組。
先取	9日以上先の番組。
実行中	現在、実行中の予約。

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞28、30ページ)

映画	音楽	ニュース／報道	劇場／公演
ドラマ	バラエティ	アニメ／特撮	趣味／教育
スポーツ	情報／ワイドショー	ドキュメンタリー／教養	福祉

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。(未読メール)

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。(既読メール)

予 番組表で予約された番組

★ おすすめアイコン

探して毎回予約で予約された番組

電話回線に接続中、表示します。

●アイコンの一覧

故障かな!?

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	映像が出ないなど表示がおかしい、また急にリモコンが操作できなくなった	●本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、約5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。 ※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。	──
	電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？	── ☞14ページ
	リモコンで操作できない	●チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。→本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。	☞12ページ ☞12ページ ☞14ページ ──
	リモコンの放送切換ボタンを押しても、放送が切り換わらない	●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅する。 →テレビ本体のメニュー設定で、放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●リモコンの放送切換ボタンを押したとき、押した放送切換ボタンが点滅しない。 →リモコンのボタン操作で放送切り換えをできないようにしていませんか？ ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？	☞86ページ ☞86ページ ☞12ページ
	テレビから時々、「ピシッ」と音がする	●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。	──
	テレビ内部から「カチッ」と音がする	●番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。 ●デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。	── ──
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	──
	接続した機器の映像が出ない、入力切換のとき入力が選べない	●各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか？端子の奥までしっかり差し込んでください。	──

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
共通の項目	内部から音がする	●電源を入れると、プラズマディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	──
	テレビ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	●本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	──
	画面に光らない点がある	●プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	──
	残像が発生する	●ビデオやパソコンなどの静止画像などを長時間映したままにしておくと、焼き付き（残像）が発生する場合があります。この場合、テレビ番組など、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、次第に軽減されます。	──
	動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	●写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると本機が自動的に画面を少し暗くします。これは、プラズマディスプレイパネルの焼き付きや劣化を軽減するための機能で、故障ではありません。	──
	テレビ本体の一部が熱くなる	●前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありませんので、あらかじめご了承ください。	──
	映像が出るまでに時間がかかる	●本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときやチャンネルを切り換えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	──
	画面モードが「ノーマル」のとき、左右のブランク部分の明るさが変わる	●「ブランク輝度設定」を「オフ」以外に設定して見ていると番組内容によってはブランク部分の明るさが変化する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	──
テレビ放送のとき	映像が揺れる 映像が不鮮明 色模様が出る 色が消える	●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか？ ●アンテナ線は正しく接続されていますか？	── ☞72、73ページ

故障かな!? （つづき）

テレビ放送のとき（つづき）

こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
「セルフワイド」のとき画面のサイズがときどき変わる	セルフワイドは、映像の明るい部分などを検出して自動で画面サイズを拡大する機能です。映像によっては下記のような動作をすることがあります。 ●最初暗いシーンのときは、しばらく自動拡大しないことがあります。 ●4：3映像でも上下が暗いシーンでは、自動拡大することがあります。 →気になる場合は手動で画面モードを設定してください。	―― ガイド ? + 3 2 2 （テレビを見ているときに押す）
DVDレコーダーなどの録画機器で選局すると、一瞬黒い帯が出る	●チャンネルを切り換えたときに発生するノイズによるものです。	――
画面の上下に映像のない部分ができる	●16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。	――
ズームやジャストにすると画面の上下が欠ける	●画面の位置調整がずれていませんか？ →画面の位置を調整してください。	ガイド ? + 3 3 3 （テレビを見ているときに押す）
チャンネルを切り換えたときや、セルフワイドで画面のサイズが変わったとき、一瞬画面が暗くなる	●画面が切り換わるときに発生するノイズを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。	――
地上アナログ放送で、画面にはん点が出たり、画面が揺れる	●自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響（妨害電波や誘導電磁波）を受けていませんか？	――
地上アナログ放送で、あるチャンネルだけ映りが悪い	●チャンネルの微調整は、正しいですか？	☞85ページ
地上アナログ放送で、映像が2重3重に見える	●アンテナの方向がずれていませんか？ ●山やビルからの反射電波を受けていませんか？	―― ――

衛星（BS・110度CS）デジタル放送のとき

こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
映像も音も出ない	●アンテナは正しく接続されていますか？ ●「受信設定」は、正しく設定されていますか？	☞72、73ページ ☞90ページ
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質・音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	――
110度CSデジタル放送が受信できない	●本機と衛星アンテナをビデオデッキなどを通して接続していませんか？ →直接接続するか、110度CS対応の分配器（別売品）などをご使用ください。 ●BSデジタル放送より高性能の、110度CS対応のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。	―― ――
映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる） 映像が静止する（または、ときどき静止する）	●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「衛星」でアンテナレベルが受信可能レベル（50以上が目安）に達しているかご確認ください。また「受信設定」でアンテナレベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。 ●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	☞90ページ ――
特定のチャンネルの映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）	●衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか？ ●PHS デジタルコードレス電話機や携帯電話機などの影響を受け、映像や音声が出なくなることがあります。 →アンテナや受信設備の改善で解消することもあります。販売店にご相談ください。	―― ――
有料放送の視聴ができない	●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。	――

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
地上デジタル放送のとき	映像や音声が出ない (または、ときどき出なくなる) 映像が静止する (または、ときどき静止する)	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか？またはアンテナ線の劣化などはありませんか？ →「受信設定」の「地上デジタル」で、アンテナレベルが受信可能レベル(44以上が目安)に達しているかご確認ください。アンテナレベルの確認は、「サブメニュー」ボタンからでも可能です。(アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕を取ることをおすすめします)	☞89ページ
地上デジタル放送のとき	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ →地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	―
		●UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いていますか？ →現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。	―
		●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？ →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。 ※地上デジタル放送についてのお問い合わせ先 ・総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター 0570−07−0101(ナビダイヤル) (携帯電話、PHS、IP/ひかり電話など、ナビダイヤルがつながらない場合：03−4334−1111) 受付時間：月〜金/9時〜21時、土·日·祝/9時〜18時 ・社団法人 デジタル放送推進協会 ホームページ http://www.dpa.or.jp	―
デジタル(共通)放送のとき	映像も音も出ない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか？	☞74ページ
デジタル(共通)放送のとき	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるとき電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●一部の電話機やファクシミリでは、使用するモジュラー分配器の種類によってこのような症状が出ることがあります。 →市販の自動転換器(パソコン対応用)や、電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で症状が改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーへご相談ください。	―
デジタル(共通)放送のとき	IP電話回線使用時につながらない	●NTTの電話回線に切り換えると接続できる場合があります。切り換えの方法についてはIP電話回線業者にお問い合わせください。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
デジタル(共通)放送のとき	字幕や文字スーパーが出ない	●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。	☞54ページ
		●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	☞120ページ
		●字幕の言語の設定は正しいですか？ →設定した言語の字幕のみ表示されます。	☞54ページ
デジタル(共通)放送のとき	「画面モード」ボタンを押しても、サイドカットの切り換えができない	●録画予約の実行中ではありませんか？ →録画予約実行中はサイドカットの切り換えが制限されます。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「する」の場合はサイドカットを解除することができません。 ・録画予約のとき「その他の設定」のサイドカットの項目が「しない」の場合は「フル」固定になりサイドカットにはできません。	ガイド ? + 2 9 4 (テレビを見ているときに押す)
アクトビラのとき	アクトビラが動かない、つながらない	●アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。また、アクトビラの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境が必要です。詳細は、別冊の取扱説明書「ネットワーク編」をご覧ください。 ・ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らないなどの場合があります。 ・アクトビラの最新情報は、当社ホームページでもご紹介しております。 http://panasonic.jp/support/actvila/ (2009年7月現在)	
SDメモリーカード再生のとき	写真が再生できない	●パソコンなどで編集した写真データですか？ →ご使用の編集ソフトによっては、正しく再生できない場合があります。	☞56ページ
		●写真データの画素数は最小160×120画素〜最大約1470万画素の範囲ですか？	☞56ページ
		●動作確認済のSDメモリーカードをお使いですか？ →SDメモリーカードの動作確認情報は、下記サポートページにてご確認ください。 http://panasonic.jp/support/tv (2009年7月現在)	☞56ページ
		●JPEG以外の写真(TIFF形式など)、プログレッシブJPEG形式、JPEG2000形式には対応しておりません。	☞56ページ
SDメモリーカード再生のとき	SDビデオ再生で音声が出ない	●対応していない音声形式の可能性があります。対応していない音声形式のときは、SDビデオ一覧の「プレビュー映像」の右下に マークが表示されます	―

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
録画、予約のとき	Irシステムで録画機器の録画予約ができない	●Irシステムケーブルは正しく接続されていますか？ ●「Irシステム設定」は正しいですか？ ●録画機器は正しく準備できていますか？ →録画機器の電源や、記録用ディスク、ビデオテープなどは必ず確認してください。	☞105ページ ☞106ページ ☞42ページ
	予約が実行されない	●予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約をした場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。 →Irシステムを使ってデジタル放送を録画予約した場合、本体の電源を「切」にしていると予約が実行されません。	―
	DVDレコーダーで番組タイトルが正しく表示されない	●対応機種は104ページをご覧ください。 ●番組タイトルに[N]、[二]、[天]などの外字が含まれていると、DVDレコーダーでは表示されません。 ●時間指定予約で「毎日」などのくり返しのタイマー予約をされた場合には予約設定時に初回の番組タイトルを送ります。(くり返しの2回目以後の番組タイトルは送りません) ●送られる番組タイトルは1分を超える予約番組の最初の番組タイトル1つだけです。	―
番組表について	番組表が出ない、または8日分表示されない	●地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。※ ケーブルTV(CATV)でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。 ●お買い上げ直後や本体の電源を切って1週間以上経過した場合は、番組データがありません。 →番組データの取得は、リモコンで電源「切」または外部入力の視聴中に行われます。 最大約4時間かかります。(2009年7月現在)※ ●次の場合、番組データを受信できませんので、ご注意ください。 ・本体の電源を切っているとき ・テレビ放送を見ているとき ・デジタル放送の電波状態がよくないとき ●録画実行中や2画面の場合は、番組データを受信できないことがあります。 ※最新の番組データをインターネットから、より確実に取得する設定ができます。(☞88ページ)	― ―
	地上アナログ放送で番組表に表示されない放送局がある	●正しい放送局名の設定が必要です。 ●「Gガイド地域設定」が必要です。Gガイド地域設定で選ばれた地域に登録されていない放送局は、実際に受信できる場合でも番組表には表示されません。(Gガイド地域一覧表☞119ページ) ※Gガイド地域の境界近辺にお住まいの場合は、どちらかのGガイド地域の番組表の設定になります。この場合、他方でのみ配信される放送局は、表示できません。	☞78~79ページ ☞88ページ

	こんなときは	ここを確かめてください	詳しい解説を見る
HDMI対応機器を接続のとき	映像が出ない、乱れる	●HDMIケーブルを確実に接続してください。 ●本機はHDMIおよびDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。 ●本体の電源および接続機器の電源を「切」「入」してください。 ●対応外の信号がつながっていませんか？ →接続機器の設定を対応信号に変更してください。	☞96~100ページ ☞96ページ ― ☞96ページ
	音声が出ない	●接続機器の音声をリニアPCMに設定してください。 ●「HDMI音声入力設定」を確認してください。 ●デジタル音声での接続がうまく動作しない場合は、アナログ音声(音声ピンケーブル)で接続してください。 ●HDMI入力時のDVDオーディオで暗号化されている場合は光デジタル音声出力されません。	― ☞96ページ ☞96ページ ―
ビエラリンク(HDMI)接続のとき	デジタルビデオカメラの電源を入れても、自動で再生画面にならない	●HDMI4端子に接続しなおしてください。 HDMI1～3端子に接続している場合は、手動で入力を切り換えてください。	☞66ページ
	デジタルビデオカメラの再生画面は表示されるが、本機のリモコンで操作できない	●デジタルビデオカメラの電源を「切」/「入」してみてください。	―
	本機のリモコン操作でレコーダー(ディーガ)に録画できない	●レコーダー(ディーガ)のチャンネル設定が合っているか確認してください。 詳しくはレコーダー(ディーガ)の取扱説明書をご覧ください。	―
	レコーダー(ディーガ)を停止して、テレビ放送に切り換えた後、「見ている番組を録画」を選択しても録画できない	●もう一度レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを押してから、録画を開始してください。 レコーダー(ディーガ)の停止ボタンを一回押すと、一時停止の状態になります。	―
	ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しない	●ビエラリンク(HDMI)に対応した機器を取り替えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。 そのようなときは、**HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、**下記の操作をしてください。 ①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の「電源」ボタンで電源を入れ直す。 ②[入力切換]を押して入力を切り換え(☞22ページ)、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する。 ③62~67ページの手順で機器が操作できることを確認する。	☞97ページ
	番組キープの動作に時間がかかる	●番組キープを使うには、レコーダー(ディーガ)側の設定が必要です。 詳しくはレコーダー(ディーガ)の取扱説明書をご覧ください。	―

ビエラリンク Q&A集

Q	A
ビエラリンク(HDMI)でどんなことができるのですか?	●本機のリモコンで、デジタルビデオカメラやCATVデジタルSTBの操作ができます。 ●本機のリモコン操作で、レコーダー(ディーガ)やAVアンプが連動して動作します。 ・見ている番組をすぐ録画できます。 ・本機のリモコンでレコーダー(ディーガ)の録画予約ができます。 ・レコーダー(ディーガ)に再生専用ディスクを入れるだけで本機の電源が入り、自動再生を開始します。 ・本機のリモコンでAVアンプの音声に切り換えできます。 ・本機の電源を切ると、レコーダー(ディーガ)やAVアンプは連動して電源が切れます。
ビエラリンク(HDMI)が使える機器を見分ける方法はありませんか?	ビエラリンク(HDMI)に対応している機器には、下記のロゴマークが表示されています。 VIERA Link
HDMIケーブルは、どんなものが使えますか?	ビエラリンク(HDMI)に使用するHDMIケーブルは、当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 (HDMIケーブル品番は98、100ページ)
HDMI端子のついたテレビやDVDレコーダー、AVアンプを持っていますが、ビエラリンク(HDMI)は使えますか?	HDMI端子がついていても、機器がビエラリンク(HDMI)に対応していないと使えません。
本機のHDMI端子4系統に複数のレコーダー(ディーガ)を接続した場合、ビエラリンクメニューから操作できるレコーダー(ディーガ)はどれですか?	番号が小さいHDMI端子に接続されたレコーダー(ディーガ)を操作できます。
本機のHDMI端子(1～4)に、レコーダー(ディーガ)とデジタルビデオカメラを接続したとき、ビエラリンク(HDMI)に連動して、どのHDMI端子の入力に切り換わりますか?	HDMI1～3端子のどちらかにレコーダー(ディーガ)をHDMI4端子にデジタルビデオカメラを接続してください。 後から操作した機器に、入力が自動で切り換わります。 ・一度入力が切り換わると、本機のリモコンで機器を操作できます。
ケーブルテレビを受信していますがビエラリンク(HDMI)の録画機能(見ている番組を録画)は使えますか?	CATVデジタルSTBやホームターミナルを通じて、本機に接続して視聴されている場合は、ビエラリンク(HDMI)の録画機能(見ている番組を録画)は使えません。

Q	A
本機の番組表から録画予約をしましたが、番組表に予(赤)マークが出ていません。	本機の番組表から録画予約すると、自動的に予約情報をレコーダー(ディーガ)に送信します。この場合、録画予約の予(赤)マークは、レコーダー(ディーガ)の予約一覧でご確認ください。(本機の番組表には予(赤)マークは表示されません。)
「見ている番組を録画」しているときに、レコーダー(ディーガ)の番組表から重複して録画した場合はどうなりますか?	番組表からの予約が優先して録画されますので「見ている番組を録画」は中断されます。
レコーダー(ディーガ)でダビング中、本機のリモコンで電源を切った場合、本機に連動してレコーダー(ディーガ)の電源も切れますか?	ダビング中、ファイナライズ中、フォーマット中、プロテクト設定・解除処理中、消去処理中は、レコーダー(ディーガ)本来の仕様として電源は切れません。
本機のオフタイマー使用時や無信号自動オフ機能などが動作した場合、レコーダー(ディーガ)の電源は連動して切れますか?	本機のオフタイマー、無信号自動オフ、無操作自動オフによって、本機の電源が切れたときは、レコーダー(ディーガ)の電源も連動して切れます。
「見ている番組を録画」で、レコーダー(ディーガ)のディスク、または、VHSテープに録画できますか?	「見ている番組を録画」操作したときは、レコーダー(ディーガ)の内蔵ハードディスクに録画されます。ディスクやVHSテープには直接録画できません。
WOWOWなどの有料番組を録画する方法はありますか?	契約されたB-CASカードを、レコーダー(ディーガ)に挿入しておけば録画できます。
本機にレコーダー(ディーガ)とAVアンプを接続していますが、デジタルビデオカメラの音声を5.1chで再生したいときはどうすればいいですか?	デジタルビデオカメラ※を本機のHDMI4端子に接続して、AVアンプと本機を光デジタルケーブルで接続してください。 また、デジタルビデオカメラの音声に、自動で切り換わらないことがあります。 そのときは、AVアンプの入力をテレビに切り換えてください。 ※デジタルビデオカメラはビエラリンクVer.2またはビエラリンク(HDMI)Ver.3以上対応の機種、AVアンプはビエラリンク対応の機種のみ対応

メッセージ表示一覧

●本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内　容
データを取得中です	データ放送の情報を取得中に表示します。そのままお待ちいただくか、別のチャンネルを選んでください。
現在、受信できません。	アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線していませんか？アンテナ線は正しく接続されていますか？（☞72、73ページ）
現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)	放送局の都合などにより、放送を休止しているチャンネルを選んでいます。別のチャンネルを選んでください。
降雨対応放送に切り換わりました。(E201)	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組タイトルなどの番組情報が表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。（☞74ページ）
衛星アンテナとの接続に不具合があります。確認のためBS放送に切り換えますか？(E209)	衛星アンテナとの接続に不具合があります。メッセージに従い「はい」を選び決定してください。（本機からアンテナへの電源供給を停止します。）衛星アンテナとの接続については販売店にご相談ください。
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。
番組データがありません。受信予定時間が取得できません。 番組データ受信待ちです。	地上アナログ番組表でのみ表示されます。番組表設定や地域設定が正しく行われているかを確認してください。（☞88、89ページ）
時刻情報が取得できていないためこの操作はできません。	地上アナログ放送の番組表を見るためには、衛星アンテナの接続が必要です。ケーブルTV(CATV)でBSデジタル放送を見ている場合は使用できません。番組データの取得は、リモコンで電源「切」または外部入力の視聴中に行われます。最大約4時間かかります。(2009年7月現在)
視聴チャンネルがスキップに設定されているため操作できません。	スキップ設定（☞79ページ）されているチャンネルの番組内容は表示できません。番組内容を表示させたい場合は、チャンネル設定をやり直してください。（☞85ページ）
番組データがありません。決定ボタンで取得します。	地上デジタル番組表でのみ表示されます。番組表で放送内容を知りたい放送局を選んで「決定」ボタンを押すと、そのチャンネルの番組情報を受信し、数分で表示します。※番組情報が受信できない場合、放送内容が表示されないことがあります。
データを送信します。よろしいですか？	データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。
電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。	電話回線端子がショートしていたり、誤ってLANケーブルを接続しているなど、電話回線への接続に異常がある可能性があります。接続をもう一度確認してください。（☞75ページ）
選局できません。リモコンの地上デジタルボタンを押し地上デジタル放送に切り換えてください。	選局できない放送を選択しています。受信対象設定（☞86ページ）で、放送ごとの設定を確認してください。
＊＊＊はCHロックされています。操作するにはCHロック解除してください。解除しますか？録画予約が始まっているときは予約中止されます。解除後、録画機器を確認してください。	本機が録画予約を実行しているときに選局操作するとこのメッセージが表示されます。デジタル放送を録画予約中は、チャンネルがロックされ選局操作できません。チャンネルのロックを解除してから選局操作をしてください。（チャンネルのロックを解除すると、録画予約が停止します。）

●下記の一覧表で ガイド マークのあるエラーメッセージを表示中にリモコンの ガイド ボタンを押すと、電子説明書でも説明がご覧になれます。

メッセージ	内　容
ダウンロードが中断されました。このメッセージが消えるまで電源を切らずにお待ちください。（最大約3分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。前回のダウンロード中に、受信異常や電源「切」などが発生し、ダウンロードが中断しました。自動復旧しますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
起動処理中です。このメッセージが消えるまで、電源を切らずにお待ちください。（最大約3分）このメッセージが消えた後システムを再起動します。一旦画面が暗くなり、その後視聴画面となります。	電源を「入」時に表示されます。本機の制御プログラムを更新していますので、そのまま最大約3分間お待ちください。
両端を切り取った映像に変換しました。（データ放送時を除く）チャンネル選局や「元の画面」ボタンなどで元に戻ります。	デジタル放送で映像信号が720p、1080iのときに「画面モード」ボタンを押してサイドカットモードにすると表示します。お好みにあわせて、画面のサイズ（画面モード）を変更することができます。（☞48ページ）
番組がハイビジョン放送の場合、両端を切り取った映像に変換してモニター出力します。（データ放送時を除く）	720p、1080iのデジタル放送の番組を予約するときに、予約設定の「その他の設定」画面で、「サイドカット」を「する」に設定すると表示します。両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像で録画できますが、黒帯の無い映像の場合に設定すると、映像の両端が切り取られた映像になりますので、ご注意ください。（☞38ページ）
放送ダウンロードのお知らせがあります。決定ボタンを押してください。	放送ダウンロードの実施期間中に本機を視聴しているとき、一定時間だけ表示される場合があります。このような場合は、メッセージが表示されている間に「決定」ボタンを押して、放送ダウンロードのお知らせをご覧ください。（お知らせを見ずに表示を消す場合は「戻る」ボタンを押してください。）
あなたの好みを学習中です。学習に数日かかる場合があります。	おすすめ一覧は本機が学習したお客様の好みを元に表示します。本機の使用状況により学習が完了する時間が異なります。数日間のご使用後に、再度おすすめ一覧を表示してください。
おすすめ番組を探しています。	おすすめ番組を探す処理を行っています。数分以上かかる場合があります。しばらくしてからおすすめ一覧を表示してください。
AVアンプと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とAVアンプ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
AVアンプとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とAVアンプ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプとの接続や設定を確認してください。（☞98〜103ページ）
ディーガと通信中のため操作できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	本機とディーガ間で制御データを送受信中に表示します。しばらくしてから再度操作してください。
ディーガとの通信に失敗しました。外部機器との接続や設定を確認してください。	本機とディーガ間で制御データの送受信が正常に行われなかったときに表示します。AVアンプ、ディーガの接続や設定を確認してください。（☞98〜103ページ）
再起動しました	「リモコンが利かない」「表示が乱れる」などの異常状態から自動的に復旧した場合に表示されます。一旦本機の電源コードを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
AVアンプから右画面音声出力中のためHDMI入力をスキップしました。	ビエラリンク（HDMI）で接続したAVアンプから右画面の音声を出力しているときは、左画面をHDMI入力に切り換えることはできません。音声出力を左画面に切り換えた後に入力を切り換えてください。

工場出荷設定

●各設定画面の本機の工場出荷時の設定値の一部です。

■初期設定一覧表

	項　　目	工場出荷時	参照ページ
省エネ設定	無信号自動オフ	入	26
	無操作自動オフ	切	26
	消費電力	標準	26
	無操作画面自動オフ	入	26
画面の設定	水平表示領域	標準	48
	HD表示領域	標準	48
	セルフワイド	ジャスト	48
	ID-1検出	オン	48
	ED2検出	オン	48
	3次元Y/C分離	オン	48
	480p色マトリックス	1	48
	ブランク輝度設定	高	48
	サイドカット固定	オフ	48
	デジタルシネマリアリティ	オン ※	48
	24Pフィルムダイレクト	60 Hz	48
システム設定	視聴可能年齢	無制限	52
	ブラウザ制限	無制限	ネットワーク編7
	選局対象	すべて	54
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)制御	する	101
	電源オン連動	しない	101
	電源オフ連動	する	101
	ECOスタンバイ	しない	101
	こまめにオフ	しない	102
	電源オン時の音声出力	テレビ	102
	ケーブルテレビ電源オン連動	しない	102
	ディーガの操作	通常	103
	メニュー表示方法	一覧	103
	HDMI音声入力設定	HDMI	96
	デジタル音声出力	自動	113
	デジタル音声予約録画連動	しない	112
	入力自動スキップ	オフ	111
	PCスキップ	オフ	107
	HDMIスキップ	オフ	96

●工場出荷時の設定値は予告なく変更する場合があります。
※地上アナログ放送視聴時の初期設定値です。
　放送や入力によって設定値が異なります。

■リモコンボタンの番号に割り当てられた放送局(工場出荷時)

●放送局名やチャンネルは、実際の表示と異なる場合があります。

●**BS**デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11デジタル
12	222	TwellV

●**CS**1(スカパー！e2)

番号	チャンネル	放送局名
1		
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●**CS**2(スカパー！e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	
4	147	CS日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウエルカム
7	177	
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY・STAGE
12	238	スター・クラシック

(2009年7月現在)

用語解説

英数字順

1080p、1080i、720p、480p、480i

●映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。
●テレビ放送は1コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信するテレビ側で元の画像に組み立てて表示します。
●有効走査線数は、絵柄部分の走査線数のことをいいます。インターレース(飛び越し走査)は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ(順次走査)は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。

名　称	走査線数	有効走査線数	走査方式
1080p	1125本	1080本	プログレッシブ
1080i	1125本	1080本	インターレース
720p	750本	720本	プログレッシブ
480p	525本	480本	プログレッシブ
480i	525本	480本	インターレース

※これらの中で、1080p、1080iと720pをハイビジョン放送と呼びます。

5.1chサラウンド
左前、右前、センター、左後、右後の5本のスピーカーとサブウーハーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。背面の光デジタル音声出力端子に5.1ch光デジタル入力端子付きのオーディオ機器を接続すれば、臨場感のある音声で楽しむことができます。

AAC(Advanced Audio Coding)
地上・BS・CSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスト・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD規格
高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。本機はこの規格で記録されたSDメモリーカードを再生できます。

D端子(D4映像入力端子)
より忠実に色を再生するために、輝度・色差信号(Y、Pb、Pr)を分離し制御信号を加えて、1つにまとめた端子です。対応している映像信号の範囲によって、D1～D5端子などの種類があります。本機ではD4端子を使用しており、480i、480p、1080i、720pの映像信号に対応します。制御信号により画面モードをズーム、フルに切り換えます。

DPOF
Digital Print Order Formatの略称で、デジタルカメラなどで撮影した写真を、写真店や家電用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ED2検出
映像信号に埋め込まれた情報からワイドクリアビジョンであることを検出する仕組みで、本機の場合、ズームに切り換えが可能です。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)
デジタルテレビ向けインターフェース規格のひとつです。本機のHDMI端子とHDMI対応機器(DVDレコーダーやAVアンプなど)を1本のケーブルで接続することで、高品位な映像と音声を簡単に利用できます。

ID-1検出
映像信号に埋め込まれた画面サイズの情報を検出する仕組みです。本機の場合、画面モードをズーム、フルに切り換えが可能です。

JEITA
社団法人　電子情報技術産業協会(Japan Electronics and Information Technology Industries Association)の略称です。エレクトロニクス(電子工学)とIT(情報技術)分野の企業が多数参加している日本の業界団体で、規格の発行などを行っています。

MPEG-2
カラー動画を効率良く圧縮、展開する方式の1つです。MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。

PCM
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の一つです。「パルス・コード・モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

S映像端子(S2映像入力端子)
色にじみの少ない映像の伝送のために、輝度信号・色差信号(Y、C)を分離して、1つにまとめた端子です。S2映像入力端子は、画面サイズの情報を付加したもので、本機では画面モードをズーム、フルに切り換えます。

ドルビーデジタル(Dolby Digital)
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ音声だけではなく、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よく圧縮できます。

使用上のご注意

■記録内容の補償について

●万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
●アクトビラ有料サービスの購入情報やメールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。
万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権について

●あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■商標などについて

●SDHCロゴは商標です。●CP8 PATENT　●acTVilaロゴは登録商標です。●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●DLNA®，the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。
当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「メニュー」ボタンを押し、
「設定する」→「情報を見る」→「ID表示」→「ソフト情報表示」を参照ください。
●本機には、修理サービスを円滑に行えるよう、一定の動作状態を記録する機能を内蔵しています。
記録内容は、サービス技術者が修理サービスに利用するため、通常の使用では見ることができません。

■デジタル放送のコピー制御について

●本機にはB-CASカードを必ず挿入してください。
●デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。
●挿入されないと、BS・CS・地上の全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
●B-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
●デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回るようなことになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。地上・BS・CSデジタルテレビ放送局では、電波に「一回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。(ただしコピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)
●本機は個数制限コピー可能なダビング10には対応していません。
●CPRM(*)という著作権保護技術に対応したデジタル録画機器と記録メディア(ディスクなど)の組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。　*Content Protection for Recordable Media CPRMに対応していないDVD-RやDVD-RAMでは録画ができませんのでご注意ください。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングはできません。
●VHSなどアナログ録画機器での録画や、アナログ放送の録画はこれまでどおりです。
●「1回だけ録画可能」のコピー制御信号は、BSデジタル放送のWOWOWやスター・チャンネルですでに利用されています。
●「1回だけ録画可能」と同じ意味で「デジタル1COPY」「1世代のみコピー可」と表現することがあります。
●詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
●コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
●社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットやディスプレイパネルの汚れは付属のクリーニングクロスで軽くふく

・ひどい汚れは、水で100倍にうすめた中性洗剤にひたしたクリーニングクロスをかたく絞ってふき取ってください。
・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

■化学ぞうきんのご使用について

・ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。
・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

■洗剤を直接本機にかけない

水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
(キャビネットの変質の原因)

お知らせ

●ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
●ディスプレイパネルは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。

■本機を設置するとき

振動がなく、本機の質量に耐えられる場所に設置する。
指定の取り付けユニットをご使用ください。

■赤外線通信機器をご使用になるとき

赤外線通信機器(赤外線コードレスヘッドホンや赤外線ワイヤレスマイクなど)をご使用になると、通信障害(ノイズなど)が発生する場合がありますので、影響のない所まで本機より離すかプラズマテレビの光が入らないように機器の受信部を設置してください。

■機器相互のかんしょうに注意

プラズマテレビの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。(発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。)

■接続は電源を“切”にしてから

各機器の説明書に従って、接続してください。
(オーディオ機器、録画機器、オーディオアンプなど)

■本機を移動されるとき

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■アンテナは定期的な点検を

風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

■良好な画面で見るために

アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

■見る距離と部屋の明るさは

画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさで。

ご使用になるとき

■適度の音量で隣り近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

■長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。リモコンで電源を切った場合は約0.1 W、本体の電源を切った場合約0.07 Wの電力を消費しております。

■本機は残像が発生することがあります。

画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比4：3)で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。
画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。(ふだんは48ページのブランク輝度設定を「高」でご覧ください。)
静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止してください

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

■内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。

⚠ 警告

■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体の入った容器）

■雷が鳴りだしたらアンテナ線や本機には触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

■異物を入れないでください

禁止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■不安定な場所に置かないでください

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください

禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の取り付け金具をご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

電源コードについて

■電源コード・プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください

感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしないでください

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災・感電の原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	高圧注意 サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

■本機の通風孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

●本機は上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
また、据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください。
ただし、壁掛金具使用時は対応する工事説明書に従ってください。

●押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。

●あお向けや、横倒し、逆さまにしないでください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■脚立を立てかけるなどしないでください

落下してけがの原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●特にお子様にはご注意ください。

■付属の据置きスタンドは本機以外には使用しないでください

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

■本機と据置きスタンドの取り付け、取り外しは2人以上で行ってください

本機が落下してけがの原因となることがあります。

■組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 注意

■上に物を置かないでください

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■接続ケーブルの処理は確実に行ってください

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

●特にお子様にはご注意ください。

■本機に付属している転倒・落下防止部品を利用し、本機を固定してください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

●転倒・落下防止は、10ページを参照。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

■移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグやアンテナ線、電話線、機器間の接続線や転倒・落下防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。

●開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

■運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください

落下してけがの原因となることがあります。

■ディスプレイパネルは、ガラスでできていますので、強い力や衝撃を加えないでください

ガラスが割れてけがの原因となることがあります。

■移動させる場合は、衝撃を与えないでください

本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

●BS・CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

お手入れについて

■通風孔に付着したほこりやゴミをこまめに取り除いてください
内部の掃除は販売店（ご都合がつかない場合は146ページの連絡先）に依頼してください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店または、146ページの連絡先にご相談ください。

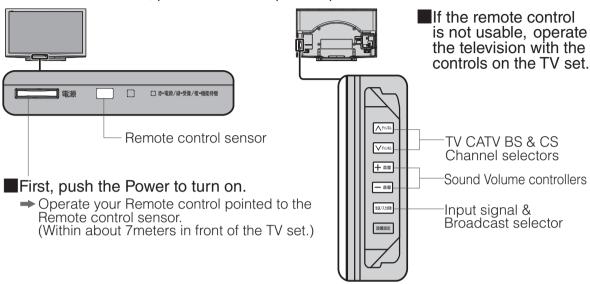
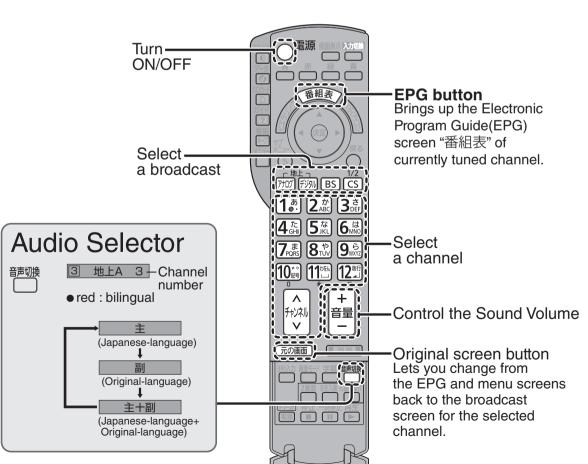
■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。

Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.

仕様

●このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体			
品番		TH-P65V1(65V型)	TH-P58V1(58V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ	
使用電源		AC100 V　50／60 Hz	
消費電力		688 W	635 W
		本体電源「切」時 約0.07 W、リモコンで電源「切」時 約0.1 W(データ取得時※は除く) (クイックスタート「オン」設定時、またはデータ取得時※　約19 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	
年間消費電力量		325 kWh/年(スタンダード時)	310 kWh/年(スタンダード時)
受信可能放送		VHF：ch1～12／UHF：ch13～62／CATV：c13～c63／BSデジタル 110度CSデジタル／地上デジタル(CATVパススルー対応)※ワンセグ放送を除く	
音声実用最大出力		20 W(10 W＋10 W)JEITA	
スピーカー		14 cm×3.5 cm 角型 2個	
プラズマディスプレイパネル		アスペクト比(16：9)　駆動方式　AC型	
		65V型	58V型
画素数		2,073,600画素(横1,920×縦1,080)[ドット数 5,760×1,080]	
画面寸法		幅 143.4 cm 高さ 80.7 cm 対角 164.6 cm	幅 128.4 cm 高さ 72.3 cm 対角 147.4 cm
動作使用条件		周囲温度：5℃～40℃、相対湿度：20%～80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～3 (ビデオ入力1はS2映像なし) S2映像：輝度・色信号分離(75 Ω) 映像：1 V[p-p](75 Ω) 音声：左・右　0.5 V[rms] ●モニター出力 S2映像：輝度・色信号分離(75 Ω) 映像：1 V[p-p](75 Ω) 音声：左・右　0.5 V[rms] モニター出力のS2映像は、S映像入力時に重畳されているDC約5 V(フル映像)やDC約2 V(ワイドクリアビジョン映像)をそのまま出力します。デジタル放送時は電圧重畳しません。	
	D端子ビデオ関連	●D4映像〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、P_B/C_B：0.7 V[p-p](75 Ω)、P_R/C_R：0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声：左・右　0.5 V[rms](音声はビデオ入力1と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)兼 衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	
	パソコン入力	●RGB(ミニD-sub15P)　音声：左-右0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力3と兼用) 表示画素数、対応信号について(☞ 107ページ)	
	HDMI入力	●HDMI端子 4系統(本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。) 対応信号について(☞ 96ページ)	
	その他	●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm ●モジュラー端子(電話回線)：2400 bps、MNP4(着呼機能なし) ●Irシステム (Irシステムケーブル［別売品］用) ●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン／イヤホン端子(16～32 Ω推奨) 1系統 ●SDメモリーカード挿入口(SDHCメモリーカード対応)	
外形寸法	据置きスタンド含む	幅 157.2 cm 高さ 101.6 cm 奥行 41.5 cm	幅 142.2 cm 高さ 93.3 cm 奥行 38.7 cm
	本体のみ	幅 157.2 cm 高さ 96.4 cm 奥行 上部 6.7 cm 下部 9.7 cm	幅 142.2 cm 高さ 88.0 cm 奥行 上部 6.3 cm 下部 9.3 cm
質量	据置きスタンド含む	約 67.0 kg	約 52.0 kg
	本体のみ	約 61.0 kg	約 50.0 kg
キャビネット材質		前面、背面：樹脂、金属	

●年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算定した、一年間に使用する電力量です。
●テレビのV型(65V/58V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン(品番：N2QAYB000325)	使用電源	DC3 V(単3形乾電池2コ)	操作距離	約7 m以内(テレビ正面距離)
	質量	約150 g(乾電池含)	操作範囲	左右各約30°以内 上下各約20°以内

保証とアフターサービス

修理･使いかた･お手入れ などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　)　　－
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは

122～129ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

項目	内容
●製品名	地上･BS･110度CSデジタル ハイビジョンプラズマテレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし…　●プラズマディスプレイパネルは2年間
　　　　　●プラズマディスプレイパネルの焼付きは除く

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断･修理･調整･点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた･お手入れなどのご相談は ……

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ナンバー･ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
  (お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。)

よくお読みください

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0509

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞138～143ページ)